

消防年報

平成30年版



弘前地区消防事務組合

令和元年8月発行

表 紙

東救助1号車（平成30年度 東消防署に配備）

平成12年に東消防署に配備され、19年間にわたり災害現場の第1線で活躍した旧救助工作車の更新車両として配備されたものです。

この車両は当事務組合の特別救助隊が乗車し災害出動します。ハイルーフ仕様を採用しており、室内での出動準備が容易に実施できる構造となっています。また、照明装置、クレーン装置に加え車両前方及び後方にウィンチ装置を装備しています。救助用資機材にあっては、高度救助用資機材として、画像探査装置、地中音響探査機、地震警報装置、夜間暗視装置を備えており、大規模地震や土砂崩れ等の災害において迅速な人命検索救助活動が可能となりました。さらに、水中スクーターや水中無線機等の水難救助用器具を整備し、水難救助事案に対応するための装備を充実しました。

はじめに

平成25年7月1日に弘前地区消防事務組合、黒石地区消防事務組合、平川市消防本部及び板柳町消防本部が統合し、3市3町2村(弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村)を管轄する新たな弘前地区消防事務組合としてスタートしました。

この年報は、弘前地区消防事務組合の消防事情を広く紹介するとともに、今後の消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに平成30年中の消防業務等の実態を編集したものです。

当組合の消防行政について、地域住民の認識と理解を深めていただく一助となれば幸いです。

令和元年8月

弘前地区消防事務組合消防本部

目 次

1 総務	
弘前地区消防事務組合の沿革	1
弘前地区消防事務組合管内図 及び消防本部等配置図	2
組合関係市町村の 面積・人口・世帯数	2
弘前地区消防事務組合組織図	3
消防本部及び消防署の事務分掌	4
消防庁舎一覧表	10
消防職員階級別配置状況	11
消防職員階級別年齢調	12
消防職員階級別勤続年数調	13
職員の免許資格取得状況	14
職員研修等実施状況	15
令和元年度予算歳入歳出比較表	16
令和元年度関係市町村負担金状況／消防予算等の推移（5ヶ年間）	17
2 予防	
市町村別防火対象物の状況	18
防火対象物の階級別状況	19
予防査察の実施状況	20
違反処理状況	21
防火管理者資格取得状況／防火管理者選任及び消防計画届出状況	22
訓練指導・講話・広報等状況／防災教育室利用状況	23
届出受付状況	24
平成30年度災害時要援護者防火防災診断実施状況	25
市町村別危険物施設の状況	26
危険物施設の状況／規模別危険物施設の状況	27
危険物施設の推移（5ヶ年間）／危険物関係各種届出・申請件数	28
危険物製造所等の処理状況	29
3 警防	
消防車両等の保有状況	30
車両配置状況	31
主要資機材配置状況	33
林野火災対策機材保有状況	34
消防水利状況（市町村別）／（所属別）	35
4 通信指令	
指令センターの機能について	37
通信設備状況	39
119番通報状況（月別）	40

1 1 9 番通報状況（時間帯別）	4 1
1 1 9 番通報件数の推移（5 ヶ年間）／医療機関紹介状況（科目別・月別）／ 医療機関紹介状況（5 ヶ年間）	4 2
5 火災	
平成30年における火災概要	4 3
火災の概況／火災の種別	4 4
住宅用火災警報器の普及	4 5
市町村別火災件数等の推移（5 ヶ年間）	4 6
管内火災件数等の推移（5 ヶ年間）	4 8
出火原因の状況	4 9
月別発生状況	5 0
市町村別、月別の火災件数／市町村別、曜日別の火災件数	5 1
市町村別、時間帯別の火災件数	5 2
覚知別火災件数	5 3
火災種別ごとの初期消火状況／初期消火の状況	5 4
6 救急	
救急業務の概況／署別救急出動件数の比較（対前年比）	5 5
救急出動件数の推移（5 ヶ年間）／市町村別救急出動件数の比較（対前年比）	5 6
市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員	5 7
署別、事故種別救急業務実施状況	5 8
事故種別救急出動件数／月別救急出動件数及び搬送人員	5 9
事故種別、覚知方法別出動件数／収容所要時間別、事故種別搬送人員	6 0
事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員	6 1
傷病程度別搬送人員／年齢区分別搬送人員／発生場所別搬送人員	6 2
時間帯別救急出動件数／応急手当の普及啓発活動の状況	6 3
津軽圏域救急告示医療機関一覧表	6 4
津軽地域小児救急病院等一覧表	6 5
医療機関別救急搬送状況	6 6
7 救助	
事故種別救助業務実施状況（対前年比）	6 7
8 消防団	
管内市町村消防団長	6 8
管内市町村消防副団長	6 9
管内市町村消防団車両配備状況	7 0
管内市町村階級別消防団員数	7 1
管内市町村在職年数別消防団員数／管内市町村年齢別消防団員数	7 2
管内市町村階級別消防団員年報酬／管内市町村消防団員出動手当	7 3
9 地域防災組織	
幼・少年消防クラブと婦人防火クラブ	7 4
平成30年度の活動状況（幼年消防クラブ／少年消防クラブ／婦人防火クラブ）	7 5

幼年消防クラブの状況	7 6
少年消防クラブの状況	7 8
婦人防火クラブの状況	7 9
弘前地区消防防災協会	8 0
弘前地区消防防災協会役員事業所名簿	8 1
弘前地区消防防災協会事業	8 2
10 付録	
明治以降の主な火災	8 3
明治以降の主な災害（火災を除く）	8 5
歴代消防長等	8 8
旧弘前地区消防事務組合の沿革	9 7
旧黒石地区消防事務組合の沿革	1 0 1
旧平川市消防本部の沿革	1 0 2
旧板柳町消防本部の沿革	1 0 3

総務

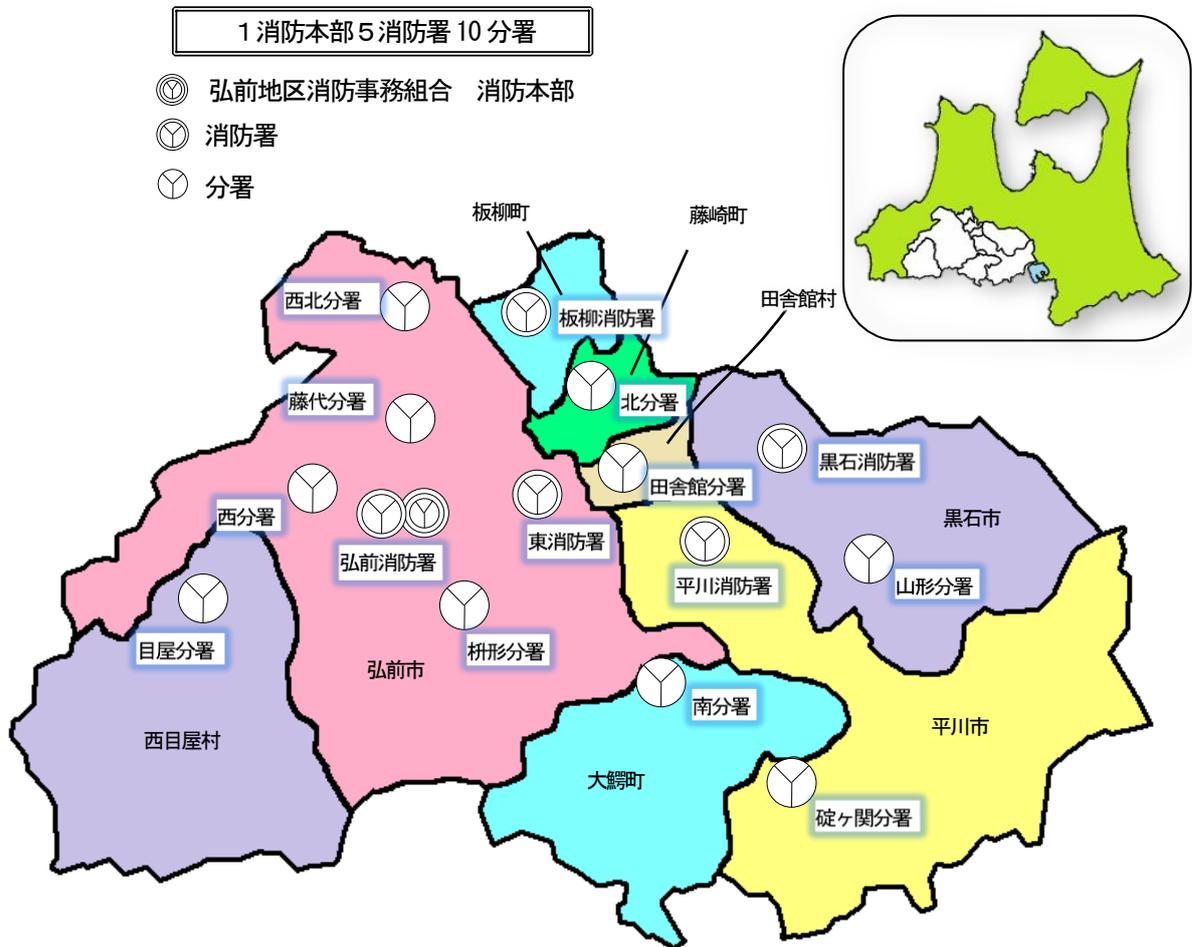


弘前地区消防事務組合の沿革（統合後）

年 月	状 況
平成 25 年 7 月	<p>弘前地区消防事務組合に黒石地区消防事務組合、平川市消防本部、板柳町消防本部の 3 消防本部が統合、関係市町村が 3 市 3 町 2 村、職員定数が 476 名となった。</p> <p>消防署組織規程改正により、弘前消防署、東消防署、黒石消防署、平川消防署へ「予防調査係」を、板柳消防署へ「総務警防係」と「予防救急係」を設置した。「東消防署碓ヶ関分署」を「平川消防署碓ヶ関分署」へ、分署の「警防係」を「総務警防係」へ改め、目屋分署、西北分署、碓ヶ関分署へ「予防救急係」を置いた。</p> <p>黒石消防署に指揮隊車を配備</p>
平成 26 年 3 月	弘前地区消防事務組合マスコットキャラクターが「消防犬 火けしくん」に決定
4 月	消防本部組織規則改正により人材育成課を新設し、「人事係」と「研修厚生係」を設け、消防本部 5 課制とした。
5 月	東消防署新消防庁舎での業務開始
12 月	北分署新消防庁舎での業務開始（平成 26 年 12 月 1 日全面供用開始）
	東消防署、平川消防署に指揮隊車を配備
平成 27 年 3 月	東消防署に小型動力ポンプ付水槽車を柘形分署から移動更新配備
4 月	東消防署に防災教育室を開設し、全面供用開始
10 月	高機能消防指令センター運用開始
	消防本部組織規則改正により「通信指令課 通信係」を「通信指令課 通信統制係」、「通信指令課 情報管理係」、「通信指令課 システム管理係」に改めた。
平成 28 年 3 月	<p>黒石消防署に資機材搬送車を東消防署から移動配備</p> <p>東消防署に重機及び重機搬送車を配備（国有財産等無償使用）</p>

弘前地区消防事務組合管内図及び消防本部等配置図

(平成31年4月1日現在)



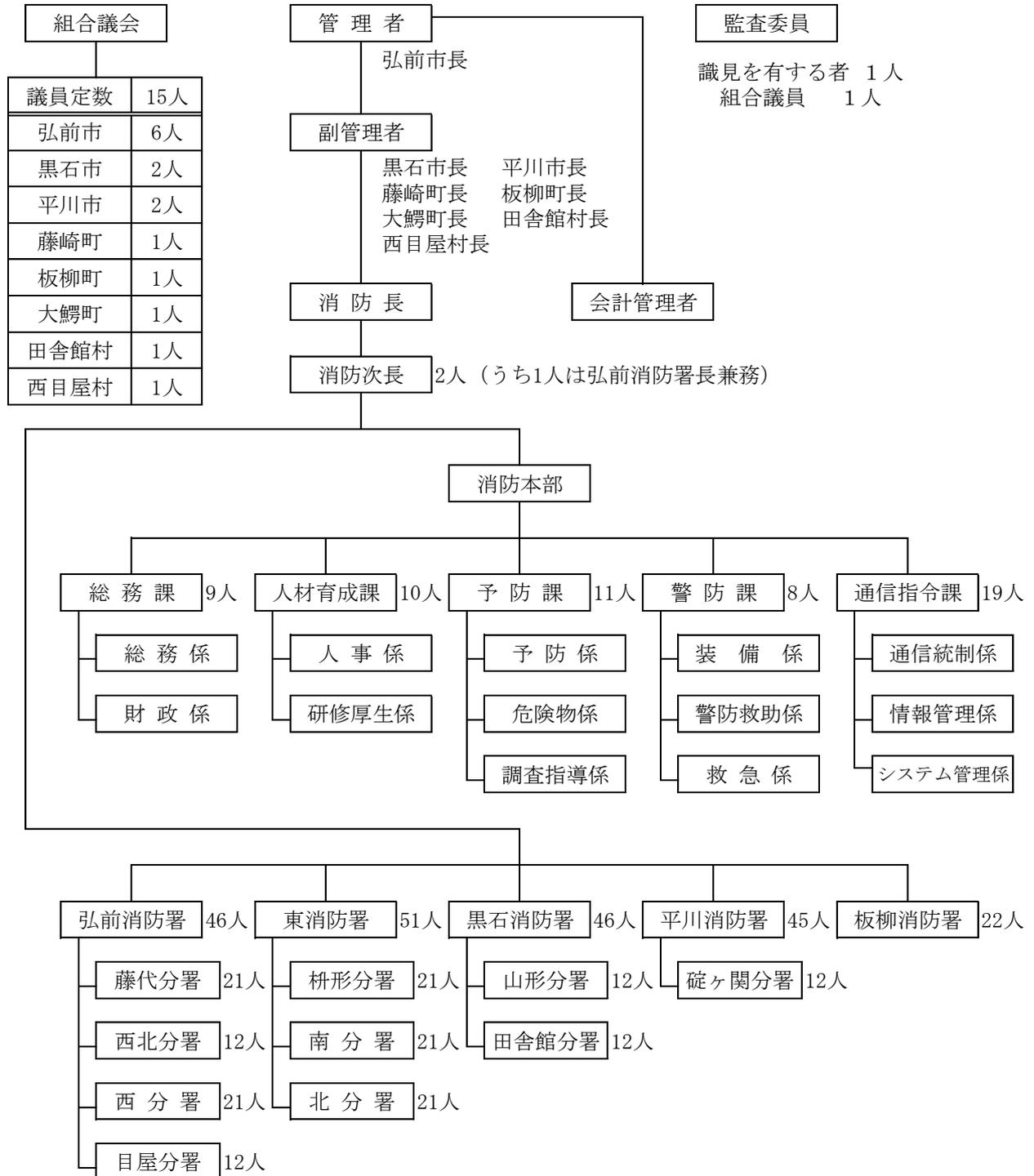
組合関係市町村の面積・人口・世帯数

(平成31年3月31日 住民基本台帳調)

市町村	区分	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数
合 計		1,598.23	282,434	124,403
弘 前 市		524.20	170,452	79,633
黒 石 市		217.05	33,284	13,750
平 川 市		346.01	31,282	11,975
藤 崎 町		37.29	15,084	6,047
板 柳 町		41.88	13,591	5,463
大 鰐 町		163.43	9,556	4,215
田 舎 館 村		22.35	7,818	2,775
西 目 屋 村		246.02	1,367	545

弘前地区消防事務組合組織図

(平成31年4月1日現在)



※職員数は、平成31年4月1日現在の配置人員。

消防本部及び消防署の事務分掌

消防本部の事務分掌

総務課

総務係

- 1 消防本部の企画調整、その他重要事項の調査研究に関すること。
- 2 儀式及び行事に関すること。
- 3 物品等の調達に関すること。
- 4 庁舎建設、工事、修繕及び委託契約等に関すること。
- 5 請負契約及び物品の購入に関すること。
- 6 議会に関すること。
- 7 監査に関すること。
- 8 所属長の招集及び会議に関すること。
- 9 消防署の所管に属しない事務に関すること。
- 10 消防長会に関すること。
- 11 行政文書の開示に係る事務に関すること。
- 12 公印の管理に関すること。
- 13 文書の収発、保存及び廃棄に関すること。
- 14 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 15 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 16 消防本部各課に係る事務の連絡調整、消防長の事務補助その他消防本部内の他課の所管に属しない事務に関すること。
- 17 ホームページに関すること。
- 18 広聴及び広報の統括に関すること。
- 19 広聴及び広報に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 20 その他総務に関すること。

財政係

- 1 財産の管理の統括に関すること。
- 2 予算、決算及び経理に関すること。
- 3 決算統計に関すること。
- 4 起債及び一時借入金の申請、借入及び償還に関すること。
- 5 消防施設の建設計画及び維持管理に関すること。
- 6 財政計画に関すること。
- 7 基金の統括管理に関すること。
- 8 公有財産の管理及び調整に関すること。
- 9 月例現金出納検査に関すること。
- 10 その他財政に関すること。

人材育成課

人事係

- 1 消防本部の組織、その他重要事項の調査研究に関する事。
- 2 人事に関する事。
- 3 職員の採用試験に関する事。
- 4 表彰、叙勲等に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 5 人事記録に関する事。
- 6 人事評価に関する事。
- 7 職員の昇任試験並びに任免、分限、懲戒に関する事。
- 8 職員の交通事故、違反等及び不祥事に関する事並びに懲戒審査委員会に関する事。
- 9 職員の給与に関する事。
- 10 職員の服務及び規律に関する事。
- 11 広聴及び広報に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 12 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関する事を除く。)
- 13 その他人事に関する事。

研修厚生係

- 1 消防職員委員会に関する事。
- 2 職員の勤務時間その他勤務条件に関する事。
- 3 職員の研修企画及び研修派遣に関する事。
- 4 職員の保健、衛生、安全、元氣回復及び厚生福利に関する事。
- 5 共済組合事務に関する事。
- 6 職員の公務災害補償等に関する事。
- 7 被服等の貸与、給与に関する事。
- 8 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関する事を除く。)
- 9 職員の意見発表に関する事。
- 10 その他研修厚生に関する事。

予防課

予防係

- 1 予防業務の企画調整及び調査研究に関する事。
- 2 建築確認等の同意事務に関する事。
- 3 消防用設備等の着工及び設置の届出に関する事。
- 4 防火管理及び防災管理に関する事。
- 5 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 6 防火対象物点検及び防災管理点検の特例認定に関する事。
- 7 防火対象物工事等計画の指導に関する事。
- 8 その他予防業務に関する事。

危険物係

- 1 危険物施設の検査、査察及び指導に関すること。
- 2 危険物施設の申請書等の受理、審査及び指導に関すること。
- 3 危険物施設の検査手数料等に関すること。
- 4 危険物施設に係る調査、統計及び報告に関すること。
- 5 危険物流出等の事故原因の調査に関すること。
- 6 防災協会に関すること。
- 7 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 8 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 9 その他危険物業務に関すること。

調査指導係

- 1 立入検査及び違反処理に関すること。
- 2 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- 3 広聴及び広報に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 4 火災統計、報告に関すること。
- 5 防火基準適合表示の審査、指導に関すること。
- 6 指定催しの計画、指導に関すること。
- 7 証明事務に関すること。
- 8 防火クラブ等に関すること。
- 9 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 10 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 11 その他調査指導業務に関すること。

警防課

警防救助係

- 1 警防救助業務の企画調整及び調査研究に関すること。
- 2 警防訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
- 3 消防協力者表彰に関すること。
- 4 消防警戒区域立入許可証の交付等に関すること。
- 5 消防相互応援協定及び受援計画に関すること。
- 6 国民保護計画、地域防災計画、水防計画に関すること。
- 7 消防団との連絡調整に関すること。
- 8 救助業務計画に関すること。
- 9 緊急消防援助隊に関すること。
- 10 警防救助に係る統計に関すること。
- 11 災害の指揮及び警防本部に関すること。
- 12 災害時の記録編纂に関すること。

- 13 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 14 その他警防救助業務に関すること。

救急係

- 1 救急業務の企画調整及び調査研究に関すること。
- 2 救急業務計画に関すること。
- 3 患者等搬送事業に係る認定及び指導に関すること。
- 4 救急医療機関との連携調整に関すること。
- 5 応急手当の普及に関すること。
- 6 救急に係る統計に関すること。
- 7 救急車両に係る国庫補助の申請に関すること。
- 8 メディカルコントロール協議会に関すること。
- 9 搬送等証明書の指導、助言に関すること。
- 10 救急活動記録票の検証に関すること。
- 11 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 12 その他救急業務に関すること。

装備係

- 1 自動車及び消防機関器具の整備計画に関すること。
- 2 自動車の運行管理及び安全管理等に関すること。
- 3 消防年報に関すること。
- 4 消防水利に関すること。
- 5 公用車の事故調査及び処理に関すること。
- 6 消防車両に係る国庫補助の申請に関すること。
- 7 開発行為に係る協議に関すること。
- 8 消防力の整備指針に関すること。
- 9 広聴及び広報に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 10 その他消防装備に関すること。

通信指令課

通信統制係

- 1 通信業務の基本方針及び調査研究に関すること。
- 2 出動指令業務に関すること。
- 3 通信施設の調査研究及び整備計画に関すること。
- 4 各種報告に関すること。
- 5 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 6 その他通信統制に関すること。

情報管理係

- 1 防災関係機関との連絡調整に関すること。
- 2 火災警報の発令及び解除に関すること。

- 3 気象情報に関すること。
- 4 情報セキュリティ対策に関すること。
- 5 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。（他課が所掌する事務に関するものを除く。）
- 6 広聴及び広報に関すること。（他課が所掌する事務に関するものを除く。）
- 7 その他情報管理に関すること。

システム管理係

- 1 通信訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
- 2 通信施設の維持管理に関すること。
- 3 情報通信ネットワーク及びコンピューター機器等の維持管理に関すること。
- 4 その他システム管理に関すること。

消防署の事務分掌

総務第一係、総務第二係（板柳消防署を除く）

- 1 文書の收受、発送及び整理保管に関する事項
- 2 公印の保管に関する事項
- 3 職員の教養及び服務に関する事項
- 4 庁舎管理及び環境整備に関する事項
- 5 時間外勤務手当、特殊勤務手当及び管内旅行命令に関する事項
- 6 消防隊の編成、通信勤務及び非常召集に関する事項
- 7 他の係に属さない事項

警防救助第一係、警防救助第二係（板柳消防署を除く）

- 1 職員の訓練及び安全管理に関する事項
- 2 消防水利の保全、管理及び地理に関する事項
- 3 車両及び車両積載器具等の保全整備及び取扱い指導に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 現場指揮に関する事項
- 6 救助業務及び救助技術に関する事項
- 7 その他警防、救助に関する事項

救急第一係、救急第二係（板柳消防署を除く）

- 1 救急業務に関する事項
- 2 救急資器材の管理及び救急薬品の保守管理に関する事項
- 3 救急技術の訓練及び指導に関する事項
- 4 救急記録及び統計に関する事項
- 5 救急資器材の滅菌及び汚物の処理に関する事項
- 6 搬送証明の交付に関する事項
- 7 その他救急に関する事項

予防第一係、予防第二係（板柳消防署を除く）

- 1 予防査察及び危険物取締りに関する事項
- 2 火災予防の指導、広報及び宣伝に関する事項

- 3 消防訓練に関する事項
- 4 消防用設備等の点検報告に関する事項
- 5 予防関係の証明に関する事項
- 6 その他予防に関する事項

調査指導第一係、調査指導第二係（板柳消防署を除く）

- 1 火災調査に関する事項
- 2 火災の証明に関する事項
- 3 火災予防条例の届出等に関する事項
- 4 防火対象物の違反処理に関する事項
- 5 その他調査指導に関する事項

総務警防第一係、総務警防第二係（板柳消防署のみ）

- 1 職員の教養、訓練及び安全管理に関する事項
- 2 車両及び車両積載器具等の保全整備と取扱い指導に関する事項
- 3 消防水利の保全に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 他の係に属さない事項

予防救急第一係、予防救急第二係（板柳消防署のみ）

- 1 火災予防に関する事項
- 2 予防業務に関する事項
- 3 消防訓練に関する事項
- 4 救急業務に関する事項
- 5 証明事務に関する事項
- 6 その他予防、救急に関する事項

分署の事務分掌

総務警防第一係、総務警防第二係

- 1 職員の教養、訓練及び安全管理に関する事項
- 2 車両及び車両積載器具等の保全整備と取扱い指導に関する事項
- 3 消防水利の保全に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 他の係に属さない事項

予防救急第一係、予防救急第二係

- 1 火災予防に関する事項
- 2 予防業務に関する事項
- 3 消防訓練に関する事項
- 4 救急業務に関する事項
- 5 証明事務に関する事項
- 6 その他予防、救急に関する事項

消防庁舎一覽表

(平成31年4月1日現在)

名称	所在地	電話番号	面積 (㎡)		構造	竣工年月
			敷地面積	延面積		
消防本部	弘前市大字本町2番地1	(代)0172(32)5101	2,274.69	3,819.44	SRC造 地下1階 地上4階 塔屋1階	H13.3
弘前消防署		0172(32)5199				
弘前消防署 藤代分署	弘前市大字浜の町東 三丁目1番地11	0172(34)1317	704.63	218.70	鉄骨造 平屋建	S63.12
弘前消防署 西北分署	弘前市大字小友字神原 371番地2	0172(93)3310	989.52	495.00	鉄骨造一部2階建	S56.12
弘前消防署 西分署	弘前市大字鳥井野字宮本 301番地2	0172(82)3311	(5,012.07)	626.73	鉄骨造 平屋建	H24.3
弘前消防署 目屋分署	中津軽郡西目屋村大字 田代字神田56番地	0172(85)3119	(1,854.58)	354.24 (136.54)	鉄骨一部木造 一部 2階建	H11.3
東消防署	弘前市大字城東中央 五丁目6番地11	0172(27)1151	3,081.15	2018.19	鉄骨造 4階建	H26.12
東消防署 柘形分署	弘前市大字豊原一丁目 3番地9	0172(33)4311	394.11	380.54	鉄骨造 一部2階建	H3.2
東消防署 南分署	南津軽郡大鰐町大字蔵館 字金坂57番地1	0172(48)2108	1,668.24	408.50	木造一部鉄骨造 平 屋建	S61.3
東消防署 北分署	南津軽郡藤崎町大字藤崎 字中豊田7番地3	0172(75)3333	(2,686.16)	(626.68)	鉄骨造 平屋建	H26.12
黒石消防署	黒石市追子野木一丁目 576番地	0172(53)1000	(6,904.93)	(2,958.83)	SRC造 2階建	H7.6
黒石消防署 山形分署	黒石市大字上山形字村岸 9番地2	0172(54)8330	(1,359.67)	(291.00)	鉄骨造 平屋建	S55.12
黒石消防署 田舎館分署	南津軽郡田舎館村大字 八反田字古館206番地1	0172(58)2962	(1,156.50)	(417.81)	鉄骨造 平屋建	H7.11
平川消防署	平川市平田森前田 331番地	0172(44)3122	(5,554.00)	(1,807.00)	鉄骨造 2階建	H2.2
平川消防署 碓ヶ関分署	平川市碓ヶ関鯨森 67番地2	0172(45)2240	(1,009.13)	(423.63)	鉄骨造 一部2階建	S55.9
板柳消防署	北津軽郡板柳町大字 灰沼字岩井70番地	0172(73)2339	(2,627.00)	(882.13)	鉄骨造 2階建	S50.12

※建築面積は庁舎のみ。()は、所在市町村所有である。

消防職員階級別配置状況

(平成31年4月1日現在)

階級 所属	現 員	消 防 吏 員							
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	434(16)	1	6	9	66	105(1)	141(5)	64(7)	42(3)
消 防 本 部	59(3)	1	1	5	12	21(1)	19(2)		
総 務 課	11	1	1	1	2	4	2		
人 材 育 成 課	10(1)			1	2	3(1)	4		
予 防 課	11(2)			1	2	5	3(2)		
警 防 課	8			1	2	3	2		
通 信 指 令 課	19			1	4	6	8		
弘 前 消 防 署 管 轄	112(5)		1	1	16	26	36(2)	20(1)	12(2)
弘 前 消 防 署	46(3)		1	1	8	10	16(1)	4(1)	6(1)
藤 代 分 署	21				2	4	6	6	3
西 北 分 署	12				2	4	4	2	
西 分 署	21(2)				2	4	6(1)	6	3(1)
目 屋 分 署	12				2	4	4	2	
東 消 防 署 管 轄	114(5)		1	1	14	22	35(1)	25(4)	16
東 消 防 署	51(3)		1	1	8	10	17(1)	7(2)	7
柘 形 分 署	21				2	4	6	6	3
南 分 署	21				2	4	6	6	3
北 分 署	21(2)				2	4	6	6(2)	3
黒 石 消 防 署 管 轄	70(2)		1	1	12	18	24	8(1)	6(1)
黒 石 消 防 署	46(2)		1	1	8	10	16	4(1)	6(1)
山 形 分 署	12				2	4	4	2	
田 舎 館 分 署	12				2	4	4	2	
平 川 消 防 署 管 轄	57(1)		1	1	10	14	20	6(1)	5
平 川 消 防 署	45		1	1	8	10	16	4(1)	5
碓 ヶ 関 分 署	12				2	4	4	2	
板 柳 消 防 署	22		1		2	4	7	5	3

() については、女性消防吏員

消防職員階級別年齢調

(平成31年4月1日現在)

区分 年齢	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	434	1	6	9	66	105	141	64	42
18 歳	1								1
19 "	2								2
20 "	2								2
21 "	7								7
22 "	9								9
23 "	14							8	6
24 "	2							1	1
25 "	10							3	7
26 "	16						1	12	3
27 "	14						2	11	1
28 "	5						1	4	
29 "	22						10	10	2
30 "	11						6	4	1
31 "	15						14	1	
32 "	11						7	4	
33 "	21						17	4	
34 "	8						8		
35 "	7						6	1	
36 "	3						3		
37 "	11						11		
38 "	8					1	7		
39 "	11					2	9		
40 "	12					3	9		
41 "	12					7	5		
42 "	16					11	5		
43 "	21					11	10		
44 "	18					11	6	1	
45 "	23				2	19	2		
46 "	15				4	10	1		
47 "	16				7	8	1		
48 "	20				9	11			
49 "	4				3	1			
50 "	6				3	3			
51 "	13				11	2			
52 "	7				6	1			
53 "	2			1		1			
54 "	6		1		3	2			
55 "	8			4	4				
56 "	3			1	1	1			
57 "	5	1		1	3				
58 "	10		2	1	7				
59 "	7		3	1	3				
平均年齢	38.8	57	57.8	55.9	51.5	45.1	35.9	27.9	23.0

消防職員階級別勤続年数調

(平成31年4月1日現在)

年 齢	区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計		434	1	6	9	66	105	141	64	42
1	年 未 満	6								6
1	年 以 上 2 年 未 満	5								5
2	年 " 3 年 "	10								10
3	年 " 4 年 "	12								12
4	年 " 5 年 "	9								9
5	年 " 6 年 "	27							27	
6	年 " 7 年 "	0								
7	年 " 8 年 "	15						2	13	
8	年 " 9 年 "	25						11	14	
9	年 " 10 年 "	24						18	6	
10	年 " 11 年 "	7						5	2	
11	年 " 12 年 "	24						23	1	
12	年 " 13 年 "	4						4		
13	年 " 14 年 "	14						14		
14	年 " 15 年 "	0								
15	年 " 16 年 "	8					1	7		
16	年 " 17 年 "	4						4		
17	年 " 18 年 "	10					1	9		
18	年 " 19 年 "	2					2			
19	年 " 20 年 "	13					4	9		
20	年 " 21 年 "	5					3	2		
21	年 " 22 年 "	4					2	2		
22	年 " 23 年 "	17				1	9	7		
23	年 " 24 年 "	21				2	12	7		
24	年 " 25 年 "	31				4	19	8		
25	年 " 26 年 "	18			1	3	6	7	1	
26	年 " 27 年 "	18				3	14	1		
27	年 " 28 年 "	18				4	13	1		
28	年 " 29 年 "	17				8	9			
29	年 " 30 年 "	10				5	5			
30	年 " 31 年 "	4				3	1			
31	年 " 32 年 "	4			1	2	1			
32	年 " 33 年 "	4		1		3				
33	年 " 34 年 "	8			1	7				
34	年 " 35 年 "	12	1		2	7	2			
35	年 " 36 年 "	2				1	1			
36	年 " 37 年 "	5		2	1	2				
37	年 " 38 年 "	1				1				
38	年 " 39 年 "	3		1		2				
39	年 " 40 年 "	10		1	3	6				
40	年 " 41 年 "	3		1		2				
平 均 年 数		18.1	34	36.8	34.4	31.0	24.8	14.9	7.0	2.3

職員の免許資格取得状況

(平成31年4月1日現在)

免許別		階級別	計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
機械 運 転 ・ 操 作 ・ 整 備 関 係	大型自動車		294		4	7	56	96	106	24	1
	中型自動車		108			1	3	5	62	35	2
	中型自動車 8 t 限定		287	1	6	8	64	103	95	10	
	準中型自動車		2							1	1
	準中型自動車 5 t 限定		135			1	2	1	44	53	34
	大型特殊自動車		78		2	2	11	24	29	8	2
	けん引		4				1	2	1		
	自動二輪車 (大 型)		34			1	6	11	11	3	2
	自動二輪車 (中 型)		131	1	1	1	26	36	42	18	6
	三級整備士 (シヤシ)		1				1				
	玉掛技能		161		4	3	31	52	66	5	
	移動式クレーン運転業務		164		3	3	31	55	67	5	
	クレーン運転業務		8				1	2	5		
	小型船舶操縦士 (2 級)		49		2	1	15	18	11	1	1
	車両系建設機械 (整地等)		47				9	15	21	2	
	車両系建設機械 (解 体)		34				4	9	20	1	
	小型車両系 (整 地)		16					8	6	1	1
整備管理者		3				3					
通信 関 係	第一級陸上特殊無線技士		1					1			
	第二級陸上特殊無線技士		281	1	5	9	62	94	104	5	1
	第三級陸上特殊無線技士		144				2	11	37	59	35
	第三級アマチュア無線技士		1					1			
	第四級アマチュア無線技士		9			1	3	3	2		
予 防 関 係	予防技術資格者 (防火査察専門員)		70			1	6	25	27	9	2
	予防技術資格者 (消防用設備等専門員)		24				4	10	8	2	
	予防技術資格者 (危険物専門員)		16				4	3	7	2	
	危険物取扱者 (甲)		3					2		1	
	危険物取扱者 (乙 三)		9				1	1	3	2	2
	危険物取扱者 (乙 四)		71				8	14	21	14	14
	危険物取扱者 (丙)		23			1	5	9	2	5	
	消防設備士 (甲 四)		2				1			1	
消防設備士 (乙 六)		14				2	5	2	4	1	
消防設備士 (乙 七)		1		1							
救 急 関 係	指導救命士		5					5			
	救急救命士		107			4	23	29	36	7	9
	気管挿管認定救命士		97			4	23	29	32	7	2
	薬剤投与認定救命士		98			4	20	29	34	7	4
	処置拡大 2 行為		92				18	29	34	7	4
	救急標準課程又は救急科		320			1	24	81	132	57	25
	救急 I 課程		87	1	5	8	45	27	1		
	救急 II 課程		82	1	6	7	42	25	1		
応急手当指導員		404	1	3	5	63	104	139	63	26	
そ の 他	潜水士		38		1		6	10	13	5	3
	第二種酸素欠乏危険作業主任者		139	1	2	2	21	50	58	4	1
	特定化学物質等作業主任者		66			2	17	34	13		
	衛生管理者		9		1	2	1	2	2	1	
	ガス溶接技能		94		2	2	21	38	25	5	1
	電気工事士 (二 種)		9		1	1		2	1	3	1
	ボイラー技士 (二 級)		10			1	2	2	3	2	
火薬取扱保安責任者		1						1			

職員研修等実施状況

(平成31年4月1日現在)

学校教育

課 題		対 象	回数	期 間	人員
消防大学校	緊急消防援助隊教育科 指揮隊長コース	消防司令	1	H30.4.16 ~ H30.4.26	1
	幹 部 科	消防司令	1	H30.8.20 ~ H30.10.5	1
	救 助 科	消防司令補	1	H30.4.11 ~ H30.6.1	1
	危 険 物 科	消防司令補	1	H30.6.27 ~ H30.7.27	1
	危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護コース	消防司令	1	H30.5.30 ~ H30.6.6	1
	緊急消防援助隊教育科 高度救助・特別高度救助コース	消防司令補	1	H31.2.18 ~ H31.3.1	1
	女性活躍推進講習コース	消防士長	1	H30.12.13 ~ H31.12.21	1
県消防学校	初 任 科	消防士	1	H30.4.5 ~ H30.9.27	4
	救 助 科	消防士長	1	H30.10.4 ~ H30.11.1	5
	救 急 科	消防士	1	H31.1.9 ~ H31.3.5	3
	警 防 科	消防士長	1	H30.11.15 ~ H30.11.29	5
	中 級 幹 部 科	消防司令補	1	H30.11.5 ~ H30.11.13	3
	火 災 調 査 科	消防士長	1	H31.3.7 ~ H31.3.20	7

研 修

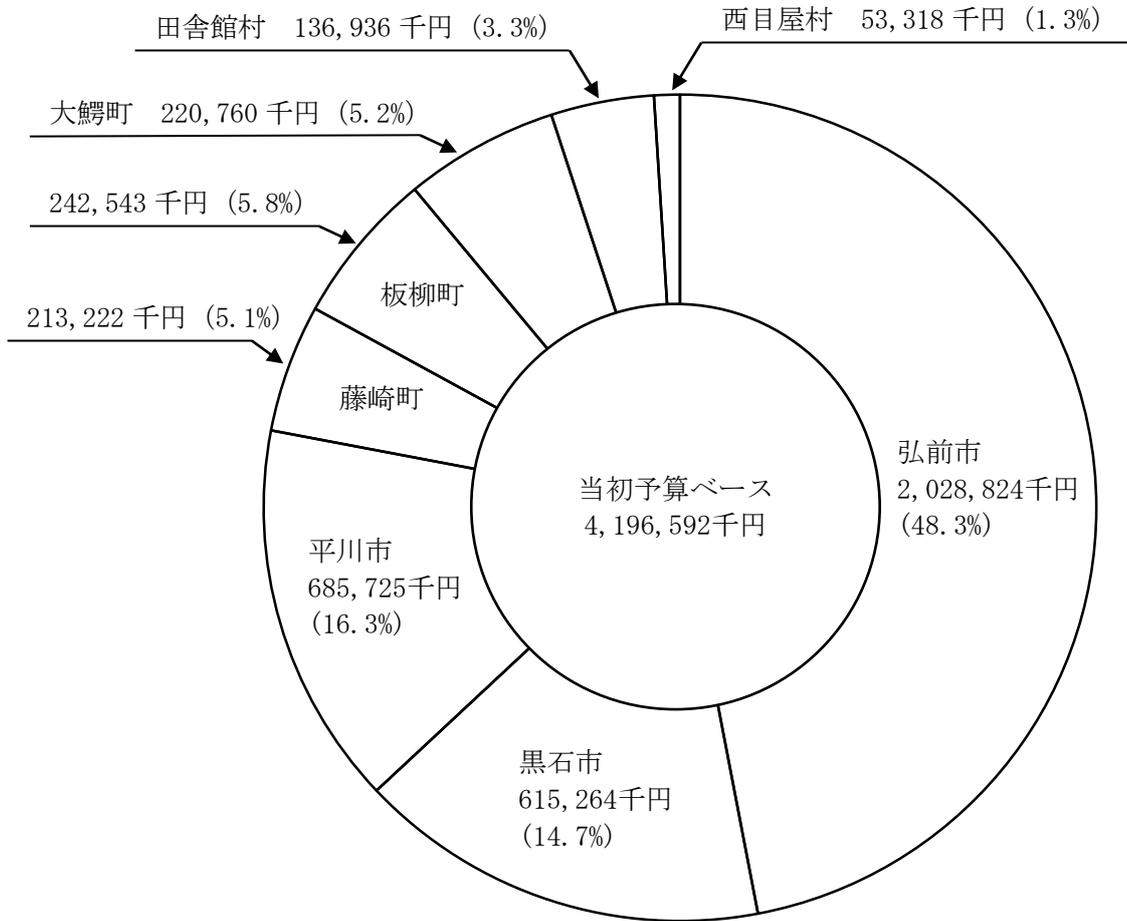
課 題		対 象	回数	期 間	人員
弘前市研修	女性活躍推進研修 BOSS 塾	消防司令・消防司令補	1	H30.7.19	12
	女性活躍推進研修女志塾	女性職員	1	H30.7.20	2
	クレーン対応研修	消防司令補・消防士長	1	H30.11.14	3
	組織のストレスケア・ハラスメント防止研修	消防司令・消防司令補	1	H30.11.27	8
	レジリエンス向上研修	消防司令～消防副士長	1	H30.12.20	11
東北自治 研修所	OJT指導者養成研修	消防司令補	1	H30.6.13 ~ H30.6.15	1
	JKET指導者養成研修	消防司令補	1	H30.6.20 ~ H30.6.22	1
	接遇研修指導者養成研修	消防士長	1	H30.6.6 ~ H30.6.8	1
	ハラスメント防止指導者養成研修	消防司令補	1	H30.7.5 ~ H30.7.6	1
	研修企画・運営者研修	消防司令補	1	H30.5.15 ~ H30.5.17	1
海上自衛隊大湊水中処分隊合同潜水研修	潜水士	1	H30.11.19 ~ H30.11.23	2	
調査技術会議研修会	消防司令補	1	H30.9.14	1	
全国消防協会東北地区支部予防・広報講習会	消防士長	1	H30.11.26 ~ H30.11.28	1	
消防・救急緊急自動車運転技能者講習	消防司令補・消防副士長	2	H30.9.25 ~ H30.9.28	2	
違反是正実務研修	消防司令補	1	H30.9.7 ~ H30.9.8	1	
救急実務講習会	消防司令補	1	H30.10.23 ~ H30.10.24	1	
消防財政実務研修会	消防士長	1	H30.8.30	1	
全国消防長会東北支部消防署長研修会	消防監	1	H30.9.20 ~ H30.9.21	3	
全国消防長会東北支部警防実務研究会	消防司令	1	H30.10.11	1	
指導救命士養成研修	消防司令補	2	H30.5.14 ~ H30.6.22	1	
			H30.6.27 ~ H30.8.8	1	
救急救命東京研修所 救急救命士養成課程	救急隊員	2	H30.4.4 ~ H30.9.28	2	
			H30.8.29 ~ H31.3.11	1	
救急医療業務実地講習	救急救命士	1	H30.12.17 ~ H30.12.21	1	
ビデオ喉頭鏡実習	救急救命士	1	H31.1.28 ~ H31.2.14	5	
救急救命士気管挿管病院実習	救急救命士	1	H30.11~H31.3 (30症例)	3	
救急救命士生涯教育	救急救命士	1	H30.9~H31.3 (4日間)	84	

令和元年度 予算歳入歳出比較表

(単位：千円)

区 分		本年度予算		前年度予算		比較 (A - B)
		金額(A)	構成比%	金額(B)	構成比%	
歳 入	1 分担金及び負担金	4,196,592	90.8	4,011,001	91.4	185,591
	2 使用料及び手数料	1,510	0.0	1,810	0.0	△300
	3 財産収入	106	0.0	7	0.0	99
	4 繰入金	66,001	1.4	66,001	1.5	0
	5 繰越金	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	6 諸収入	21,067	0.5	20,533	0.5	534
	7 組合債	334,400	7.3	290,100	6.6	44,300
	合 計	4,620,676	100.0	4,390,452	100.0	230,224
歳 出	1 議会費	3,652	0.1	1,117	0.0	2,535
	2 総務費	375	0.0	375	0.0	0
	3 消防費	4,172,229	90.3	3,966,595	90.4	205,634
	4 公債費	364,026	7.9	342,240	7.8	21,786
	5 基金積立金	79,394	1.7	79,125	1.8	269
	6 予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	合 計	4,620,676	100.0	4,390,452	100.0	230,224
性 質 別 歳 出	人件費	3,357,817	72.7	3,302,034	75.2	55,783
	物件費	327,228	7.1	293,511	6.7	33,717
	維持補修費	3,209	0.1	5,732	0.1	△2,523
	扶助費	48,645	1.0	49,455	1.1	△810
	補助費等	18,361	0.4	16,188	0.4	2,173
	普通建設事業費	420,996	9.1	301,167	6.9	119,829
	公債費	364,026	7.9	342,240	7.8	21,786
	積立金	79,394	1.7	79,125	1.8	269
	予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	合 計	4,620,676	100.0	4,390,452	100.0	230,224

令和元年度 関係市町村負担金状況



消防予算等の推移 (5ヶ年間)

年 度	消防予算 (千円)	一世帯当り (円)	住民一人当り (円)
平成27年度	4,662,505	37,961	15,785
平成28年度	4,276,174	34,691	14,646
平成29年度	4,199,902	36,373	14,526
平成30年度	4,390,452	37,893	15,360
令和元年度	4,620,676	37,142	16,360

予 防



市町村別防火対象物の状況

(平成31年3月31日現在)

用途別		市町村別	合	弘	黒	平	藤	板	大	田	西
			計	前	石	川	崎	柳	鰐	舎	目
				市	市	市	町	町	町	館	屋
				村						村	村
合計			9,875	6,555	1,125	805	408	420	304	196	62
1	イ	劇場・映画館等	16	8	2	2	3			1	
	ロ	公会堂・集会場	371	168	45	60	26	28	20	19	5
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	26	17	5		2	1	1		
	ハ	性風俗関連店舗									
	ニ	カラオケボックス等	5	5							
3	イ	待合・料理店等	3	1	2						
	ロ	飲食店	263	190	39	12	6	9	5	2	
4		百貨店・マーケット等	421	281	55	28	16	26	8	7	
5	イ	旅館・ホテル	204	77	58	7		9	29	12	12
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	2,554	2,188	165	88	46	36	17	12	2
6	イ	病院・診療所等	240	170	25	16	11	10	6	2	
	ロ	老人福祉施設等	229	139	29	15	11	13	11	9	2
	ハ	デイサービス等	351	215	40	33	18	16	20	8	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	25	18	4	2	1				
7		小・中・高・大・各種学校等	316	234	23	33	8	11	3	2	2
8		図書館・博物館等	16	7	3	1	1	2		2	
9	イ	蒸気浴場等									
	ロ	公衆浴場等	35	14	3	12	1	1		1	3
10		車両の停車場									
11		神社・寺院・教会等	191	122	22	12	12	10	10	3	
12	イ	工場・作業場	1,043	547	169	117	55	52	42	55	6
	ロ	スタジオ等									
13	イ	自動車庫車庫・駐車場	176	95	23	28	9	11	6	3	1
	ロ	特殊格納庫									
14		倉庫	1,300	726	152	148	117	87	38	25	7
15		前各項に該当しない事業所	959	571	126	108	35	37	48	20	14
16	イ	特定を含む複合用途	665	447	70	59	19	29	26	9	5
	ロ	非特定の複合用途	400	261	54	23	11	32	14	4	2
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財	66	54	11	1					
18		アーケード									

※ 1 防火対象物数は指定査察対象物を計上し、休業中等の防火対象物（高層建築物を除く）については計上していない。

2 単位：棟数

防火対象物の階数別状況

(平成31年3月31日現在)

用途別	階数別	対 象 物 数	階数別対象物数																		
			地 階 の み	1 ～ 2 階	3 階	計	中高層建築物														
							4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階			
合計		9,875	1	8,710	766	398(28)	229	65	36	18	9(3)	8(4)	10(3)	9(4)	3(3)	2(2)	4(4)	5(5)			
1	イ 劇場・映画館等	16		12	4																
	ロ 公会堂・集会場	371		363	5	3	3														
2	イ キャバレー等																				
	ロ 遊技場・ダンスホール	26		22	3	1	1														
	ハ 性風俗関連店舗 ニ カラオケボックス等	5		5																	
3	イ 待合・料理店等	3		2	1																
	ロ 飲食店	263		241	11	11	4	6	1												
4	百貨店・マーケット等	421		400	19	2	2														
5	イ 旅館・ホテル等	204		161	17	26(5)	7	5	2	3	2	3(2)	2(1)		1(1)		1(1)				
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	2,554		2,189	201	164(12)	104	22	7	3	3	3(1)	6	8(3)	1(1)	1(1)	2(2)	4(4)			
6	イ 病院・診療所等	240		187	24	29(1)	12	8	7	1		1(1)									
	ロ 老人福祉施設等	229		205	14	10	7	1	1	1											
	ハ デイサービス等	351		332	14	5	1	3	1												
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	25		21	4																
7	小・中・高・大・各種学校等	316		188	91	37(2)	24	5	5	1	1(1)		1(1)								
8	図書館・博物館等	16		15		1	1														
9	イ 蒸気浴場等																				
	ロ 公衆浴場等	35		35																	
10	車両の停車場																				
11	神社・寺院・教会等	191		176	14	1	1														
12	イ 工場・作業場	1,043		1018	20	5	3	1	1												
	ロ スタジオ等																				
13	イ 自動車車庫・駐車場	176	1	165	5	5	1	2	1	1											
	ロ 特殊格納庫																				
14	倉庫	1,300		1,276	24																
15	前各項に該当しない事業所	959		818	97	44(1)	29	7	5	2	1(1)										
16	イ 特定を含む複合用途	665		494	134	37(5)	21	2	2	5	3(2)	1		1(1)	1(1)	1(1)					
	ロ 非特定の複合用途	400		325	58	17(2)	8	3	3	1		1(1)						1(1)			
16の2	地下街																				
16の3	準地下街																				
17	文化財	66		60	6																
18	アーケード																				

- ※ 1 ()内は、内書きで高さ31mを超える高層建築物を計上。
 2 防火対象物数は指定査察対象物を計上し、休業中等の防火対象物（高層建築物を除く）については計上していない。
 3 単位：棟数

予防査察の実施状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

用途別		市町村別	合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰐 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村
合計			3,008	1,760	471	362	119	107	78	95	16
1	イ	劇場・映画館等	8	4	2	1	1				
	ロ	公会堂・集会場	128	32	23	45	3		3	18	4
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	6	5	1						
	ハ	性風俗関連店舗									
	ニ	カラオケボックス等									
3	イ	待合・料理店等	2		2						
	ロ	飲食店	98	56	29	8	4	1			
4		百貨店・マーケット等	151	93	30	15	3	7	1	2	
5	イ	旅館・ホテル等	129	34	58	7		9	18	1	2
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	400	345	5	24	10	3	1	11	1
6	イ	病院・診療所等	138	98	24	4	4	4	2	2	
	ロ	老人福祉施設等	184	115	29	4	11	13	10	2	
	ハ	デイサービス等	213	132	36	9	7	15	10	4	
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	7	3	4						
7		小・中・高・大・各種学校等	101	66	8	22		3		2	
8		図書館・博物館等	4	2	1	1					
9	イ	蒸気浴場等									
	ロ	公衆浴場等	7	2		4					1
10		車両の停車場									
11		神社・寺院・教会等	40	24	2	6	2	3	3		
12	イ	工場・作業場	300	130	58	45	14	14	4	33	2
	ロ	スタジオ等									
13	イ	自動車車庫・駐車場	46	27	5	10		3	1		
	ロ	特殊格納庫									
14		倉庫	359	177	48	63	41	11	9	7	3
15		前各項に該当しない事業所	244	144	27	37	12	8	5	11	
16	イ	特定を含む複合用途	285	162	51	44	5	10	8	2	3
	ロ	非特定の複合用途	96	59	17	12	2	3	3		
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財	62	50	11	1					
18		アーケード									

※ 単位：棟数

違反処理状況

年度	警告	命令	告発	特例認定の取消
平成26年度	2	—	—	—
平成27年度	1	—	—	—
平成28年度	31	2	—	—
平成29年度	26	2	—	—
平成30年度	4	1	—	—

※ 単位：件数



防火管理者資格取得状況

年別	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
人数	292	312	268	397	286

防火管理者選任及び消防計画届出状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

用途別		区 分	義務対象物件数	防火管理者選任 届出対象物件数		消防計画作成 届出対象物件数	
				届出数	選任率%	届出数	作成率%
合 計			2,351	2,268	96	2,221	94
1	イ	劇場・映画館等	10	10	100	10	100
	ロ	公会堂・集会場	186	185	99	185	99
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場・ダンスホール	25	25	100	25	100
	ハ	性風俗関連店舗					
	ニ	カラオケボックス等	5	5	100	5	100
3	イ	待合・料理店等	3	3	100	3	100
	ロ	飲食店	226	198	88	190	84
4		百貨店・マーケット等	269	251	93	250	93
5	イ	旅館・ホテル等	73	70	96	69	95
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	88	86	98	86	98
6	イ	病院・診療所等	81	79	98	78	96
	ロ	老人福祉施設等	162	161	99	160	99
	ハ	デイサービス等	193	193	100	192	99
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	19	19	100	19	100
7		小・中・高・大・各種学校等	130	130	100	130	100
8		図書館・博物館等	6	6	100	5	80
9	イ	蒸気浴場等					
	ロ	公衆浴場等	25	25	100	25	100
10		車両の停車場					
11		神社・寺院・教会等	118	114	97	114	97
12	イ	工場・作業場	77	77	100	77	100
	ロ	スタジオ等					
13	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	特殊格納庫					
14		倉庫	11	10	91	10	91
15		前各項に該当しない事業所	201	196	98	195	97
16	イ	特定を含む複合用途	401	384	96	353	88
	ロ	非特定の複合用途	27	26	96	26	96
16の2		地下街					
16の3		準地下街					
17		文化財	15	15	100	14	93

※ 単位：件数

訓練指導・講話・広報等状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

		消 防 訓 練	防 火 講 話	消 防 施 設 見 学	火 災 予 防 広 報	合 計
消 防 本 部	回数	5	10	1		16
	人員	395	172	19		586
弘 前 消 防 署 管 轄	回数	40	7	35	184	266
	人員	4,637	262	1,112	1,077	7,088
東 消 防 署 管 轄	回数	116	6	124 (95)	143	389 (95)
	人員	4,367	121	2,397 (2,247)	455	7,340 (2,247)
黒 石 消 防 署 管 轄	回数	43	3	13	184	243
	人員	4,987	150	401	794	6,332
平 川 消 防 署 管 轄	回数	26	5	9	93	133
	人員	3,622	325	206	189	4,342
板 柳 消 防 署	回数	22			47	69
	人員	1,899			150	2,049
合 計	回数	252	31	182 (95)	651	1,116 (95)
	人員	19,907	1,030	4,135 (2,247)	2,665	27,737 (2,247)

※ ()内は東消防署防災教育室利用状況を計上。

東消防署防災教育室利用状況

年 度	件 数	利用者数	体 験 内 容						延べ時間
			消 火	煙	地 震	応急手当	その他	庁舎見学	
29年度	129件	2,789人	122件	122件	123件	20件	24件	83件	181時間00分
30年度	95件	2,247人	93件	93件	93件	20件	4件	92件	135時間10分
合 計	224件	5,036人	215件	215件	216件	40件	28件	175件	316時間10分

届出受付状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	防火管理者 選解任	消防計画 作成変更	改修報告	防火対象物 使用開始届	消防用設備 等点検報告	変電設備等	その他	消防同意	合計
4月	96	171	3	36	169	4	10	34	523
5月	39	58	2	17	225	5	19	28	393
6月	39	46	3	23	232	2	9	56	410
7月	46	44	93	31	279	7	18	37	555
8月	37	45	168	36	228	6	32	29	581
9月	25	28	98	14	408	5	10	31	619
10月	43	50	170	35	345	5	14	45	707
11月	59	62	97	19	255	9	6	30	537
12月	19	23	73	18	309	8	7	24	481
1月	6	9	15	23	254	5	2	14	328
2月	23	26	19	20	134	8	5	29	264
3月	30	33	27	31	234	14	14	31	414
合計	462	595	768	303	3,072	78	146	388	5,812

※ 1 「その他」は、炉、厨房設備、ボイラー等の設置及び変更や露店等開設の届出

2 単位：件数

平成30年度 避難行動要支援者防火防災診断実施状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	実施世帯	未実施世帯								
		内 訳								
		死亡	入 院	入 園	拒 否	転 居	対象外	不 在		
計	773	696	23	43	88	29	17	123	373	
弘 前 市	411	318	4	18	37	5	6	38	210	
黒 石 市	76	59	1	2	13	15	2	13	13	
平 川 市	85	206	15	19	24	6	6	66	70	
藤 崎 町	47	24		1		2	2		19	
板 柳 町	46	34	3		4		1	3	23	
大 鱈 町	84	45		2	9			3	31	
田 舎 館 村	17	9		1		1			7	
西 目 屋 村	7	1			1					
備 考										
指導状況		・住宅用火災警報器未設置に対する指導					307 件			
		・火気使用器具（暖房器具等）の管理に関する指導					16 件			
		・電気配線、配線コード等に関する指導					8 件			
		・建物内外の整理整頓不適（火災予防目的）に関する指導					13 件			
		・喫煙の状況等に関する指導					1 件			

※ 単位：世帯

市町村別危険物施設の状況

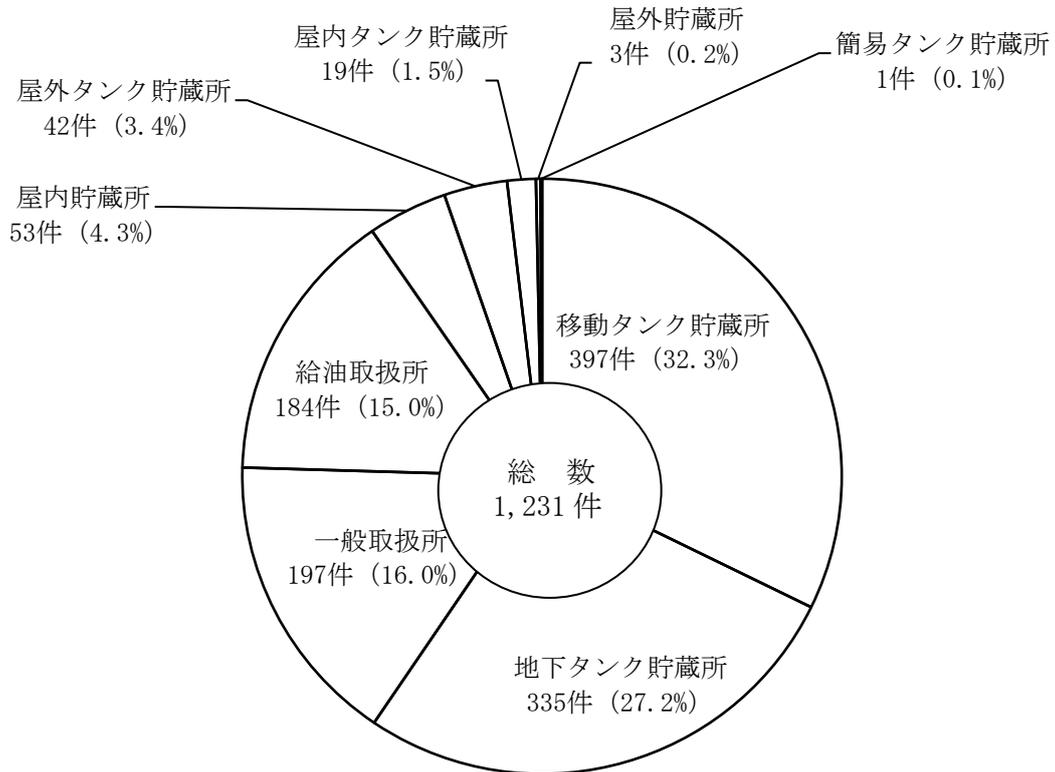
(平成31年3月31日現在)

施設別		市町村別								
		合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰯 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村
合 計		1,231	712	147	153	75	57	48	26	13
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	53	34	3	8	4	2	1	1	
	屋外タンク貯蔵所	42	20	3	5	4	2	1	7	
	屋内タンク貯蔵所	19	13	3	1		1	1		
	地下タンク貯蔵所	335	189	39	43	20	12	19	5	8
	簡易タンク貯蔵所	1	1							
	移動タンク貯蔵所	397	233	58	51	24	17	7	6	1
	屋外貯蔵所	3	2						1	
小 計		850	492	106	108	52	34	29	20	9
取 扱 所	給油取扱所	184	97	23	24	14	15	7	2	2
	第一種販売取扱所									
	一般取扱所	197	123	18	21	9	8	12	4	2
小 計		381	220	41	45	23	23	19	6	4

※ 単位：施設数

危険物施設の状況

(平成31年3月31日現在)



規模別危険物施設の状況

(平成31年3月31日現在)

区分	施設別	合計	貯蔵所						取扱所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般
合計		1,231	53	42	19	335	1	397	3	184		197
数量	倍数が5以下	703	23	13	14	168	1	376		12		96
	倍数が5を超え10以下	202	15	4	5	109		4	3	13		49
	倍数が10を超え50以下	151	10	15		33		4		47		42
	倍数が50を超え100以下	63	3	4		11		10		27		8
	倍数が100を超え150以下	29	2	3		3		3		17		1
	倍数が150を超え200以下	24		1		2				20		1
	倍数が200を超えるもの	59		2		9				48		

※ 倍数は、貯蔵最大数量又は取扱最大数量を消防法別表で定める指定数量で除して得た数値である。

※ 単位：施設数

危険物施設の推移（5ヶ年間）

（平成31年3月31日現在）

年度別 施設別	合計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	一般取扱所
26年	1,311	53	43	18	387	1	397	4	205		203
27年	1,308	55	43	18	373	1	407	4	201		206
28年	1,298	54	42	19	368	1	408	3	199		204
29年	1,281	55	42	20	361	1	402	3	196		201
30年	1,231	53	42	19	335	1	397	3	184		197

※ 単位：施設数

危険物関係各種届出・申請件数

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

区分	総数	危険物関係届出・申請						少量危険物等届出			
		廃止届出書	予防規程に係る所長等の書	名称等変更届出書	保安監督者選任・解任届出書	軽微な変更届出書	その他の届出・申請	少量危険物貯蔵・取扱い届出書	指定可燃物貯蔵・取扱い届出書	液化石油ガス設備工事届出書	又は取扱いの開始届出書 圧縮アセチレンガス等の貯蔵
件数	632	34	28	177	48	80	61	127	21	10	46

※ 危険物関係届出・申請：その他の届出・申請内訳

品名、数量又は指定数量の倍数変更届出書	12件
危険物製造所等使用休止再開届出書	10件
譲渡・引渡届出書	17件
予防規程認可申請書	3件
許可証等再交付申請書	3件
休止中の地下貯蔵タンク等の漏れの点検期間延長申請書	10件
危険物製造所等災害発生届出書	1件
震災時における危険物仮貯蔵・仮取扱い実施計画書	1件
危険物製造所等許可申請取下げ届出書	2件
基準の特例認定申請書	2件

危険物製造所等の処理状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

製造所等の別		区分	合計	設置		変更		タンク検査		仮貯蔵・仮取扱	仮使用
				許可	完成	許可	完成	水張	水圧		
平成30年度 (合計)			167	26	23	44	44	0	1	6	23
仮貯蔵・仮取扱			6							6	
貯蔵所	屋内貯蔵所		0								
	屋外タンク貯蔵所		3	2	1						
	屋内タンク貯蔵所		0								
	地下タンク貯蔵所		6	1		2	2				1
	簡易タンク貯蔵所		0								
	移動タンク貯蔵所		73	21	20	16	16				
	屋外貯蔵所		0								
小計			88	24	21	18	18	0	0	6	1
取扱所	給油取扱所		45	1	1	14	15		1		13
	販売取扱所	第1種	0								
		第2種	0								
	移送取扱所		0								
	一般取扱所		34	1	1	12	11				9
小計			79	2	2	26	26	0	1	0	22

※ 単位：施設数

警 防



消防車両等の保有状況

(平成31年4月1日現在)

種別 署別	合計	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	梯子車	救助工作車	化学車	救急車	司令車	指揮車	広報連絡車	資機材搬送車	重機搬送車	付水小型動力ポンプ車	燃料補給車	その他
台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台
合計	78(6)	5	16(2)	2	4	3(1)	18(3)	1	4	12	5	1	1	1	5
消防本部	6							1		4					1
弘前消防署	7(1)		1	1	1		2(1)		1						1
藤代分署	3		1				1			1					
西北分署	3		1				1			1					
西分署	4(1)	1	2(1)				1								
目屋分署	3		1				1			1					
東消防署	11(1)			1	1	1	2(1)		1		2	1	1		1
杵形分署	5(1)		2(1)				1			1					1
北分署	4	1	1				1								1
南分署	3	1	1				1								
黒石消防署	9(1)		1		1	1	2(1)		1		2			1	
山形分署	3		1				1			1					
田舎館分署	3		1				1			1					
平川消防署	7(1)	1	1		1	1(1)	1		1		1				
碓ヶ関分署	3		1				1			1					
板柳消防署	4	1	1				1			1					

※1 その他は、防火指導1号車、防火指導2号車、5t重機、マイクロバス、ミニホイールローダ。

2 ()は予備車、内書き。

車両配置状況

(平成31年4月1日現在)

署 別	種 別	名 称	車 名	年 式	摘 要
消防本部	司令車	司令車	トヨタ	H11	7人乗り 弘前地区消防防災協会寄贈
	広報車	広報1号車	三菱	H19	
	広報車	広報2号車	三菱	H22	
	防火査察指導車	査察1号車	日産	H24	
	防火査察指導車	査察2号車	日産	H15	
	査察車	防火指導2号車	ダイハツ	H20	
弘前消防署	救助工作車	救助1号車	日野	H14	Ⅱ型 A-2級
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H22	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	はしご付消防自動車	梯子1号車	日野	H29	40m級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H24	高規格救急車 全国共済農業協同組合連合会寄贈
	指揮隊車	指揮1号車	トヨタ	H22	
	救急自動車	弘前予備救急1号車	トヨタ	H11	高規格救急車
	防火指導車	防火指導1号車	トヨタ	H23	15人乗り
藤代分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H24	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H17	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H16	
西北分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H13	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級 高圧ポンプ
	救急自動車	救急1号車	日産	H19	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H27	
西分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H17	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級 高圧ポンプ
	消防ポンプ自動車	ポンプ1号車	日野	H19	CD-I型 A-2級
	救急自動車	救急1号車	日産	H26	高規格救急車
	水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防3号車	三菱	H12	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
目屋分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H15	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級 高圧ポンプ
	救急自動車	救急1号車	日産	H20	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H13	
東消防署	救助工作車	救助1号車	日野	H31	Ⅲ型
	化学消防ポンプ自動車	化学1号車	日野	H29	化学Ⅱ型 積載水1,500L 薬液500L A-2級
	はしご付消防自動車	梯子1号車	日野	H17	30m級 先端屈折式
	水槽車	水槽1号車	日野	H27	小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型 積載水5,000L
	救急自動車	救急1号車	日産	H21	高規格救急車
	指揮隊車	指揮1号車	トヨタ	H26	
	救急自動車	弘前予備救急3号車	トヨタ	H13	高規格救急車
	重機搬送車	弘前重機搬送1号車	三菱	H28	最大積載量9.2t 緊急消防援助隊無償使用車両
	5t重機	弘前重機1号車	コベルコ	H28	アタッチメント(掘削・破碎・切断・解体用つかみ) 緊急消防援助隊無償使用車両
	資機材搬送車	支援1号車	日産	H11	最大積載量0.5t
資機材搬送車	弘前資機材搬送1号車	三菱	H28	最大積載量3t	
柘形分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H16	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H27	高規格救急車
	水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防1号車	三菱	H11	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	広報連絡車	広報連絡車	三菱	H17	
	マイクロバス	弘前人員搬送1号車	日野	H9	29人乗り
北分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H14	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ1号車	日野	H19	CD-I型 A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H28	高規格救急車
	小型特殊自動車	作業1号車	キャタピラー	H26	ミニホイールローダ

署 別	種 別	名 称	車 名	年式	摘 要
南 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H30	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ポンプ 1 号車	日 野	H19	CD-I 型 A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	トヨタ	H13	高規格救急車
黒石消防署	救 助 工 作 車	救助 1 号車	日 野	H24	Ⅱ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H24	水Ⅰ-B型 積載水 1,500L 圧縮空気泡消火装置付 A-2級
	化学消防ポンプ自動車	化学 1 号車	日 野	H14	化学Ⅱ型 積載水 1,500L 薬液 500L A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	日 産	H30	高規格救急車
	指 揮 隊 車	指揮 1 号車	トヨタ	H25	
	資 機 材 搬 送 車	支援 1 号車	トヨタ	H24	最大積載量 1t
	資 機 材 搬 送 車	弘前資機材搬送2号車	三 菱	H25	最大積載量 3t 緊急消防援助隊無償使用車両
	燃 料 補 給 車	弘前燃料補給1号車	三 菱	H24	990L(軽油) 緊急消防援助隊無償使用車両
救 急 自 動 車	弘前予備救急2号車	トヨタ	H16	高規格救急車	
山 形 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H30	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	日 産	H27	高規格救急車
	広 報 連 絡 車	広報連絡車	日 産	H12	
田舎館分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	三 菱	H12	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	日 産	H16	高規格救急車
	広 報 連 絡 車	広報連絡車	スバル	H16	
平川消防署	救 助 工 作 車	救助 1 号車	日 野	H27	Ⅱ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H31	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ポンプ 1 号車	日 野	H19	CD-I 型 A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	トヨタ	H20	高規格救急車 日本損害保険協会寄贈
	指 揮 隊 車	指揮 1 号車	トヨタ	H26	
	資 機 材 搬 送 車	支援 1 号車	トヨタ	H27	最大積載量 1t
碓ヶ関分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H27	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	トヨタ	H14	高規格救急車
	広 報 連 絡 車	広報連絡車	三 菱	H22	
板柳消防署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H27	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ポンプ 1 号車	日 野	H21	CD-I 型 圧縮空気泡消火装置付 A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	トヨタ	H15	高規格救急車
	広 報 連 絡 車	広報連絡車	スバル	H30	

主要資機材配置状況

(平成31年4月1日現在)

品名	所 属	合 計	弘 前 消 防 署	藤 代 分 署	西 北 分 署	西 分 署	目 屋 分 署	東 消 防 署	杣 形 分 署	北 分 署	南 分 署	黒 石 消 防 署	山 形 分 署	田 舎 館 分 署	平 川 消 防 署	碓 ヶ 関 分 署	板 柳 消 防 署
空 気 呼 吸 器		146	14	4	4	8	4	14	4	7	8	20	4	4	36	4	11
同 上 ボ ン ベ		391	78	10	7	21	5	52	14	16	26	47	18	20	47	8	22
エ ン ジ ン カ ッ タ ー		22	2	1	1	3	1	1	1	1	1	3	1	1	3	1	1
潜 水 器 具		14	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救 命 ボ ー ト		6	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0
救 命 索 発 射 銃		7	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	1
マ ン ホ ー ル 救 助 器 具		4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
信 号 器 付 投 光 器		18	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1
救 命 胴 衣		140	23	4	4	7	4	29	7	6	4	15	5	5	17	3	7
酸 素 呼 吸 器		15	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5	0	0	5	0	0
空 気 式 救 助 マ ッ ト		3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
防 毒 マ ス ク		26	0	0	0	0	0	5	0	0	0	9	0	2	10	0	0
耐 熱 服		13	4	0	0	0	0	5	0	0	0	2	0	0	2	0	0
エ ア ー ジ ャ ッ キ		5	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0
エ ア ー ラ イ ン マ ス ク		2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
可 燃 性 ガ ス 測 定 器		18	2	1	1	1	0	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1
画 像 探 索 機		4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
可 搬 ウ イ ン チ		13	1	1	0	1	0	1	1	1	0	2	0	1	3	0	1
登 山 器 具		15	5	0	0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
酸 素 ・ ガ ス 溶 断 機		4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
送 排 風 機		8	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3	0	0
油 圧 ス プ レ ッ ダ ー		8	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	1	1
削 岩 機		3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
ガ ス 採 取 器 (北 川 式)		19	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1
放 射 線 測 定 器		9	2	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	1	0	0
放 射 線 防 護 服		6	2	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
熱 画 像 直 視 装 置		6	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	0	0
エ ア ー テ ン ト		9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	1
バ ス ケ ッ ト 型 担 架		22	2	1	1	1	1	3	1	1	1	2	2	1	3	1	1
化 学 防 護 服 (陽 圧 式)		9	2	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	3	0	0

林野火災対策機材保有状況

(平成31年4月1日現在)

	軽可搬消防ポンプ	可搬式散水装置	簡易水槽	チェーンソー
合 計	11 台	129 台	13 台	23 台
弘 前 消 防 署	1	13	1	2
藤 代 分 署	1	6	1	1
西 北 分 署	2	10	1	1
西 分 署		12	1	1
目 屋 分 署		8	2	1
東 消 防 署	1	12	1	2
枡 形 分 署	1	3	1	1
北 分 署		6	1	2
南 分 署		5		2
黒 石 消 防 署	1	16	2	2
山 形 分 署		9		1
田 舎 館 分 署		3		1
平 川 消 防 署	2	16	2	3
碓 ヶ 関 分 署	2	5		1
板 柳 消 防 署		5		2

消 防 水 利 状 況

【市町村別】

(平成31年4月1日現在)

水利種別 市町村別	合 計	消 火 栓										防 火 水 槽						
		公 設								私設	計	小計	m ³	m ³	m ³	100m ³ 以上	私設	小計
		口径 mm	75)	100)	125)	150)	200)	300)	500 以上)))			
設置別	99	124	149	199	299	499				39	59	99						
弘前市	3,219	地上式	307	201	26	69	24	3	0	7	637	2,471	30	671	31	10	6	748
		地下式	741	477	25	367	148	69	7	0	1,834							
黒石市	702	地上式	135	169	12	111	29	17	1	2	476	476	30	174	17	0	5	226
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
平川市	836	地上式	114	199	1	178	77	15	0	0	584	584	40	197	7	1	7	252
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
藤崎町	415	地上式	107	59	1	89	13	0	0	0	269	277	27	105	3	1	2	138
		地下式	3	1	0	3	1	0	0	0	8							
板柳町	416	地上式	91	134	2	94	34	10	0	0	365	368	6	38	2	0	2	48
		地下式	0	2	0	1	0	0	0	0	3							
大鱒町	293	地上式	149	18	0	30	5	0	0	1	203	220	9	56	3	0	5	73
		地下式	10	1	0	6	0	0	0	0	17							
田舎館村	244	地上式	26	33	0	48	22	0	0	3	132	132	2	108	2	0	0	112
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
西目屋村	97	地上式	29	0	0	0	0	0	0	1	30	33	4	60	0	0	0	64
		地下式	2	1	0	0	0	0	0	0	3							
合 計	6,222	地上式	958	813	42	619	204	45	1	14	2,696	4,561	148	1,409	65	12	27	1,661
		地下式	756	482	25	377	149	69	7	0	1,865							
		計	1,714	1,295	67	996	353	114	8	14	4,561							

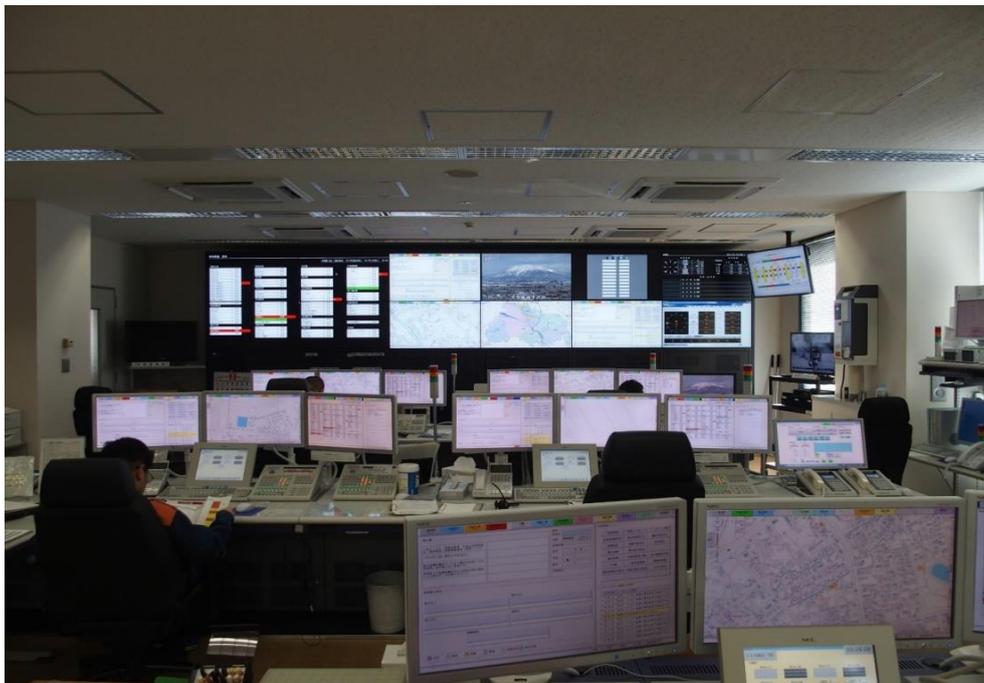
消 防 水 利 状 況

【所属別】

(平成31年4月1日現在)

水利種別 所属別	合 計		消 火 栓										防 火 水 槽									
			公 設							私設	計	小計	m ³ 20 ～ 39	m ³ 40 ～ 59	m ³ 60 ～ 99	100m ² 以上	私設	計	小計			
			口径 mm 設置別	75 ～ 99	100 ～ 124	125 ～ 149	150 ～ 199	200 ～ 299	300 ～ 499											500 以上		
弘前消防署	734		地上式	31	15		3		2		1	52	656		60	15	2	1	—	78		
			地下式	294	123		82	55	48	2		604										
藤代分署	527		地上式	63	18		3	5			1	90	372	2	150	2	1		—	155		
			地下式	89	76	6	77	24	6	4		282										
西北分署	新和地区	92	202	地上式	11	1		1				13	121	10	23	1			34	81		
				地下式	16	2	1	26			45											
	裾野地区	110	地上式	14	4			5				23										47
			地下式	17	15		7	1				40										
西分署	546		地上式	109	109	26	46	10			1	301	406	13	124	2		1	—	140		
			地下式	38	27	10	24	6			105											
目屋分署	164		地上式	31	4						1	36	65	9	90				—	99		
			地下式	8	10	8	3				29											
	うち東目屋	(67)	地上式	(2)	(4)							(6)									(32)	(5)
地下式			(6)	(9)	(8)	(3)					(26)											
東消防署	705		地上式	30	17		7	4			4	62	551		137	8	6	3	—	154		
			地下式	186	160		102	39	1	1	489											
柘形分署	438		地上式	47	33		9		1			90	333		100	3	1	1	—	105		
			地下式	95	65		46	23	14			243										
北分署	415		地上式	107	59	1	89	13				269	277	27	105	3	1	2	—	138		
			地下式	3	1		3	1				8										
南分署	293		地上式	149	18		30	5			1	203	220	9	56	3			5	—	73	
			地下式	10	1		6					17										
黒石消防署	614		地上式	115	154	12	101	29	17	1		429	429	19	148	15		3	—	185		
			地下式								0											
山形分署	88		地上式	20	15		10				2	47	47	11	26	2		2	—	41		
			地下式									0										
田舎館分署	244		地上式	26	33		48	22			3	132	132	2	108	2			—	112		
			地下式									0										
平川消防署	平賀地区	524	745	地上式	47	137		130	59	15		388	524	33	93	4		6	136	221		
				地下式							0											
	尾上地区	221	地上式	34	51		33	18				136		7	74	2	1	1	85			
			地下式							0												
碓ヶ関分署	91		地上式	33	11	1	15					60	60		30	1			—	31		
			地下式								0											
板柳消防署	416		地上式	91	134	2	94	34	10			365	368	6	38	2		2	—	48		
			地下式		2		1				3											
合 計	6,222		地上式	958	813	42	619	204	45	1	14	2,696	4,561	148	1,409	65	12	27	—	1,661		
			地下式	756	482	25	377	149	69	7	0	1,865										
			計	1,714	1,295	67	996	353	114	8	14	4,561										

通信指令



※平成27年10月より、高機能消防指令センターの運用を開始。

指令センターの機能について

大規模災害時にも柔軟・迅速に対応する万全の体制で臨みます。
～大規模災害への対応～

■ 指令台(輻輳モード)

通常時4席で運用する指令台、指揮台は、災害規模に応じて最大9席で運用できます。

通報が集中する状況下においても的確かつ迅速に災害事案を処理できる受付体制を確立しています。



【通常運用時】

通常3画面(自動出動・地図・支援情報)のディスプレイを活用して、迅速かつ正確な指令管制業務を行います。

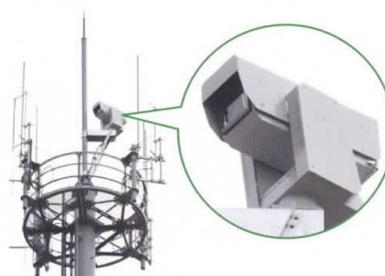
【輻輳時】

大地震や台風など大規模災害により通報が多発した場合、指令台を2席体制に切替え、運用を行います。

■ 高所監視カメラ装置

消防本部屋上に設置された高所監視カメラにより24時間管内を監視しています。

指令センター内の指令台や自動出動指定装置等と連動して災害現場などを捉え、状況を瞬時に把握します。



スムーズな現場対応をサポートする通信手段と情報収集を確保します。
～現場活動支援の強化～

■ 車両運用端末装置

緊急車両に搭載され、自車位置を管理装置に送信するとともに、災害地点の付近地図や指令内容を表示します。また他の車両位置情報や水利・道路障害、病院受入といった各種支援情報、対象物の警防図面など災害活動に必要な情報も表示することができます。



■ 出動車両運用管理装置

災害出動中や出向中の消防車・救急車の位置情報を、人工衛星の電波を使って測位し(GPS機能)、活動状況と共に指令センターへ伝送します。

災害現場に最も近く出動できる車両を選別、最短時間での現場到着をサポートします。



■ 災害現場映像伝送装置

デジタルビデオカメラで撮影した災害現場の映像や音声を指令センターや各署に送信。

災害現場と指令センター、災害対策室で情報共有を図ることで、迅速な災害対応をサポートします。



誰もが安心して暮らせるまちを目指します。 ～住民サービスの向上～

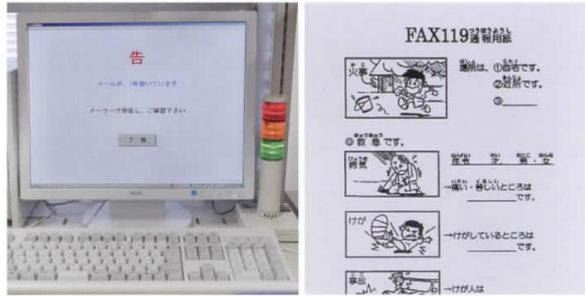
■統合型位置情報通知装置

通報者が動揺していたり、自分の居場所がわからないなど、正確な位置情報が得られない場合でも、本システムにより通報地点を素早く特定することができます。災害地点の確認がよりスムーズに行え、より迅速に現場への出動が行えます。



■メール119受信装置／FAX119受信装置

聴覚障がいや音声・言語機能障がいなどで音声通報が困難な方のために、携帯電話またはパソコンからのEメールやFAXによる119番通報を受信する装置です。



■消防救急デジタル無線システム

指令システムとの連携により、指令台での無線統制や事案に応じた呼び出しなど機能が向上。現場隊員へ、より迅速・正確に情報の伝達や共有が図れるようになりました。またデジタル化により第三者からの不要な傍受を遮断、現場活動に必要な情報をより安全に通信できるようになりました。

●広範囲な交信エリアを確保

小国山局、西北分署局、目屋分署局を増設することにより、広範囲な交信エリアを確保し、災害現場の隊員に必要な情報をより確実に伝達できるようになりました。



●通信セキュリティの向上

消防救急無線のデジタル化により、無線通信を暗号化。第三者による不要な傍受を遮り、患者や災害住所といった個人情報や重要情報をより安全な環境で通信できるようになりました。



車載型移動局無線装置

消防・救急の各車両に搭載され、指令センターと無線交信を行います。



携帯型移動局無線装置

消防隊員が災害現場で使用する無線機です。強度な防水性を備え、悪天候での災害時でも屋外で使用可能です。



可搬型移動局無線装置

主に災害現場（指揮本部）で使用する可搬型の無線装置です。平常時には、卓上型としても使用できます。



119番通報状況（月別）

（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

種別 月	合 計	火 災	救 急	救 助	警 戒	問 合 せ	訓 練	試 験	そ の 他
合 計	15,014 (5,282)	196 (116)	8,958 (3,345)	72 (54)	146 (83)	1,125 (628)	2,832 (207)	288 (26)	1,397 (823)
1 月	1,171 (369)	12 (3)	780 (244)	6 (4)	12 (8)	101 (51)	139 (8)	26 (0)	95 (51)
2 月	1,165 (384)	15 (10)	760 (245)	5 (2)	17 (11)	91 (44)	167 (13)	14 (0)	96 (59)
3 月	1,235 (377)	22 (14)	707 (251)	8 (6)	9 (7)	108 (53)	228 (12)	56 (2)	97 (32)
4 月	1,235 (441)	38 (27)	751 (263)	6 (4)	8 (6)	90 (59)	188 (11)	42 (1)	112 (70)
5 月	1,180 (432)	29 (22)	698 (273)	6 (5)	7 (3)	75 (45)	248 (24)	11 (0)	106 (60)
6 月	1,320 (486)	24 (17)	686 (298)	4 (2)	7 (4)	100 (71)	338 (12)	32 (3)	129 (79)
7 月	1,246 (478)	14 (2)	817 (341)	6 (4)	9 (3)	89 (43)	171 (18)	27 (5)	113 (62)
8 月	1,336 (562)	6 (3)	822 (327)	9 (9)	19 (8)	134 (77)	156 (22)	30 (6)	160 (110)
9 月	1,214 (418)	17 (3)	684 (272)	4 (3)	29 (17)	92 (50)	286 (21)	6 (0)	96 (52)
10 月	1,320 (409)	2 (0)	681 (251)	3 (3)	11 (8)	68 (37)	403 (21)	13 (1)	139 (88)
11 月	1,261 (458)	6 (6)	734 (290)	6 (6)	8 (2)	74 (40)	297 (28)	12 (3)	124 (83)
12 月	1,331 (468)	11 (9)	838 (290)	9 (6)	10 (6)	103 (58)	211 (17)	19 (5)	130 (77)

（ ）については、携帯電話による通報で内書きです。

「その他」とは、間違い、無応答、操作訓練などによる件数です。

119番通報状況（時間帯別）

（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

種別 時間	合 計	火 災	救 急	救 助	警 戒	問 合 せ	訓 練	試 験	そ の 他
合計	15,014	196	8,958	72	146	1,125	2,832	288	1,397
0～1	275	1	201	2	8	37	5	0	21
1～2	254	0	186	0	3	39	1	0	25
2～3	202	7	148	1	2	24	0	0	20
3～4	190	3	142	0	0	19	0	0	26
4～5	215	5	152	0	8	27	1	0	22
5～6	289	2	224	1	6	23	1	0	32
6～7	406	3	328	2	7	29	4	0	33
7～8	578	4	439	5	10	40	29	0	51
8～9	890	3	559	4	9	42	218	2	53
9～10	1,210	16	539	5	4	52	488	50	56
10～11	1,350	10	546	3	6	45	595	72	73
11～12	881	12	544	2	6	38	167	24	88
12～13	720	17	502	7	2	56	64	4	68
13～14	969	11	454	7	8	44	308	63	74
14～15	1,066	3	438	2	7	44	440	41	91
15～16	819	13	445	4	5	57	203	19	73
16～17	760	18	466	3	13	43	117	6	94
17～18	790	16	493	6	10	93	81	1	90
18～19	732	17	483	5	4	84	52	0	87
19～20	639	8	440	3	4	62	34	2	86
20～21	530	9	375	3	2	59	12	4	66
21～22	471	7	339	4	3	58	1	0	59
22～23	424	6	296	3	4	57	3	0	55
23～24	354	5	219	0	15	53	8	0	54

「その他」とは、間違い、無応答、操作訓練などによる件数です。

1 1 9 番通報件数の推移（5ヶ年間）

年	種類 通報件数	内 訳		
		固定電話	携帯電話	IP 電話
平成26年	15,114	7,678	4,080	3,356
平成27年	15,123	7,174	4,412	3,537
平成28年	14,356	6,215	4,518	3,623
平成29年	14,132	5,892	4,583	3,657
平成30年	15,014	5,860	5,282	3,872

医療機関紹介状況（科目別・月別）

（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

種別 月	合 計	内 科	外 科	小 児 科	眼 科	歯 科	耳 鼻 科	皮 膚 科	婦 人 科	精 神 科	泌 尿 器 科
合計	10,795	4,454	3,150	2,809	149	98	75	39	1	15	5
1月	1,144	537	294	278	16	5	10	0	1	2	1
2月	1,030	443	248	316	9	7	3	1	0	2	1
3月	762	327	184	236	8	5	0	2	0	0	0
4月	896	347	239	279	16	9	5	1	0	0	0
5月	1,022	458	274	256	10	15	5	2	0	1	1
6月	699	266	235	184	6	1	1	5	0	1	0
7月	950	367	311	237	12	5	11	4	0	3	0
8月	1,159	450	330	309	23	17	16	12	0	1	1
9月	836	310	285	208	14	7	7	5	0	0	0
10月	652	255	235	136	10	5	6	5	0	0	0
11月	734	302	240	168	11	5	4	1	0	3	0
12月	911	392	275	202	14	17	7	1	0	2	1

医療機関紹介状況（5ヶ年間）

年別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
件 数	16,656	15,388	13,803	10,879	10,795

火災

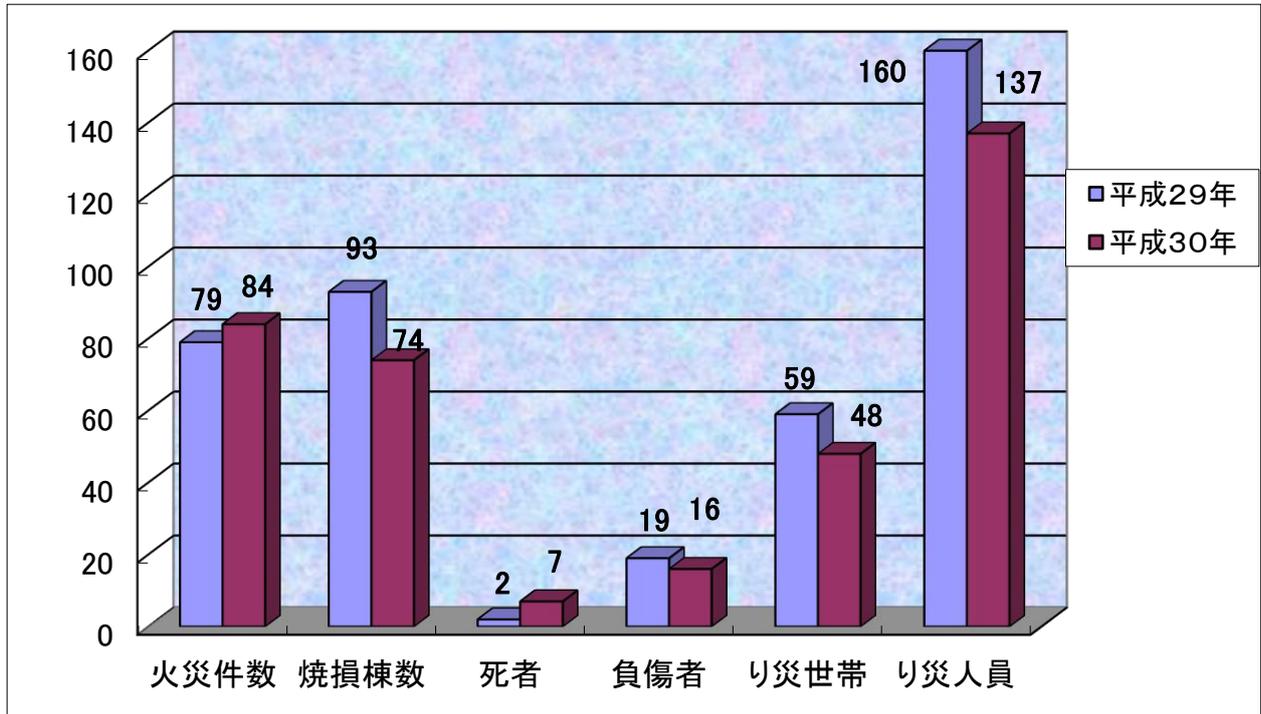


平成30年における火災概要

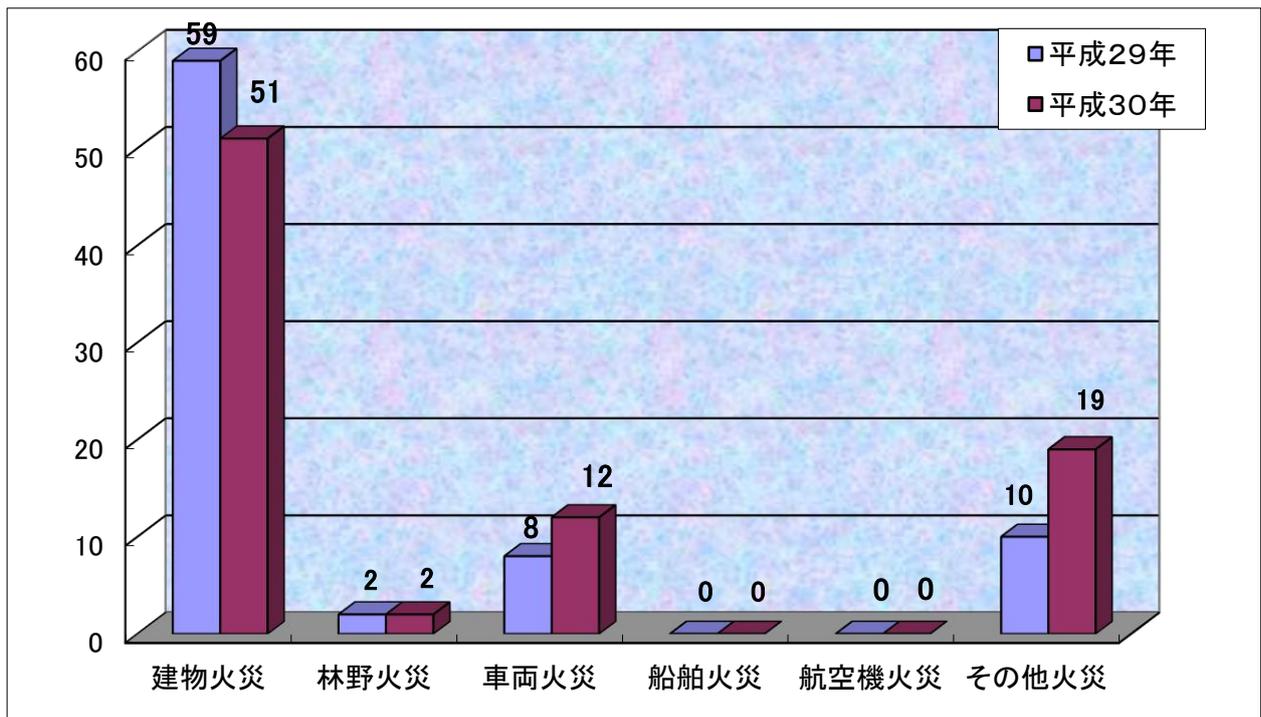
平成30年（1月～12月）における当事務組合管内の火災件数は84件で、前年に比べ5件増加した。火災種別ごとでは、建物火災51件（前年59件）、林野火災2件（前年2件）、車両火災12件（前年8件）、その他の火災19件（前年10件）となっている。死者は7人（前年2人）、負傷者16人（前年19人）となっている。

区 分	平成30年 (A)	平成29年 (B)	増減 (C) 「(A) - (B)」
火 災 件 数 (件)	84	79	5
建 物	51	59	△8
林 野	2	2	0
車 両	12	8	4
船 舶	0	0	0
航 空 機	0	0	0
そ の 他	19	10	9
焼 損 棟 数 (棟)	74	93	△19
全 焼	26	27	△1
半 焼	7	8	△1
部 分 焼	17	31	△14
ぼ や	24	27	△3
建物焼損床面積 (㎡)	3,875	4,284	△409
建物焼損表面積 (㎡)	316	802	△486
林野焼損面積 (a)	46	29	17
死 者 (人)	7	2	5
負 傷 者 (人)	16	19	△3
り 災 世 帯 数 (世帯)	48	59	△11
全 損	20	17	3
半 損	3	8	△5
小 損	25	34	△9
り 災 人 員 (人)	137	160	△23
損 害 額 (千円)	221,537	218,657	2,880
建 物	216,108	208,768	7,340
林 野	859	237	622
車 両	4,452	7,050	△2,598
船 舶	0	0	0
航 空 機	0	0	0
そ の 他	118	2,602	△2,484

火災の概況



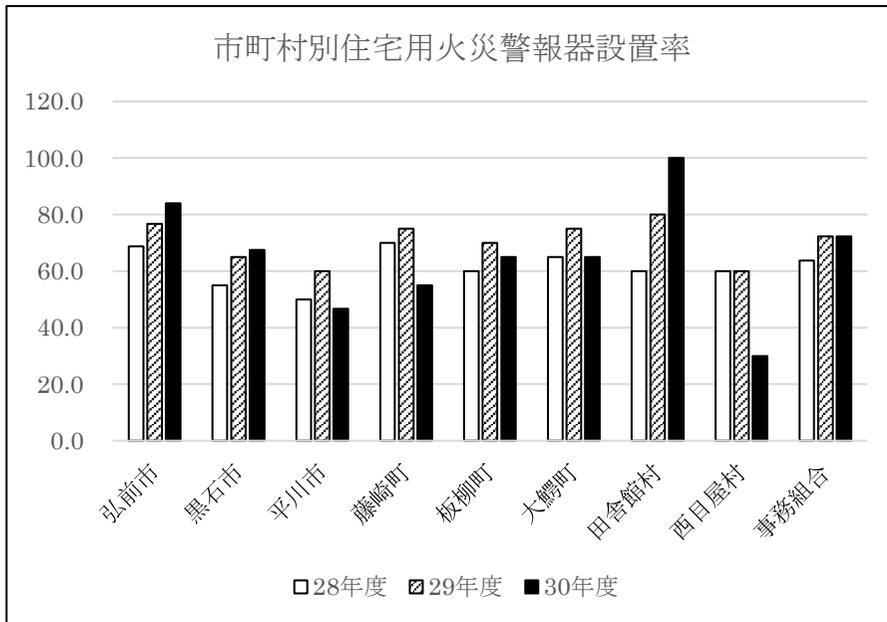
火災の種別



住宅用火災警報器の普及

構成市町村における、住宅用火災警報器の設置調査の結果、設置率は72.3%となっています。

年度		構成市町村								計
		弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村	
30	調査世帯数	150	40	30	20	20	20	10	10	300
	設置世帯数	126	27	14	11	13	13	10	3	217
	設置率	84.0%	67.5%	46.7	55.0%	65.0%	65.0%	100%	30%	72.3%
29	調査世帯数	150	40	30	20	20	20	10	10	300
	設置世帯数	115	26	18	15	14	15	8	6	217
	設置率	76.7%	65.0%	60.0%	75.0%	70.0%	75.0%	80.0%	60.0%	72.3%
28	調査世帯数	150	40	30	20	20	20	10	10	300
	設置世帯数	103	22	15	14	12	13	6	6	191
	設置率	68.7%	55.0%	50.0%	70.0%	60.0%	65.0%	60.0%	60.0%	63.7%



奏功事例

- 1 住人が1階台所のガステーブルに鍋を弱火でかけたまま就寝、2階寝室で就寝中の住人が警報器の鳴動音で目覚め、鍋の空焚きに気づき火災に至らなかった。
- 2 住人が電気ストーブを点け別室にいたところ、警報器の鳴動音が聞こえ、電気ストーブから火が出ているのを発見、水道水で消火した。
- 3 住人が自宅居間にいたところ、警報器の鳴動音が聞こえたので洗面脱衣室へいくとボイラーから煙が出ていたので、シャワーの水で消火した。

市町村別火災件数等の推移（5ヶ年間）

区分 市町村別	年 別	火災件数					焼損棟数					り災状況					死傷者			焼損面積		損害額（千円）				
		計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 の火災	計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	計	世帯数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建 物 火災	林 野 火災	車 両 火災	その 他 の 火 災	
													全 損	半 損	小 損											
弘前市	26年	45	26	1	6	12	48	13	5	18	12	27	8	2	17	74	1	2(1)	2,341	330	113,723	105,404	6,354	1,606	359	
	27年	56	29	2	6	19	42	17	3	10	12	21	8		13	63	3(1)	6	2,729	322	155,490	14,737	3,518	2,611	624	
	28年	48	33		5	10	67	22	2	24	19	49	22	1	26	117	3(1)	10	3,331		176,036	174,865		1,035	136	
	29年	41	33	1	5	2	56	17	6	17	16	37	10	6	21	98	1	11(1)	3,309	11	144,045	137,872	208	5,014	951	
	30年	41	28	1	3	9	42	14	3	7	18	25	8	1	16	83	4(1)	9(1)	1,910	19	147,776	147,013	414	346	3	
黒石市	26年	18	10	3	2	3	17	5	1	7	4	10	4		6	26			759	317	47,567	26,584	18,678	2,181	124	
	27年	21	9	1	1	10	12	7		3	2	5	5			16	4	11	2,672	10	158,406	158,255	58		93	
	28年	13	10	1		2	11	2	1	1	7	6	1		5	22		1	210	165	5,769	5,284	485			
	29年	16	9	1	2	4	14	3		4	7	6	2		4	15	1(1)		561	18	34,086	32,092	29	1,760	205	
	30年	12	6		2	4	13	5	1	7		13	7		6	26	3(1)	3	960		22,035	21,772		151	112	
平川市	26年	23	10	1	1	11	19	7	6	3	3	9	4		5	34		5	2,600	10	92,329	91,256	291	79	702	
	27年	19	12		3	4	21	3	3	6	9	12	4		8	36	2(1)	6	1,144		64,877	63,051		1,619	207	
	28年	10	7		1	2	13	3	1	3	6	5	2		3	11		1	596		9,282	9,218			64	
	29年	13	10		1	2	12	4	1	5	2	8	3	1	4	21		2	671		26,468	25,808		276	384	
	30年	6	5		1		6	4			2	2	2			8		1	376		9,416	9,320		96		
藤崎町	26年	8	5		1	2	5	2		1	2	4			4	9			136		11,036	10,336		260	44	
	27年	9	7		1	1	19	7	1	4	7	8	3		5	25	2	2	1,580		73,436	72,974		450	12	
	28年	1	1				3	1		1	1	1	1			6	1		248		6,214	6,214				
	29年																									
	30年	8	5		2	1	6	1		1	4	3	1		2	6		1	584		20,352	18,152		2,200		

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

区分 市町村別	年 別	火災件数					焼損棟数					り災状況			死傷者			焼損面積		損害額 (千円)						
		計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	計	世帯数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災	
													全 損	半 損	小 損											
板柳町	26年	7	4			3	7	2	1	2	2	3			3	14			131		1,784	1,783			1	
	27年	4	3		1		3	1		1	1	1	1			2		1	422		17,998	17,853		145		
	28年	5	2		3		2	1		1								1	177		15,933	13,535		2,398		
	29年	2	2				4	1	1	2		3	1	1	1	8		2	257		5,321	4,274			1,047	
	30年	7	3		2	2	3	1	1	1		2		2		7		1	194		8,282	7,921		359	2	
大鰐町	26年	5	3	2			20	11	3		6	8	5		3	18	1		1,104	1,650	62,442	32,211	30,231			
	27年	4	2			2	15	6		2	7	7	2		5	18		4	1,970		32,323	32,323				
	28年	1				1											1	1								
	29年	3	3				5	2		2	1	3	1		2	12		3	260		6,042	6,038			4	
	30年	5	2	1		2	2	1		1		1			1	3			9	27	480	34	445		1	
田舎館村	26年	13	3			10	8	3		2	3	3	1		2	8			229		5,329	4,568			761	
	27年	18	5			13	6	1	2	2	1	4	2		2	18	1		377		18,520	18,445			75	
	28年	5	2			3	2			1	1	2		2		7		2	17		2,720	2,698			22	
	29年	3	1			2	1				1	1			1	2			1		281	270			11	
	30年	4	2		1	1	2		2			2	2		4		1		158		12,596	11,896		700		
西目屋村	26年																									
	27年	1		1																6		2,955		2,955		
	28年																									
	29年	1	1				1			1		1			1	4		1	27		2,414	2,414				
	30年	1			1																600				600	

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

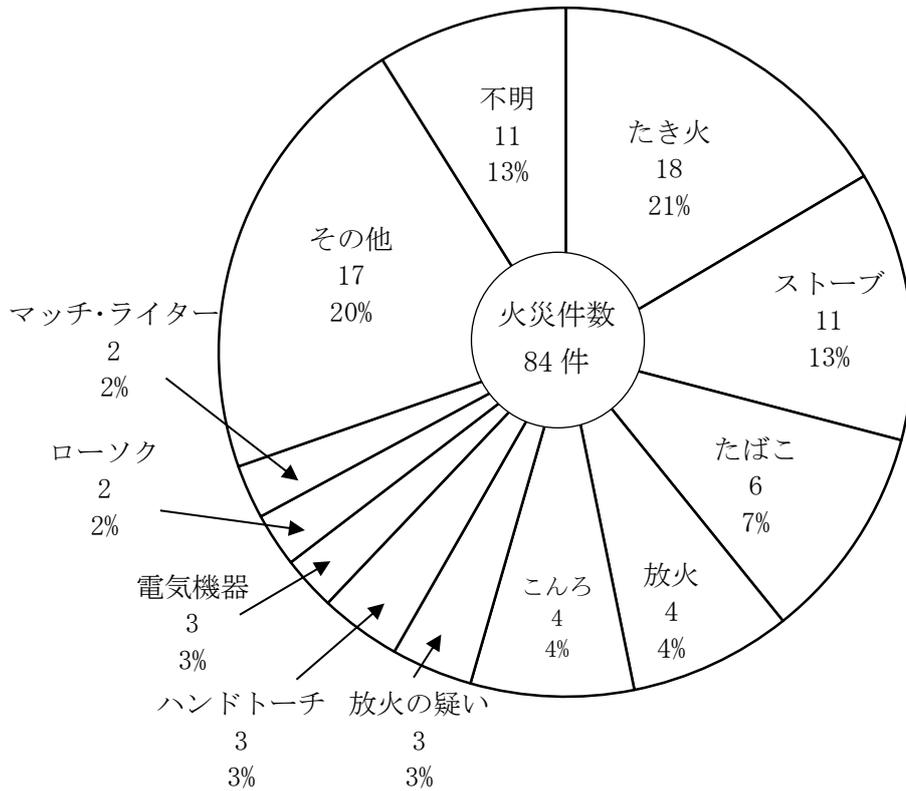
管内火災件数等の推移（5ヶ年間）

区分 年別	火災件数					焼損棟数					り災状況			死傷者		焼損面積		損害額（千円）						
	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	世帯数			人	死	負傷者	建物 (㎡)	林野 (a)	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災
												全損	半損	小損										
26年	119	61	7	10	41	124	43	16	33	32	64	22	2	40	183	2	13 (1)	7,360	2,307	334,209	271,790	55,584	4,322	2,513
27年	132	67	4	12	49	118	42	9	28	39	58	25		33	178	12 (2)	30	10,894	338	524,005	511,638	6,531	4,825	1,011
28年	83	55	1	9	18	98	29	4	31	34	63	26	3	34	163	5 (1)	16	4,579	165	215,954	211,814	485	3,433	222
29年	79	59	2	8	10	93	27	8	31	27	59	17	8	34	160	2 (1)	19 (1)	5,086	29	218,657	208,768	237	7,050	2,602
30年	84	51	2	12	19	74	26	7	17	24	48	20	3	25	137	7 (2)	16 (1)	4,191	46	221,537	216,108	859	4,452	118

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

出火原因の状況

火災件数84件の出火原因は、たき火によるものが18件と最も多く、次いで、ストーブ、たばこ、放火及びこんろの順となっている。



平成30年	
火災件数	84
原因別	
たき火	18
ストーブ	11
たばこ	6
放火	4
こんろ	4
放火の疑い	3
ハンドトーチ	3
電気機器	3
ローソク	2
マッチ・ライター	2
その他	17
不明	11

平成29年	
火災件数	79
原因別	
たき火	13
ストーブ	10
電気配線	8
放火	6
放火の疑い	6
こんろ	3
電気機器	3
ボイラー	2
取灰	2
たばこ	2
その他	17
不明	7

平成28年	
火災件数	83
原因別	
たき火	10
ストーブ	9
電気配線	8
たばこ	6
煙突・煙道	4
放火	2
灯火	2
こんろ	2
電気機器	2
マッチ・ライター	2
その他	25
不明	11

平成27年	
火災件数	132
原因別	
たき火	28
放火の疑い	11
電気配線	9
たばこ	7
放火	5
こんろ	4
排気管	4
電気機器	3
灯火	3
ストーブ	2
その他	26
不明	30

月別発生状況

火災件数は84件で、月ごとにみると4月が21件と最も多く、7月、9月及び10月が2件と最も少なくなっている。

区分 月別	火 災 件 数	火 災 の 種 別				焼 損 棟 数	建 物 焼 損 面 積	林 野 焼 損 面 積	り 災 世 帯 数	り 災 人 員	死 者 数	負 傷 者 数	損 害 額
		建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災								
合計	84 件	51 件	2 件	12 件	19 件	74 棟	4,191 m ²	46 a	48 世帯	137 人	7 人	16 人	221,537 千円
1月	8	8				9	521		7	24		3	66,639
2月	7	5		2		7	957		5	14		2	74,372
3月	8	7			1	8	734		7	18		3	30,194
4月	21	7	1	1	12	16	501	27	8	33	1	1	9,940
5月	11	6	1	3	1	13	745	19	12	24	3		15,340
6月	6	2		2	2	4	298		4	12		2	8,042
7月	2	2				2	25		1	3			9
8月	3	3				3	50		1	2		1	4,922
9月	2	1		1		1	95		1	1	1		3,474
10月	2			1	1						1		20
11月	7	4		2	1	4	169		1	5		3	7,387
12月	7	6			1	7	96		1	1	1	1	1,198

市町村別、月別の火災件数

火災件数84件中、弘前市が41件で48.8%を占め、次いで、黒石市が12件で14.3%、藤崎町が8件で9.5%となっている。

市町村別 月別	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計 (件)	84	41	12	6	8	7	5	4	1
1月	8	6		1	1				
2月	7	4		1	2				
3月	8	2	2		2	1		1	
4月	21	9	5			3	3	1	
5月	11	6	1	2	1		1		
6月	6	3	1			2			
7月	2			1			1		
8月	3	2			1				
9月	2		1					1	
10月	2	1	1						
11月	7	4			1			1	1
12月	7	4	1	1		1			

市町村別、曜日別の火災件数

火災件数84件中、土曜日の発生が21件と最も多く、水曜日の発生件数が5件と少なくなっている。

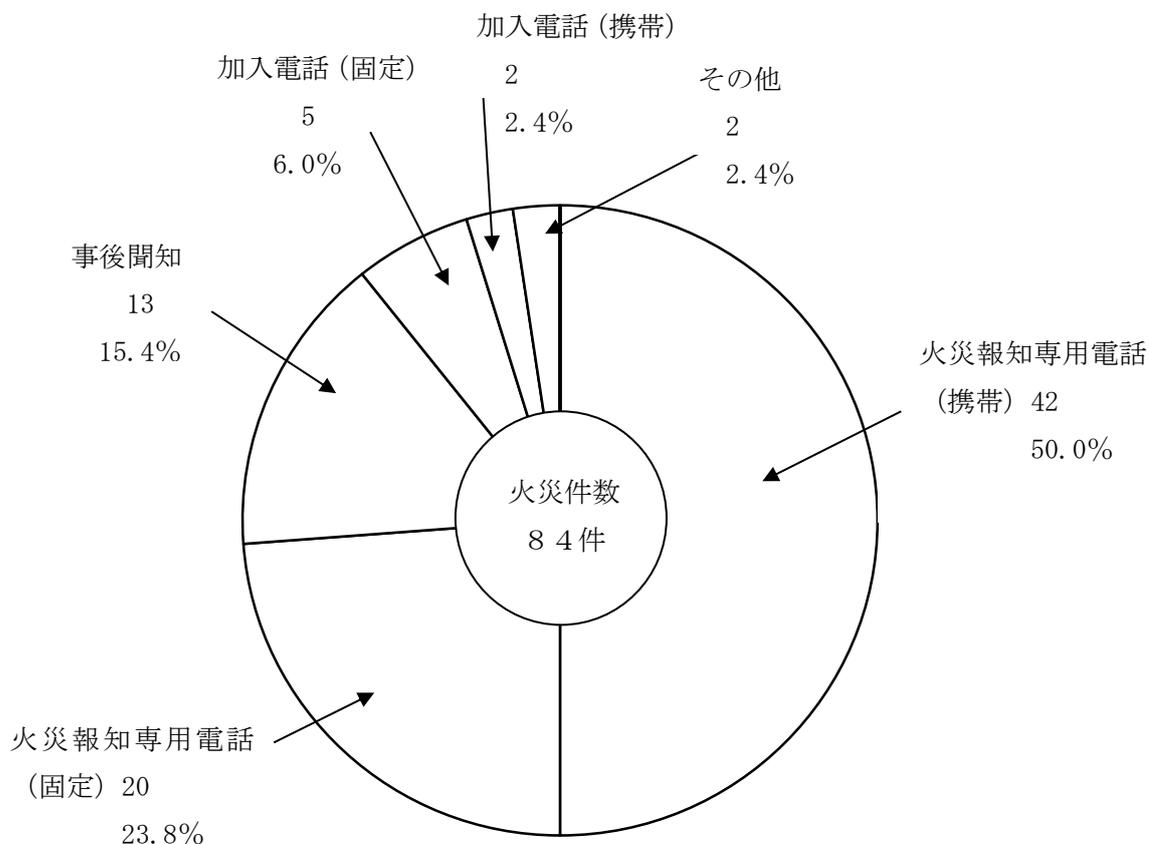
市町村別 月別	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計 (件)	84	41	12	6	8	7	5	4	1
日	10	6	2			1		1	
月	16	7	3	4		1	1		
火	12	6	2		2		1		1
水	5	3			1			1	
木	12	6	2		3			1	
金	8	4	1	1	2				
土	21	9	2	1		5	3	1	
不明									

市町村別、時間帯別の火災件数

時間帯別の火災発生状況は、16時から18時の間が最も多くなっている。

市町村別 時間帯	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計 (件)	84	41	12	6	8	7	5	4	1
0～2									
2～4	5	1	1	1	2				
4～6	3	1		1	1				
6～8	3	3							
8～10	13	6	2	1	2	1			1
10～12	12	5	3		1		2	1	
12～14	8	3	1			2	1	1	
14～16	6	4		1			1		
16～18	18	8	3	1	1	4		1	
18～20	2	1					1		
20～22	6	5		1					
22～24	7	3	2		1			1	
不明	1	1							

覚知別火災件数



覚知別 市町村別	火災件数		火災報知専用電話		加入電話		駆付け	事後聞知	その他
	件	(IP)	固 定	携 帯	固 定	携 帯			
合 計 (件)	84	6	14	6	42	5	2	13	2
弘 前 市	41	3	15	3	13	1	2	9	1
黒 石 市	12	1	1	1	9	1		1	
平 川 市	6	1	1	1	4	1			
藤 崎 町	8		1		5	1		1	
板 柳 町	7		1		3	1		2	
大 鱈 町	5				5				
田 舎 館 村	4	1	1	1	2				1
西 目 屋 村	1				1				

※ IP電話とは、インターネット回線を利用した電話のこと。

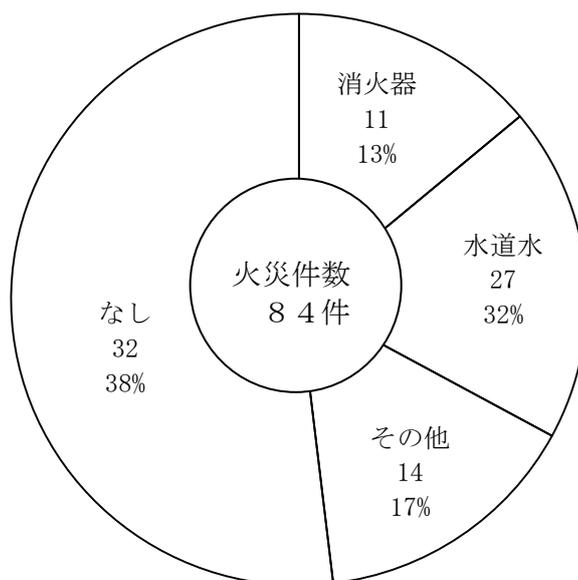
火災種別ごとの初期消火状況

火災件数84件中、初期消火が実施された火災は52件（建物火災34件、林野火災1件、車両火災7件、その他の火災10件）で、使用された器具等は消火器が11件（建物火災5件、車両火災2件、その他の火災4件）、水道水が27件（建物火災22件、車両火災2件、その他の火災3件）となっている。

初期消火が実施された火災で、消火に成功した件数は26件（建物火災18件、車両火災2件、その他の火災6件）である。

区分 火災種別	火災 件数 件	初期消火実施件数					初期消火成功件数					初期消火なし	
		計 件	内 訳			実施率	計 件	内 訳			成功率	計 件	未実施率
			消火器 件	水道水 件	その他 件			消火器 件	水道水 件	その他 件			
合 計	84	52	11	27	14	61.9%	26	7	15	4	31.0%	32	38.1%
建物火災	51	34	5	22	7	66.7%	18	3	13	2	35.3%	17	33.3%
林野火災	2	1			1	50.0%					0.0%	1	50.0%
車両火災	12	7	2	2	3	58.3%	2	1		1	16.7%	5	41.7%
その他の火災	19	10	4	3	3	52.6%	6	3	2	1	31.6%	9	47.4%

初期消火の状況



救 急



救急業務の概況

平成30年中の組合管内の出動件数は、10,841件、搬送人員は9,841人で前年に比べ、出動件数が494件(4.8%)、搬送人員が410人(4.3%)とそれぞれ増加している。

このことは、管内で一日平均29.7件、約49.4分に1回の割合で救急隊が出動し、管内人口の約26人に1人が救急隊によって医療機関等へ搬送されたことを示している。

救急出動件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、出動件数では第1位が急病によるもので6,807件、第2位が転院搬送1,555件、第3位が一般負傷1,458件、第4位が交通事故623件となっている。また、搬送人員では第1位が急病6,129人、第2位が転院搬送1,553人、第3位が一般負傷1,333人、第4位が交通事故615人となっている。

搬送された9,841人の傷病程度の内訳は、死亡264人(2.7%)、重症1,978人(20.1%)、中等症4,344人(44.1%)、軽症3,251人(33.0%)となっている。

医療機関等へ搬送された9,841人のうち、98.2%にあたる9,664人が組合の管轄内の医療機関へ、残りの1.8%にあたる177人が管轄外の医療機関へ搬送されている。

署別救急出動件数の比較（対前年比）

署別	件数 年別	件 数		増 減
		平成30年	平成29年	
合 計		10,841	10,347	494
弘 前 消 防 署		1,712	1,646	66
藤 代 分 署		1,070	1,026	44
西 北 分 署		264	261	3
西 分 署		591	635	△ 44
目 屋 分 署		104	114	△ 10
東 消 防 署		1,488	1,496	△ 8
枡 形 分 署		1,659	1,395	264
南 分 署		540	411	129
北 分 署		416	473	△ 57
黒 石 消 防 署		1,045	945	100
田 舎 館 分 署		386	457	△ 71
山 形 分 署		159	145	14
平 川 消 防 署		711	690	21
碓 ヶ 関 分 署		145	132	13
板 柳 消 防 署		551	521	30

救急出動件数の推移（5ヶ年間）



年 別	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
出 件 動 数	10, 175	10, 047	10, 076	10, 347	10, 841
対 前 年 増 減	120	△ 128	29	271	494

市町村別救急出動件数の比較（対前年比）

市町村別 年別	合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰐 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村	高 速 道 路	管 外
平成 30 年	10, 841	6, 976	1, 237	1, 023	491	466	348	230	62	7	1
平成 29 年	10, 347	6, 715	1, 157	929	435	457	326	257	58	10	3
増 減	494	261	80	94	56	9	22	△ 27	4	△ 3	△ 2

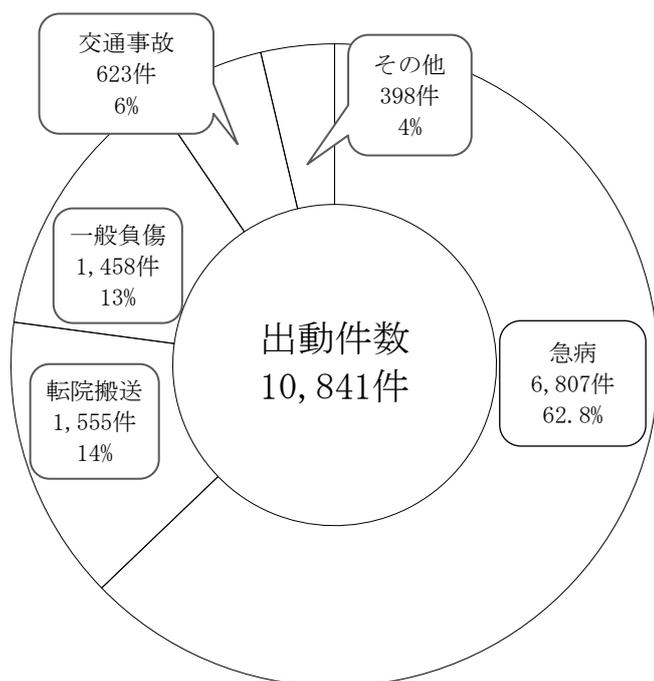
市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員

市町村別	区分	合計	事故種別										その他		
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他
合計	出動件数	10,841	68		1	623	74	54	1,458	26	82	6,807	1,555	17	76
	搬送人員	9,841	14			615	72	55	1,333	20	49	6,129	1,553		1
弘前市	出動件数	6,976	33		1	370	45	35	907	15	60	4,215	1,232	10	53
	搬送人員	6,301	6			363	44	36	821	14	34	3,751	1,232		
黒石市	出動件数	1,237	11			65	6	4	167	3	9	832	133	1	6
	搬送人員	1,127	3			68	5	4	151	2	8	755	131		
平川市	出動件数	1,023	6			60	10	4	135	3	5	754	33	4	9
	搬送人員	940	1			61	10	4	126	2	2	701	33		
藤崎町	出動件数	491	8			55	2	1	74	2	4	290	51	1	3
	搬送人員	454	2			56	2	1	67	1	4	270	51		
板柳町	出動件数	466	2			29	2	1	74	1	2	288	65		2
	搬送人員	418	1			25	2	1	70		1	253	65		
大鰐町	出動件数	348	3			14	3	8	64	2		228	25		1
	搬送人員	326				14	3	8	62	1		213	25		
田舎館村	出動件数	230	5			22	5	1	26			154	16		1
	搬送人員	212	1			22	5	1	25			142	16		
西目屋村	出動件数	62				5	1		11		2	42		1	
	搬送人員	56				4	1		11			40			
高速道路	出動件数	7				3						4			
	搬送人員	6				2						4			
管外	出動件数	1													1
	搬送人員	1													1

署別、事故種別救急業務実施状況

署別	区分	合計	事故種別											その他		
			火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	転院搬送	医師搬送	その他	
			災	然	難	通	働	動	般	害	損	病				
合計	出動件数	10,841	68		1	623	74	54	1,458	26	82	6,807	1,555	17	76	
	搬送人員	9,841	14			615	72	55	1,333	20	49	6,129	1,553		1	
弘前消防署	出動件数	1,712	7			94	12	6	222	5	11	979	345	14	17	
	搬送人員	1,511	1			80	12	6	195	4	5	863	344		1	
藤代分署	出動件数	1,070	8			55	10	3	160	2	11	686	123		12	
	搬送人員	973	1			55	9	3	148	2	7	625	123			
西北分署	出動件数	264				21			42		3	191	7			
	搬送人員	233				17			39		1	169	7			
西分署	出動件数	591	1			35	3	3	97		7	400	43		2	
	搬送人員	523				32	3	3	90		3	349	43			
目屋分署	出動件数	104	1			5	2		23		1	71			1	
	搬送人員	97				4	2		23			68				
東消防署	出動件数	1,488	13			82	10	12	173	6	12	783	387		10	
	搬送人員	1,385	3			78	10	13	161	5	6	722	387			
桥形分署	出動件数	1,659	11			78	6	11	186	1	13	1,037	302	1	13	
	搬送人員	1,495	2			88	6	11	161	1	9	914	303			
南分署	出動件数	416	1			22	4	7	75	3	4	255	45			
	搬送人員	389				23	4	7	72	3	2	233	45			
北分署	出動件数	540	5			51	4	1	80	2	4	328	61		4	
	搬送人員	502	2			52	4	1	74	1	4	303	61			
黒石消防署	出動件数	1,045	16			62	6	3	123	2	5	707	111	1	9	
	搬送人員	936	4			62	5	3	112	2	5	634	109			
田舎館分署	出動件数	386	1			30	5	2	47	1		261	39			
	搬送人員	359				33	5	2	41			239	39			
山形分署	出動件数	159				13	1		29		3	110	2		1	
	搬送人員	154				16	1		28		2	105	2			
平川消防署	出動件数	711	1			38	8	5	98	3	4	526	22	1	5	
	搬送人員	663	1			41	8	5	92	2	3	489	22			
碓ヶ関分署	出動件数	145				4	1		21		1	106	10		2	
	搬送人員	136				4	1		20			101	10			
板柳消防署	出動件数	551	3		1	33	2	1	82	1	3	367	58			
	搬送人員	485				30	2	1	77		2	315	58			

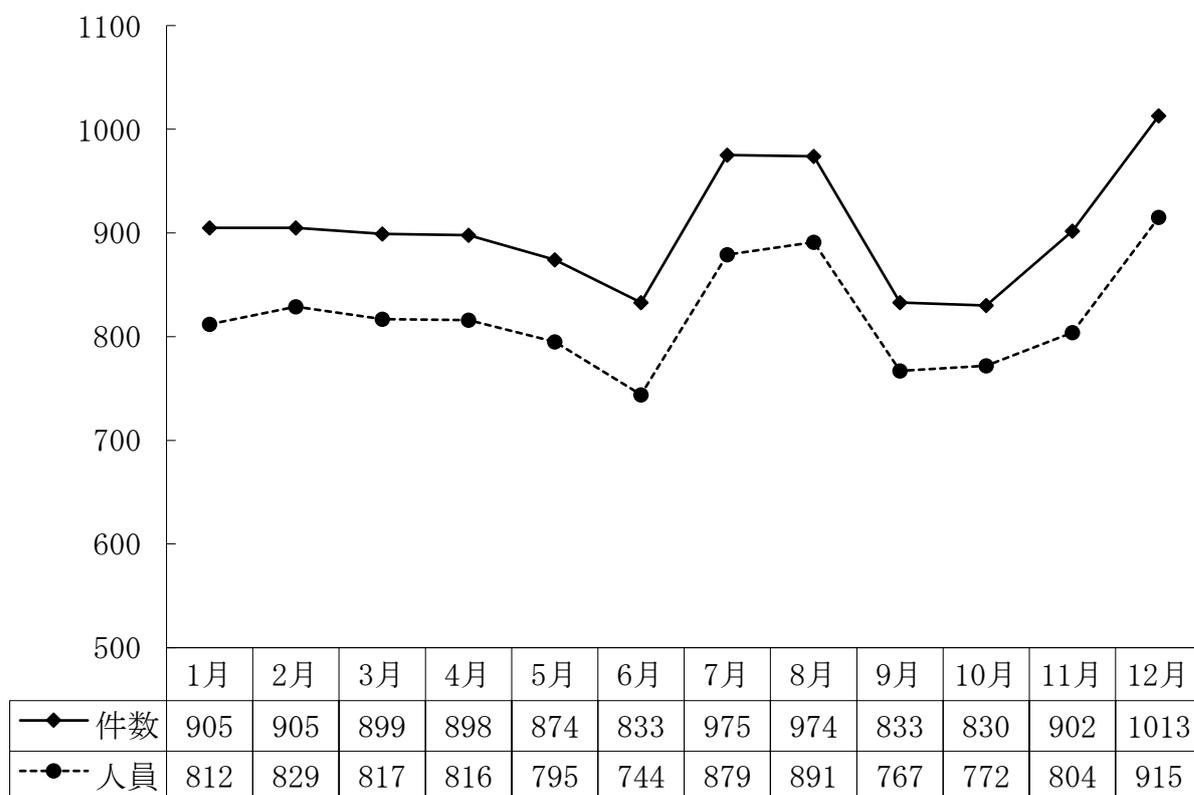
事故種別救急出動件数



その他 398 件の内訳

- | | |
|--------|------|
| 1 自損行為 | 82 件 |
| 2 労働災害 | 74 件 |
| 3 火災 | 68 件 |
| 4 運動競技 | 54 件 |
| 5 加害 | 26 件 |
| 6 医師搬送 | 17 件 |
| 7 その他 | 76 件 |

月別救急出動件数及び搬送人員



事故種別、覚知方法別出動件数

事故種別 覚知別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	10,841	68		1	623	74	54	1,458	26	82	6,807	1,648
自己覚知	12	2			3	1						6
専用電話	9,047	57		1	452	69	50	1,356	10	53	6,485	514
加入電話	1,663	9			160	3	4	81	15	26	244	1,121
駆け付け	99				5	1		19		2	70	2
警察電話	8							1	1	1	5	
その他	12				3			1			3	5

現場到着所要時間別出動件数

現場到着所要時間 事故種別	合計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均所要時間 (分)
合計	10,841	241	1,591	7,000	1,860	149	7.3
急病	6,807	108	922	4,551	1,172	54	7.8
交通	623	11	79	349	143	41	9.5
一般負傷	1,458	25	204	915	287	27	8.1
その他	1,953	97	386	1,185	258	27	7.0

収容所要時間別、事故種別搬送人員

収容所要時間 事故種別	合計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均所要時間 (分)
合計	9,841	5	280	2,628	6,423	498	7	36.8
急病	6,129	1	93	1,470	4,276	282	7	37.4
交通	615		7	130	422	56		40.0
一般負傷	1,333		14	282	950	87		38.9
その他	1,764	4	166	746	775	73		31.4

事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員

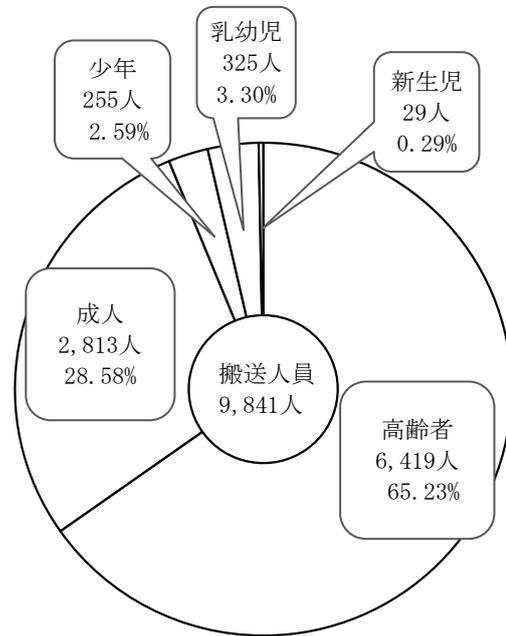
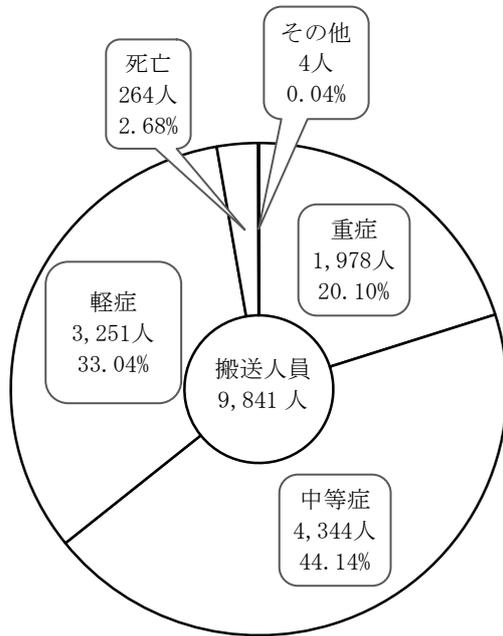
年齢区分	事故種別 傷病程度	事故種別											
		合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合 計	死 亡	264				5	1		18		9	227	4
	重 症	1,978	2			41	14	2	245	1	5	1,031	637
	中 等 症	4,344	5			141	30	20	509	6	22	2,776	835
	軽 症	3,251	7			428	27	33	561	13	13	2,092	77
	そ の 他	4										3	1
	計	9,841	14			615	72	55	1,333	20	49	6,129	1,554
新 生 児	死 亡												
	重 症	3										2	1
	中 等 症	19										1	18
	軽 症	6				1			1			3	1
	そ の 他	1										1	
	計	29				1			1			7	20
乳 幼 児	死 亡	1										1	
	重 症	7				1							6
	中 等 症	111				2			2			85	22
	軽 症	206	1			18			32	1		150	4
	そ の 他												
	計	325	1			21			34	1		236	32
少 年	死 亡	1									1		
	重 症	11				1						2	8
	中 等 症	82				7		11	10		3	32	19
	軽 症	161				43		21	20		1	76	
	そ の 他												
	計	255				51		32	30		5	110	27
成 人	死 亡	38				1	1		1		4	31	
	重 症	423				21	13	2	37	1	4	176	169
	中 等 症	1,068	3			68	20	8	91	3	16	624	235
	軽 症	1,282	5			245	22	11	173	10	12	775	29
	そ の 他	2										2	
	計	2,813	8			335	56	21	302	14	36	1,608	433
高 齢 者	死 亡	224				4			17		4	195	4
	重 症	1,534	2			18	1		208		1	851	453
	中 等 症	3,064	2			64	10	1	406	3	3	2,034	541
	軽 症	1,596	1			121	5	1	335	2		1,088	43
	そ の 他	1											1
	計	6,419	5			207	16	2	966	5	8	4,168	1,042

※○新生児・・・生後 28 日未満
 ○乳幼児・・・生後 28 日以上満 7 歳未満
 ○少年・・・満 7 歳以上満 18 歳未満
 ○成人・・・満 18 歳以上満 65 歳未満
 ○高齢者・・・満 65 歳以上

※○死 亡・・・初診時において死亡が確認されたもの
 ○重 症・・・3 週間以上の入院加療を必要とするもの
 ○中等症・・・入院を要するもので重症に至らないもの
 ○軽 症・・・入院加療を必要としないもの
 ○その他・・・医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの
 (傷病程度は、初診時における医師の判断に基づく)

傷病程度別搬送人員

年齢区分別搬送人員



※○死 亡…初診時において死亡が確認されたもの
 ○重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
 ○中等症…入院を要するもので重症に至らないもの
 ○軽 症…入院加療を必要としないもの
 ○その他…医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの
 (傷病程度は、初診時における医師の診断に基づく)

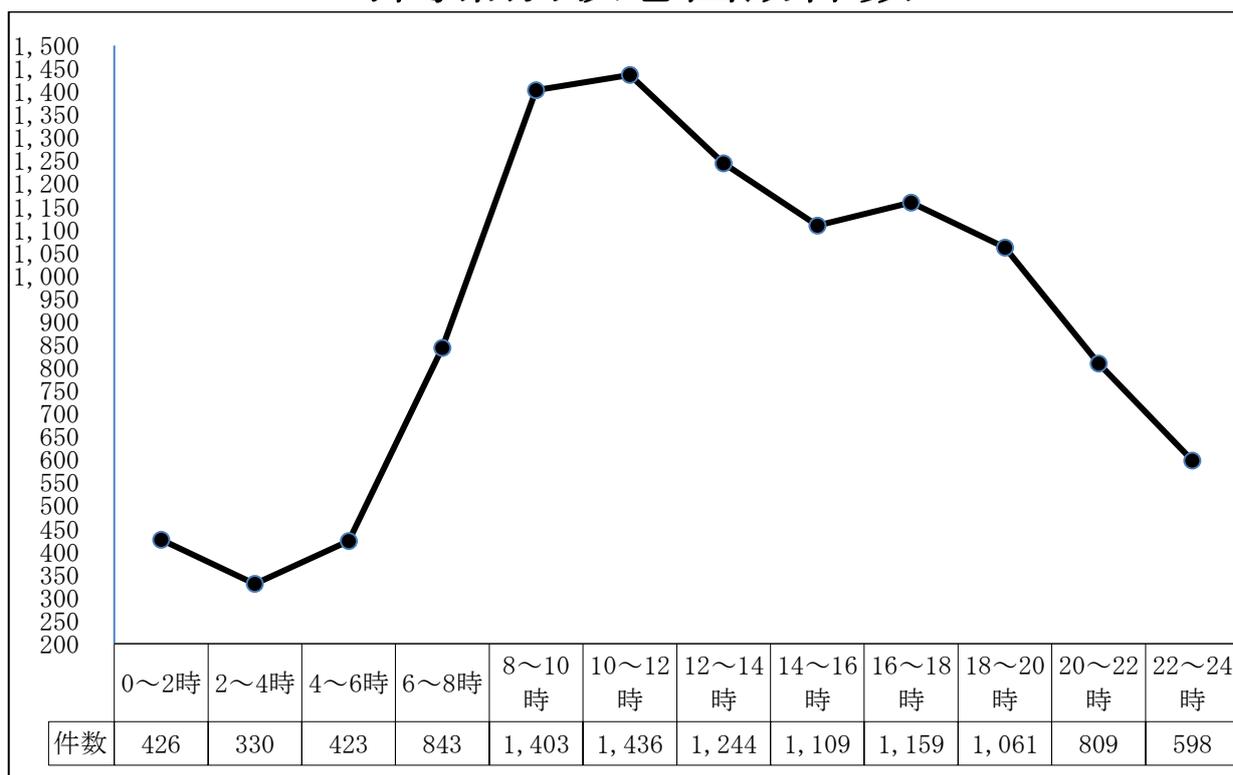
※○新生児…生後28日未満
 ○乳幼児…生後28日以上満7歳未満
 ○少 年…満7歳以上満18歳未満
 ○成 人…満18歳以上満65歳未満
 ○高齢者…満65歳以上

発生場所別搬送人員

発生場所 事故種別	発生場所					
	合 計	住 宅	公 衆 出 入 場 所	仕 事 場	道 路	そ の 他
合 計	9,841	5,110	3,414	228	926	163
急 病	6,129	4,253	1,504	130	186	56
交 通	615	6	21		576	12
一 般 負 傷	1,333	778	279	30	156	90
そ の 他	1,764	73	1,610	68	8	5

※ 住 宅…一般住宅及び高層住宅等で住居として使用している場所
 公衆出入場所…多数の人が集まる場所
 仕 事 場…工場、作業所、各種事業所等の仕事をしている場所
 道 路…一般道路、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋等
 そ の 他…公園、広場、空地等及び発生場所不明

時間帯別救急出動件数



応急手当の普及啓発活動の状況

平成30年中における地域住民を対象とした応急手当の方法等についての講習会は320回で、受講人員は、8,884名となっている。

(普通救命講習183回、5,738名が受講、上級救命講習12回、261名が受講)

また、昭和57年から、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む一週間を「救急医療週間」と定め、全国的にこの趣旨に沿った行事が行われている。

講習区分	上級救命講習	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅲ	救命入門コース	その他の講習
実施回数	12回	165回	18回	106回	19回
受講人数	261名	5,464名	274名	2,319名	566名

津軽圏域救急告示医療機関一覧表

(平成31年4月1日現在)

医療機関名	所在地	電話
○弘前大学医学部附属病院	弘前市大字 本町53番地	0172-33-5111
○独立行政法人国立病院機構弘前病院	弘前市大字 富野町1番地	0172-32-4311
○弘前市立病院	弘前市大字 大町三丁目8番地1	0172-34-3211
○津軽保健生活協同組合 健生病院	弘前市大字 扇町二丁目2番地2	0172-55-7717
○医療法人元秀会 弘前小野病院	弘前市大字 和泉二丁目19番地1	0172-27-1431
財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	弘前市大字 扇町一丁目2番地1	0172-28-8220
医療法人弘愛会 弘愛会病院	弘前市大字 宮川三丁目1番地4	0172-33-2871
医療法人北桜会 弘前メディカルセンター	弘前市大字 大町二丁目2番地9	0172-35-1511
一般財団法人医療と育成のための研究会 清明会 鳴海病院	弘前市大字 品川町19番地	0172-32-5211
一般財団法人医療と育成のための研究会 清明会 弘前中央病院	弘前市大字 吉野町3番地1	0172-36-7111
国民健康保険 黒石病院	黒石市北美町一丁目70番地	0172-52-2121
国民健康保険 板柳中央病院	北津軽郡板柳町 大字灰沼字岩井74番地2	0172-73-3231
医療法人ときわ会 ときわ会病院	南津軽郡藤崎町 大字榊字亀田2番地1	0172-65-3771
町立大鰐病院	南津軽郡大鰐町 大字蔵館字川原田40番地4	0172-48-2211

※ ○は、第二次輪番制参加病院等協議会参加病院を示す。

救急医療体制は、初期救急、二次救急、三次救急で構築されています。

初期救急医療は、入院治療の必要がなく外来診療を行う救急医療で弘前市急患診療所や休日在宅医が担っています。

入院救急医療とは、県が認定した救急医療機関が担っており、その中で、上記○印第二次輪番制参加病院等協議会参加病院である5病院が、休日・夜間において入院・手術を必要とする患者の内科・外科診療を毎月当番制で対応しております。また、入院救急医療で対応できない重篤な患者を弘前大学医学部附属病院高度救命救急センターが担っております。

※ 体制時間について

○初期救急医療

・弘前市急患診療所：内科、小児科（平日・土曜日19時～22時30分）（日曜・祝日10時～16時19時～22時30分）
外科（日曜・祝日10時～16時）

・休日在宅：内科（日曜・祝日9時～12時）耳鼻科・眼科・歯科（日曜・祝日10時～16時）

○入院救急医療：第二次輪番制参加病院等協議会参加病院

○三次救急医療：弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター

津軽地域小児救急病院等一覧表

(平成31年4月1日現在)

医療機関名	所在地	電話
弘前市急患診療所	弘前市大字野田二丁目7番地1	0172-34-1131
○独立行政法人国立病院機構弘前病院	弘前市大字富野町1番地	0172-32-4311
○独立行政法人国立病院機構青森病院	青森市浪岡大字女鹿沢 字平野155番地	0172-62-4055
○弘前市立病院	弘前市大字大町三丁目8番地1	0172-34-3211
○津軽保健生活協同組合 健生病院	弘前市大字扇町二丁目2番地2	0172-55-7717
弘前大学医学部附属病院	弘前市大字本町53番地	0172-33-5111

※ ○印は津軽地域小児救急二次輪番病院

弘前市を中心とする津軽地域8の市町村で、15歳未満あるいは中学三年生までの患者（交通事故による外傷など外科治療が必要な対象は除く）を対象に常時、小児科医が診療する「小児救急医療体制が平成18年1月10日より開始されました。

この小児救急医療体制の仕組みにつきましては、弘前市急患診療所で外来診療を行い、万が一入院が必要になった場合には、小児科のある4病院（小児救急二次輪番病院）が交代で対応するとともに、重症な患者は、弘前大学医学部附属病院へ紹介するということとなっております。

※ 体制時間について

- 初期救急（外来）：弘前市急患診療所
 - ・平日、土曜日（19時～22時30分）
 - ・休日（10時～16時・19時～22時30分）
- 二次救急（入院）：小児救急二次輪番病院
 - ・平日（毎日18時～翌朝8時）
 - ・土曜日（13時～翌朝8時）
 - ・休日（8時～翌朝8時）
- 三次救急（高度医療）：弘前大学医学部附属病院（小児科）
 - ・毎日24時間（二次病院では対応できない重症の患者）

医療機関別救急搬送状況

三次医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯 以外	小計	転院搬送	合計
弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター	412	142	554	506	1,060
弘前市 二次輪番制参加医療機関					
国立病院機構弘前病院	1,324	307	1,631	176	1,807
弘前市立病院	725	206	931	55	986
健生病院	1,385	591	1,976	251	2,227
弘前小野病院	100	21	121	20	141
管内 救急告示医療機関					
弘前大学医学部附属病院	26	28	54	92	146
弘前脳卒中センター	290	188	478	136	614
弘愛会病院	70	124	194	7	201
弘前メディカルセンター	60	30	90	30	120
鳴海病院		2	2	2	4
弘前中央病院	21	8	29	10	39
黒石病院	748	358	1,106	65	1,171
ときわ会病院	133	96	229	8	237
板柳中央病院	164	71	235	9	244
町立大鱈病院	48	40	88	3	91
管外 救急告示医療機関					
青森県立中央病院	16	13	29	30	59
八戸市立市民病院					
その他医療機関 (診療所)					
管内	224	265	489	97	586
管外	35	16	51	56	107
その他場所	1		1		1
合計	5,782	2,506	8,288	1,553	9,841

救 助



事故種別救助業務実施状況（対前年比）

種別		年別	平成 30 年	平成 29 年	H29 年と H30 年との比較
合 計		出動件数	124	133	△ 9
		活動件数	66	78	△12
		救助人員	63	77	△14
火 災	建 物	出動件数	5	4	1
		活動件数	5	4	1
		救助人員	0	0	0
	建 物 以 外	出動件数	0	0	0
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
交 通 事 故		出動件数	63	64	△ 1
		活動件数	28	34	△ 6
		救助人員	32	40	△ 8
水 難 事 故		出動件数	1	8	△ 7
		活動件数	1	5	△ 4
		救助人員	1	5	△ 4
風 水 害 等 害 自 然 災 害		出動件数	0	0	0
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
機 械 に よ る 事 故		出動件数	4	10	△6
		活動件数	3	5	△2
		救助人員	3	5	△2
建 物 等 に よ る 事 故		出動件数	15	13	2
		活動件数	9	9	0
		救助人員	8	9	△1
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		出動件数	3	5	△2
		活動件数	3	3	0
		救助人員	3	3	0
破 裂 事 故		出動件数	1	0	1
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
そ の 他 の 事 故		出動件数	32	29	3
		活動件数	17	18	△1
		救助人員	16	15	1

※ 出動件数とは、消防機関が救助活動を行う目的で出動した件数をいい、活動件数とは出動件数のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った件数をいう。

消防団



管内市町村の消防団長

(平成31年4月1日現在)

市町村名	団長名	就任年月日
弘前市	熊谷利一	平成31年 2月13日
黒石市	山口利文	平成25年 6月 4日
平川市	小山内勝廣	平成29年 4月 1日
藤崎町	五十嵐 睦三	平成26年12月 1日
板柳町	大谷克人	平成29年 4月 1日
大鰐町	赤平利昭	平成28年 6月 1日
田舎館村	山本正志	平成29年 4月 1日
西目屋村	山崎清則	平成29年 3月 1日

管内市町村の消防副団長

(平成31年4月1日現在)

市町村名	副団長名	就任年月日
弘前市	稲部千賀男	平成26年 7月10日
	久保順一	平成27年 9月13日
	小田桐正喜	平成28年12月 1日
	三上均	平成30年 8月 7日
	高橋和彦	平成31年 2月13日
黒石市	工藤清明	平成25年 6月 4日
	須藤俊博	平成29年11月 1日
	佐藤松男	平成29年11月 1日
	豊巻信一	平成29年11月 1日
	村上禎亮	平成29年11月 1日
平川市	今井紀夫	平成29年 4月 1日
	佐藤昭仁	平成29年 4月 1日
	白川秋徳	平成30年 5月 1日
藤崎町	浅瀬石潤悦	平成21年 4月 1日
	奈良完治	平成24年12月 6日
	古川哲美	平成26年 4月 1日
	三上鉄弘	平成26年12月 1日
板柳町	北畠憲一	平成25年 4月 1日
	三上義勝	平成28年 8月 1日
	三戸康正	平成29年 2月 1日
	會津丞	平成29年 4月 1日
大鰯町	澁谷茂	平成20年 7月 1日
	山崎高男	平成28年 6月 1日
	山内高信	平成30年 4月 1日
	小野光一	平成30年 5月 1日
田舎館村	葛西誠司	平成26年 5月 1日
	中山勝晴	平成28年 4月 1日
	工藤鑄逸	平成28年 4月 1日
	田澤隆	平成28年 4月 1日
	八木橋宣之	平成30年10月16日
西目屋村	大瀧学	平成22年12月21日
	熊谷孝夫	平成29年 3月 1日

管内市町管内市町村別消防団車両配備状況

(平成31年4月1日現在)

車種 市町村	合 計	普通 消防 ポン プ自 動車	小型 動力 ポン プ積 載車	水 槽付 ポン プ自 動車	警 備 車	司 令 車	そ の 他	小 型 動 力 ポン プ
	台	台	台	台	台	台	台	台
合 計	287	107	160	1	8	3	8	16
弘 前 市	114	41	62		8	1	2	5
黒 石 市	50	17	31				2	
平 川 市	40	17	23					2
藤 崎 町	23	1	21			1		2
板 柳 町	18	14	3			1		4
大 鰐 町	17	15	1				1	2
田 舎 館 村	20		19				1	
西 目 屋 村	5	2		1			2	1

備考 小型動力ポンプは、合計に計上せず。

管内市町村階級別消防団員数

(平成31年4月1日現在)

階級 市町村	条 例 定 数	現 在 数	分 団 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
	人	人	分団	人	人	人	人	人	人	人
合 計	5,085	4,513 (106)	205 (4)	13	62	257 (4)	217 (4)	283 (7)	665 (16)	3,016 (75)
弘前市	2,080	1,892 (19)	111 (1)	6	29	133 (1)	112 (1)	112 (1)	224 (2)	1,276 (14)
黒石市	860	771 (17)	9	1	5	15	11	50 (1)	126 (2)	563 (14)
平川市	760	663 (39)	20 (1)	1	9	20 (1)	20 (1)	42 (3)	84 (6)	487 (28)
藤崎町	411	346 (6)	22 (1)	1	4	33 (1)	22 (1)	22 (1)	66 (3)	198
板柳町	310	275 (6)	18	1	4	24	18	18	55 (1)	155 (5)
大鱈町	350	286 (19)	17 (1)	1	4	21 (1)	16 (1)	17 (1)	41 (2)	186 (14)
田舎館村	234	217	5	1	5	5	14	19	57	116
西目屋村	80	63	3	1	2	6	4	3	12	35

備考 () については、女性団員で内書き。

管内市町村在職年数別消防団員数

(平成31年4月1日現在)

年数 市町村	人員 合計	平 均 在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
			人	人	人	人	人	人	人
合 計	4,513	11.9	1,027	980	909	773	470	220	134
弘前市	1,892	11.5	461	414	371	320	198	77	51
黒石市	771	11.4	171	166	177	131	76	32	18
平川市	663	12.6	140	128	131	128	68	38	30
藤崎町	346	12.3	61	69	94	52	40	22	8
板柳町	275	12.8	55	59	57	49	34	12	9
大鱈町	286	13.6	53	64	48	44	36	27	14
田舎館村	217	11.4	57	63	30	41	17	6	3
西目屋村	63	10.0	20	20	5	8	3	7	0

管内市町村別年齢別消防団員数

(平成31年4月1日現在)

年数 市町村	人員 合計	平 均 年 齢	18歳以上 25歳	26 30	31 35	36 40	41 45	46 50	51 55	56 60	61歳 以上
			人	人	人	人	人	人	人	人	人
合 計	4,513	42.2	188	372	662	828	847	676	529	312	99
弘前市	1,892	41.8	90	130	287	366	348	280	244	125	22
黒石市	771	40.1	39	82	132	162	134	103	79	36	4
平川市	663	44.9	15	35	88	86	138	100	83	70	48
藤崎町	346	41.9	13	31	45	62	69	54	40	27	5
板柳町	275	41.9	6	25	43	45	56	50	31	17	2
大鱈町	286	42.2	19	32	29	45	47	45	35	25	9
田舎館村	217	39.3	5	32	30	57	43	34	11	4	1
西目屋村	63	46.2	1	5	8	5	12	10	6	8	8

管内市町村階級別消防団員年報酬

(平成31年4月1日現在 単位：円)

市町村	階級						
	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
弘 前 市	78,000	57,000 47,000	41,000 35,000	29,000	26,000	25,000	24,000
黒 石 市	51,700	44,000	26,400	22,500	16,000	15,000	13,200
平 川 市	55,000	45,000	32,000	26,000	24,000	20,000	18,000 10,000
藤 崎 町	60,000	49,000	40,000 36,000	25,000	23,000	21,000	19,000
板 柳 町	40,000	29,000	20,000 19,000	15,000	12,000	11,000	10,000
大 鰐 町	57,000	47,000	35,000	28,000	25,000	22,000	20,000
田 舎 館 村	52,800	45,000	30,000	23,600	20,000	16,500	14,500
西 目 屋 村	59,000	49,000	35,000	24,000	21,000	20,000	19,000 10,000

備考 弘前市の副団長上段は、方面副団長 下段は、地区団長、本部付隊長
 弘前市の分団長上段は、本部付分団長 下段は、地区副団長、分団長
 平川市の団員下段は、機能別団員
 藤崎町の分団長上段は、団付分団長
 板柳町の分団長上段は、団付分団長
 西目屋村の団員下段は、支援団員

管内市町村消防団員出動手当

(平成31年4月1日現在 単位：円)

市町村	1 回 あ た り の 出 動 手 当 額			
	水 ・ 火 災 等	警 戒	訓 練	そ の 他
弘 前 市	2,000	2,000	2,000	2,000
黒 石 市	(定額)9,000 円/年			
平 川 市	1,500	1,500	1,500	1,500
藤 崎 町	2,000	2,000	2,000	2,000
板 柳 町	2,000	2,000	2,000	2,000
大 鰐 町	1,500	1,500	1,500	1,500
田 舎 館 村	(定額) 1 消防部 110,000 円/年		本部 90,000 円/年	
西 目 屋 村	2,000	2,000	2,000	2,000

※ その他は除雪作業等必要により特に招集した時の手当額

地域防災組織



幼・少年消防クラブと婦人防火クラブ

- 幼年消防クラブは、幼年期に正しい火の取扱いを教え、防災教育を通して家庭や周囲の人々の意識を高め、家族ぐるみ、地域ぐるみの防火の輪を広げることを目的としている。
- 少年消防クラブは、少年少女たちが火災を予防する方法や、火についての問題を身近な生活の中に見出し、それをお互いに研究実行し、周囲の人々に及ぼそうという少年少女たちの学習を基調とした社会、理科等の勉学の向上を図ることを目的とし、地域または学校単位で小学校1年生から中学校3年生の少年、少女の有志によって結成されており、Boys&Girls Fire Clubの頭文字をとってBFCともいう。
- 婦人（女性）防火クラブは、「火災の大半は住宅火災」であることから、常日頃の家庭の火気を取扱う機会をふまえて、火災予防の知識の習得と消火、避難等の行動知識の習熟を図り、家庭からの火災防止と地域の連帯感を高めるものである。

このように各クラブを通じて「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域に根ざした自主防災をめざし、恒久的で明るく安全な家庭づくり、地域づくりのため、今後も大いなる活躍が期待されます。

平成30年度の活動状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

幼年消防クラブの活動状況

活 動 内 容	実 施 回 数	参 加 人 員
防火映画・防火教室・消防訓練	57	2,253
青森県中弘地区消防協会観閲式	1	33
巡回広報・街頭広報・防火パレード	69	1,628
視察研修・野外研修・指導者研修	13	252
合 計 (A)	140 回	4,166 人

少年消防クラブの活動状況

活 動 内 容	実 施 回 数	参 加 人 員
防火映画・防火教室・消防訓練	6	687
青森県中弘地区消防協会観閲式	1	33
巡回広報・街頭広報・防火パレード	4	36
視察研修・野外研修・指導者研修	3	80
合 計 (B)	14 回	836 人

婦人防火クラブの活動状況

活 動 内 容	実 施 回 数	参 加 人 員
防火映画・防火教室・消防訓練	10	22
青森県中弘地区消防協会観閲式	1	45
青森県南黒地区消防協会観閲式	1	20
巡回広報・街頭広報・防火パレード	21	99
視察研修・野外研修・指導者研修	22	102
合 計 (C)	55 回	288 人

総 合 計 (A) + (B) + (C)	209 回	5,290 人
-----------------------------	-------	---------

幼年消防クラブの状況

(平成31年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員 数	結成年月日	代 表 者
弘 前 市	大沢保育園幼年消防クラブ	18名	H 4. 5. 11	成 田 真 弓
〃	大開保育園幼年消防クラブ	28名	H 4. 7. 1	三 崎 す み
〃	サムエル保育園幼年消防クラブ	28名	H 3. 7. 25	山 鹿 紀 夫
〃	城東保育園幼年消防クラブ	22名	H13. 9. 1	三 浦 テ ッ
〃	すみれ保育園幼年消防クラブ	37名	H 3. 7. 25	齋 藤 霊 一
〃	高杉保育園幼年消防クラブ	22名	H 4. 7. 1	下 山 京 子
〃	ダビデ保育園幼年消防クラブ	44名	H 3. 7. 25	山 鹿 徳 子
〃	致遠保育園幼年消防クラブ	54名	H 4. 7. 1	長 内 昭 子
〃	とよだ幼年消防クラブ	35名	H11. 4. 1	一 町 田 英 子
〃	弘前保育園幼年消防クラブ	22名	H25. 4. 1	山 内 直 子
〃	めぐみ保育園幼年消防クラブ	28名	H 3. 7. 25	△ 工 藤 淳
〃	ようせい保育園幼年消防クラブ	88名	H 4. 7. 1	武 田 芳 子
〃	よつば保育園幼年消防クラブ	65名	H 3. 7. 25	吉 成 千 鶴 子
黒 石 市	あけぼのこども園幼年消防クラブ	20名	H5. 2. 1	谷 君 雄
〃	アリス保育園幼年消防クラブ	29名	H1. 12. 1	木 立 睦 子
〃	黒石若葉保育園幼年消防クラブ	36名	H3. 7. 1	明 本 謙 治
〃	幸成保育園幼年消防クラブ	55名	H10. 12. 5	福 士 富 美 子
〃	千徳保育園幼年消防クラブ	21名	H1. 12. 1	村 上 隆 昭
〃	つくし第一こども園幼年消防クラブ	17名	H2. 12. 1	△ 工 藤 哲 悟 郎
〃	つくし第二こども園幼年消防クラブ	23名	H2. 12. 1	工 藤 悟
〃	中郷こども園幼年消防クラブ	38名	H1. 12. 1	山 口 優 美
〃	美郷こども園幼年消防クラブ	49名	H13. 4. 1	湯 瀬 久 美
平 川 市	尾上保育園幼年消防クラブ	27名	H2. 10. 1	藤 山 祐 一

〃	大坊こども園幼年消防クラブ	38名	H15. 4. 1	古川 香
〃	はすね保育園幼年消防クラブ	41名	H15. 2. 1	小田桐 輝雄
〃	日の出こども園幼年消防クラブ	34名	H6. 4. 5	小野 一治
〃	平賀あすなろ保育園幼年消防クラブ	23名	S62. 7. 1	小笠原 勝則
〃	平賀幼稚園幼年消防クラブ	34名	H5. 5. 6	小山 セツ
藤崎町	小畑保育所幼年消防クラブ	18名	H24. 4. 1	平田 けみ子
〃	西中野目保育所幼年消防クラブ	15名	H24. 4. 1	○ 太田 亜矢子
〃	藤崎保育所幼年消防クラブ	27名	H24. 4. 1	北島 富江
板柳町	板柳第一保育所鶴住幼年消防クラブ	92名	H21. 4. 1	泉 隆子
〃	板柳第二保育所鶴住幼年消防クラブ	42名	H17. 4. 1	福岡 美紀子
〃	板柳第三保育所鶴住幼年消防クラブ	52名	H17. 4. 1	◎ 竹内 文子
〃	小阿弥保育所鶴住幼年消防クラブ	66名	H17. 4. 1	齊藤 育子
〃	沿川保育所鶴住幼年消防クラブ	30名	H22. 4. 1	新谷 直子
〃	畑岡保育所鶴住幼年消防クラブ	41名	H17. 4. 1	竹内 睦子
大鰐町	大鰐保育園幼年消防クラブ	20名	H16.12.14	村上 睦子
田舎館村	田舎館こども園幼年消防クラブ	54名	H18. 5. 1	○ 小野 やす子
〃	光田寺保育園幼年消防クラブ	81名	H18. 5. 9	福士 敬博
計	40 クラブ	1,514名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

少年消防クラブの状況

(平成31年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員数	結成年月日	幹 事 長
弘 前 市	大沢地区少年消防クラブ	47名	S52. 7. 5	◎ 小田桐 誠一郎
〃	藤代地区少年消防クラブ	26名	S55. 3. 30	○ 齊 藤 博
〃	千年地区少年消防クラブ	17名	S55. 3. 30	△ 吉川 城人
〃	東目屋地区少年消防クラブ	86名	H 3. 7. 14	千 葉 麻 子
〃	清水地区少年消防クラブ	活動休止中	S55. 12. 27	石 岡 正 彦
黒 石 市	黒石小学校少年消防クラブ	活動休止中	S52. 4. 11	渡 邊 幸 司
計	6 ク ラ ブ	176名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

婦人防火クラブの状況

(平成31年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員数	結成年月日	委 員 長
弘 前 市	藤代地区婦人防火クラブ	16名	S55. 2. 3	浅原 雅子
〃	清水地区婦人防火クラブ	23名	S55. 3. 9	飛鳥 範子
〃	和徳地区婦人防火クラブ	23名	S55. 3.30	○ 小嶋 ルイ子
黒石市	黒石市女性防火クラブ	19名	H3. 4. 12	△ 鈴木 美香
平川市	平賀地区婦人防火クラブ	30名	S53. 4. 1	◎ 赤平 喜美子
〃	平川市碓ヶ関地区婦人防火クラブ	8名	H19.10. 1	△ 山田 泰子
田舎館村	田舎館村女性防火クラブ	29名	S58. 3.13	佐々木 久子
西目屋村	西目屋村婦人防火クラブ	20名	S55. 8.27	○ 檜山 玲子
計	8 ク ラ ブ	168名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

弘前地区消防防災協会

当協会は、昭和43年7月10日に弘前市消防防災協会として設立され、昭和46年4月1日弘前地区消防事務組合発足に伴い協会も広域化し、昭和46年7月15日に名称を弘前地区消防防災協会と改められた。現在は3市3町2村、16部会36班で構成されている。

名 称	弘前地区消防防災協会
事 務 局	弘前地区消防事務組合消防本部内
目 的	本会は、消防防災に関する知識の向上と、各事業所の健全な発展を目指して、災害予防に努めるとともに会員相互の融和親睦を図り、もって社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。
事 業	<ol style="list-style-type: none"> 1 防火管理の研究 2 消防関係法令の普及 3 災害予防に関する知識の普及と広報 4 災害発生時の相互協力 5 会員の教養、研修 6 災害予防及び自主防災技術の改善並びに本会の発展に特に功労のあった者に対する表彰 7 災害発生時の会員死傷者に対する弔慰 8 その他、本会の目的達成のため必要と認める事項
会 員	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防法に定める防火対象物の関係者 2 消防法に定める危険物を製造、貯蔵又は取扱いをする関係者 3 液化石油ガス又は圧縮アセチレンガス等の製造、貯蔵又は取扱いをする関係者 4 その他、本会の目的に賛同する者
役 員	会長1名 副会長3名 理事38名以内 監事3名 参与 若干名
会 費	<ol style="list-style-type: none"> 1 会費 年額3,000円 2 賛助費 1口以上(1口5,000円)
令和元年度予算額	5,198,560円

弘前地区消防防災協会役員事業所名簿

(平成31年4月1日現在)

役職名	事業所名			
会長	藤田飲食店			
副会長	平山萬年堂 特別養護老人ホーム 大鱈ホーム (有)小野印刷			
監事	(株)青森銀行弘前支店 東北電力(株)弘前電力センター 弘南バス(株)			
第1部会長	平山萬年堂	理事	(株)朝日会館	(有)すとう
第2部会長	(株)菊富士	理事	(株)角長	めん房たけや
第3部会長	ブロッサムホテル弘前	理事	津軽の宿弘前屋	弘前東栄ホテル
第4部会長	健生病院	理事	弘前市立病院	
第5部会長	東北女子大学	理事	弘前東高等学校	
第6部会長	長勝寺	理事	盛雲院	
第7部会長	弘前航空電子(株)	理事	やまと印刷(株)	
第8部会長	弘前市役所	理事	つがる弘前農業協同組合	
第9部会長	青森県石油商業組合中弘南支部	理事	(株)弘善商会	(株)角弘弘前地区石油支店
第10部会長	北興液化ガス(株)	理事	(株)工藤熊五郎商店	
第11部会長	サムエル保育園	理事	城東保育園	
第12部会長	(株)富士商会	理事	(株)産交	
南部会長	特別養護老人ホーム 大鱈ホーム	理事	(有)ハラコ流通	碓ヶ関開発(株)
北部会長	(有)猪股住設	理事	(株)藤菱	青森リンゴ加工(株)
西部会長	(有)タケヤ	理事	マエダ防災	
東部会長	(株)アップルランド南田温泉	理事	(株)ツガルサイコー (津軽伝承工芸館)	

弘前地区消防防災協会事業

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

年 月 日	事 業 内 容
平成30年4月9日	春の火災予防運動参加 消防訓練・街頭広報 参加者 10名
平成30年5月29日	平成30年度定時総会並びに 於：弘前パークホテル 創立50周年記念式典開催 出席者 102名
平成30年5月29日	創立50周年記念誌「50年のあゆみ」発行
平成30年5月24日 ） 平成30年5月25日	危険物取扱者試験事前講習会実施（1回目） 於：弘前消防本部大会議室 受講者 16名
平成30年9月18日	秋の火災予防運動ポスターの送付(640事業所)
平成30年9月21日	自衛消防技術大会 於：運動公園駐車場 出場 18チーム
平成30年10月10日	創立50周年記念事業 於：岩木文化センターあそべる 防災講演会 参加者 100名 「地域防災～自然災害への備え～」開催
平成30年10月15日	秋の火災予防運動参加 街頭広報・消防訓練 参加者 8名
	防火作品最優秀賞表彰式 於：消防本部大会議室 表彰 8名
平成30年10月15日 ） 平成30年10月28日	防火作品展開催 於：ヒロロ3F(ヒロロスクエア) 管内幼稚園、保育園・保育所、管内小学校（1～6年生） 応募作品数 966点 入賞作品 176点
平成30年10月26日 ） 平成30年10月27日	危険物取扱者試験事前講習会実施（2回目） 於：消防本部大会議室 受講者 11名
平成31年3月8日	防災ニュース第48号発行
平成31年3月8日	春の火災予防運動ポスターの送付(640事業所)
随 時	各部会の開催
	会員増強運動

付 録

明治以降の主な火災

(表中の平成 22 年以前は、旧弘前地区消防事務組合管内で発生した災害のみ掲載)

明治 13 年 5 月 15 日	元寺町より出火し、本町、元大工町、元長町、親方町、元寺町、元寺町小路、上鞆師町、鉄砲町、一番町、百石町、下土手町、鍛冶町、新鍛冶町、北川端町、桶屋町にかけて、1,064 戸焼損。死者 3 名
明治 18 年 9 月 12 日	中郡公立中学校より出火し、同校及び東奥義塾全焼
10 月 21 日	和徳町より出火、代官町、茶畑町に延焼し、100 戸焼損
明治 22 年 10 月 25 日	東奥義塾より出火し、2 棟 400 坪全焼
明治 23 年 3 月 4 日	第一大成小学校全焼
明治 25 年 6 月 20 日	市役所、警察署、県尋常中学校焼損
明治 34 年 5 月 1 日	楮町より出火、松森町に延焼し、61 戸焼損
明治 36 年 5 月 8 日	元寺町の旅館より出火し、55 戸焼損
明治 39 年 4 月 21 日	弘前城北の郭の櫓、花火により焼損
5 月 25 日	輔重隊より出火し、大隊本部、1. 2 中隊舎 7 棟、332 坪焼損
8 月 23 日	弘前城西の郭の櫓(埋御門内側)焼損
9 月 28 日	土手町蓬莱橋際より出火し、38 戸焼損
明治 42 年 5 月 2 日	鞆師町より出火、百石町に延焼し、43 戸焼損、死者 3 名
明治 43 年 12 月 7 日	土手町の旅館より出火し、44 戸焼損、死者 1 名
大正 2 年 12 月 4 日	弘前裁判所全焼、4 棟 113 坪焼損
大正 6 年 5 月 18 日	清水村富田より出火、土手町、品川町、新品川町、松森町、楮町、新楮町、豊田村小比内、外崎一円が焼損。全焼 533 戸、半焼 8 戸、死者 1 名、郡役所、清水村役場、第二大成小学校焼損
昭和 2 年 5 月 29 日	北横町遊郭より出火し、和徳町、南横町、萱町、植田町、代官町、茶畑町、和徳町の一部を焼損、全焼 538 戸の外、和徳小学校焼損
昭和 3 年 4 月 18 日	富田町より出火、富田大通、偕行社通、住吉町、中土手町、上土手町、松森町、品川町、新品川町、楮町、代官町、上瓦ヶ町、和徳町、停車場通、豊田村の一部に及び全焼 610 戸、半焼 19 戸、死者 1 名、第一大成小学校、第二大成小学校焼損
11 月 8 日	富田小学校焼損
昭和 5 年 6 月 15 日	時敏小学校焼損
昭和 9 年 5 月 18 日	市立弘前病院焼損、4 棟 400 坪
昭和 22 年 2 月 5 日	紺屋町秩父宮殿下元御仮邸(菊池別邸)全焼、3 棟 1,386 m ² 焼損
昭和 24 年 4 月 14 日	津軽病院全焼、8 棟焼損 (5,221 m ²)、死者 5 名
4 月 18 日	弘前税務署(元師団経理部)全焼、3 棟焼損 (1,274 m ²)
10 月 12 日	時敏小学校焼損
10 月 23 日	朝陽小学校全焼、塩分町、15 戸焼損
12 月 31 日	弘前裁判所全焼

昭和 27 年 5 月 4 日	土手町繁華街(蓬莱橋東側) 16 戸焼損
12 月 20 日	上白銀町 藤田別邸焼損(1,079 m ²)
昭和 31 年 5 月 21 日	弘前市小比内地区、全焼(住家 10 戸、非住家 17 棟)、半焼(住家 1 戸、非住家 1 棟)
7 月 21 日	第一中学校一部焼損(832 m ²)
昭和 35 年 5 月 13 日	柴田学園全焼、北瓦ヶ町 10 戸焼損(6,280 m ²)
昭和 37 年 1 月 27 日	下白銀町 弘前大学教育学部西校舎焼損(3,098 m ²)
昭和 39 年 4 月 6 日	土手町 Kデパート焼損(1,377 m ²)
昭和 42 年 4 月 17 日	富田町印刷工場全焼(1,075 m ²)
昭和 44 年 1 月 31 日	弘前高等学校焼損(1,130 m ²)
1 月 31 日	津軽病院全焼(4,125 m ²)
昭和 47 年 7 月 20 日	柴田女子高校全焼(2,460 m ²)
昭和 50 年 10 月 12 日	西目屋中学校全焼(1,497 m ²)
昭和 54 年 8 月 21 日	一野渡鷺ノ巣国有林 1,110a 焼損
昭和 59 年 10 月 18 日	相馬村、りんごパック製造工場全焼 (1,376 m ²)、損害額 1 億 323 万円
昭和 60 年 6 月 29 日	一野渡鷺ノ巣国有林 620a 焼損
昭和 61 年 2 月 8 日	大森 知的障害者更生施設焼損(145 m ²)、死者 2 名、負傷者 6 名
3 月 28 日	清水二丁目 缶詰工場焼損(1,524 m ²)、損害額 1 億 9,682 万円
平成 8 年 11 月 1 日	碓ヶ関村 旅館 2 棟全焼(1,692 m ²)、死者 1 名、負傷者 2 名、損害額 5,961 万円
平成 13 年 5 月 8 日	消費者金融支店 (Nビル 3 階)、96.30 m ² のうち事務室及び管理室 85.16 m ² 焼損、死者 5 名、負傷者 4 名
平成 16 年 1 月 3 日	大鱈町 住宅 1 棟焼損 (132 m ²)、死者 5 名、負傷者 2 名
1 月 26 日	弘前市国吉 温泉旅館 1 棟焼損 (1,077 m ²)、損害額 1 億 1,059 万円
平成 17 年 9 月 5 日	弘前市 連続 8 件火災(建物 6、車輛 1、その他 1)
12 月 25 日	常盤村 住宅 1 棟全焼(145 m ²)、死者 3 名、負傷者 1 名
平成 21 年 3 月 8 日	弘前市 住宅等 7 棟焼損(1,667 m ²)、負傷者 1 名
平成 22 年 11 月 20 日	弘前市 飲食店舗兼住宅等 6 棟焼損(505 m ²)、死者 1 名、負傷者 10 名
平成 26 年 4 月 27 日	大鱈町 住宅等 18 棟焼損(1,012 m ²)、死者 1 名
6 月 5 日	大鱈町 国有林 15.64ha 焼損
平成 27 年 8 月 4 日	大鱈町 作業所兼住宅等 14 棟焼損 (1,848 m ²)、負傷者 4 名
9 月 18 日	黒石市 小学校 1 棟焼損 (48 m ²)、死者 1 名、負傷者 7 名

明治以降の主な災害（火災を除く）

（表中の平成9年以前は、旧弘前地区消防事務組合管内で発生した災害のみ掲載）

明治 29 年 7 月 21 日	県下に大雨あり、土洩川氾濫、徒町川端一帯床上浸水
昭和 7 年 8 月 3 日 5 日	津軽地方 30 年来の洪水、岩木川、土洩川氾濫、駒越町、新町、徒町川端町、北横町、品川町被害甚大、床上浸水 41 棟、床下 90 棟、南塘は鏡ヶ池再現
昭和 10 年 8 月 21 日 24 日	豪雨により土洩川氾濫、床上浸水 73 棟、床下浸水 369 棟 平川の氾濫により大鰐町全町浸水、平川鉄橋流失、死者行方不明 25 名、負傷者 181 名
昭和 30 年 7 月 3 日 4 日	津軽地方一帯豪雨となり、各河川が急激に増水し、岩木川氾濫 3 橋梁流失
8 月 20 日	中弘地方を襲った豪雨で、岩木川氾濫、目屋の 4 橋梁流失
昭和 33 年 8 月 11 日 12 日	豪雨により岩木川氾濫、下町を中心に 51 町会 3,037 世帯被害、家屋全壊流失 45 棟、半壊 90 棟、床上浸水 1,435 棟、床下浸水 1,467 棟、死者 3 名、11 橋梁流出、損害合計 13 億 5 千万円
9 月 17 日 18 日	台風 21 号の影響により、土洩川氾濫、唐金橋外 4 橋梁流出、家屋全壊流失 37 棟、半壊 7 棟、床上浸水 570 棟、床下浸水 988 棟
昭和 35 年 8 月 2 日 3 日	津軽地方の豪雨により、平川氾濫、田町、三八町の外、和徳、千年、新和、石川地区被害、全壊流失 3 棟、半壊 6 棟、床上浸水 340 棟、床下浸水 600 棟、死者 3 名、損害合計 3 億 8,222 万円
昭和 50 年 8 月 5 日 6 日	津軽地方を襲った豪雨は、弘前市をはじめ各地で大きな被害、なかでも岩木町百沢で蔵助沢の鉄砲水により死者 22 名、負傷者 45 名と局地災害では、県水害史上最大の被害となった。
8 月 20 日	津軽地方の大雨により、土洩川氾濫、小沢地区から平川合流点に至る 14.8 km の沿岸一帯被害、全壊流失 33 棟、半壊 29 棟、床上浸水 1,403 棟、床下浸水 2,072 棟、損害合計 46 億 6,459 万円

昭和 52 年 8 月 5 日

集中豪雨により土淵川、寺沢川氾濫、特に寺沢川上流の溜池決壊により急激な増水、死者 9 名、負傷者 20 名、人命救助 344 名、全壊流失 12 棟、半壊 76 棟、床上浸水 1,943 棟、床下浸水 2,972 棟、損害合計 71 億 1,234 万円

平成 3 年 9 月 28 日

台風 19 号の暴風により、組合管内で大きな被害を受けた。

		弘前市	大鰐町	藤崎町	岩木町	常盤村	碓ヶ関村	相馬村	西目屋村
人的被害(名)	死者	3			1				
	負傷者	重傷	2	5			1	1	
		軽傷	9	25	3	2	6	1	2
	合計	14	30	3	3	6	2	3	1
家屋被害(棟)	全壊	26	18		3	3		1	
	半壊	270	169	71	48	49	17	13	1
	一部損壊	4,948	668	402	351	210	152	60	44
	合計	5,244	855	473	402	262	169	74	45
損害額(万円)	建物関係	377,380	91,330	41,870	34,560	32,760	13,670	7,350	2,890
	農林関係	2,415,705	609,866	265,371	572,995	47,362	157,030	335,423	71,666
	合計	2,793,085	701,196	307,241	607,555	80,122	170,700	342,773	74,556

平成 9 年 5 月 7 日

発達した低気圧による風雨と目屋ダムの放水(最大放水量 792 m³/秒)

9 日

により組合管内に大きな風雨被害を受けた。被害総額 3,237,640 千円

弘前市	住家一半壊 1 棟、一部損壊 1 棟、床上浸水 1 棟、床下浸水 3 棟
岩木町	住家一床下浸水 1 棟、浸水被害一水田 32 a 岩木川沿地区 256 戸に避難勧告
相馬村	住家一床上浸水 5 棟、床下浸水 7 棟、浸水被害一水田 20 a 紙漉沢、五所地区 39 戸に避難指示
大鰐町	宿川原橋損壊、虹貝地区道路陥没
藤崎町	浸水被害一りんご園 67ha
碓ヶ関村	土砂崩壊、林道決壊
西目屋村	村内電話不通 435 回線

平成 25 年 9 月 16 日

台風 18 号の影響により、県内は猛烈な雨に見舞われ、降り始めからの総雨量(気象庁の観測データ)は、大鰐町で 214 ミリ、弘前市で 202 ミリ、平川市で 201 ミリ、黒石市で 188 ミリを記録し、河川の氾濫や土砂崩れ、住宅の浸水、りんご園地等の浸水など津軽地方に甚大な被害をもたらした。

平成 28 年 4 月 17 日

発達した低気圧による暴風により組合管内に大きな被害を受けた。

			弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	大鰐町	板柳町	田舎館村	西目屋村
人的被害 (名)	負傷者	重傷	1			1		1		
		軽傷								
	合計	1			1		1			
家屋・農業施設被害 (棟)	全壊	42	14	14	22	14	2	7		
	半壊	22	18		16	18	3	9		
	一部損壊	166	7	79	99	7	31	54		
	合計	230	39	93	137	39	36	70		
損害額(万円)		5,098	118	1,756	2,133	1,069	354	1,576	0	

歴代消防長等

(平成31年4月1日現在)
 ※各表の階級欄は就任時の階級

弘前地区消防事務組合消防長

旧弘前市消防本部 S24.4.1～S46.3.31
 旧弘前地区消防事務組合 S46.4.1～H25.6.30
 新弘前地区消防事務組合 H25.7.1～

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防長	岩淵 勉	S24.4.27		弘前市長兼任
2代	消防司令長	石川 源太	S24.5.31	S29.2.19	
3代	消防監補	桑田 善太郎	S29.4.1	S32.10.31	
4代	消防監	上田 勝夫	S32.11.1	S37.7.8	
5代	〃	伴 一 衛	S37.7.9	S39.8.17	
6代	〃	桑田 貞一	S39.8.18	S50.9.30	
7代	〃	福井 正男	S50.10.1	S55.9.30	(S55.4.1 消防正監)
8代	消防正監	工藤 富蔵	S55.10.1	S56.9.30	
9代	〃	長津 仗	S56.10.1	S60.3.31	
10代	〃	猪股 清市郎	S60.4.1	H元.3.31	
11代	〃	中村 昭雄	H元.4.1	H4.3.31	
12代	〃	石戸谷 一弘	H4.4.1	H7.3.31	
13代	〃	相馬 達三	H7.4.1	H12.3.31	
14代	〃	小山内 司	H12.4.1	H14.3.31	
15代	〃	成田 文英	H14.4.1	H19.3.31	
16代	〃	尾崎 善造	H19.4.1	H20.3.31	
17代	〃	齋藤 則明	H20.4.1	H21.3.31	
18代	〃	小田桐 伸一	H21.4.1	H23.3.31	
19代	〃	木村 誠二	H23.4.1	H26.3.31	
20代	〃	福士 文敏	H26.4.1	H30.3.31	
21代	〃	三浦 良樹	H30.4.1	H31.3.31	
22代	〃	長尾 幸喜	H31.4.1	在職中	

旧黒石地区消防事務組合消防長

旧黒石町消防本部 S27. 4. 1～S29. 6. 30
 旧黒石市消防本部 S29. 7. 1～S46. 3. 31
 旧黒石地区消防事務組合 S46. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	岡崎良雄	S27. 4. 1	S33. 3. 31	
2代		鳴海清四郎	S33. 4. 1	S33. 8. 9	黒石市助役兼任
3代		高樋竹次郎	S33. 8. 10	S47. 3. 9	黒石市長、管理者兼任
4代	消防監	角田壮一	S47. 3. 10	S54. 7. 31	
5代	〃	山口勇蔵	S54. 8. 1	S56. 3. 31	
6代	〃	田中寿	S56. 4. 1	S60. 3. 31	
7代	〃	岡崎俊司	S60. 4. 1	H 2. 3. 31	
8代	〃	中村民蔵	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	
9代	〃	工藤龍明	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
10代	〃	高樋浅光	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
11代	〃	工藤茂春	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	
12代	〃	佐藤信男	H 8. 4. 1	H13. 3. 31	
13代	〃	盛鐘治	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
14代	〃	中村寿	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
15代	〃	森勇一	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
16代	〃	丹羽仁吉	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
17代	〃	佐藤友昭	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
18代	〃	種市達男	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

旧平川市消防本部消防長

旧平賀・尾上地区消防事務組合 S44. 4. 1～H10. 7. 2
 旧平賀・尾上地区消防等事務組合 H10. 7. 3～H17. 12. 31
 旧平川市消防本部 S46. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	水木強二	S44. 4. 1	S53. 12. 6	平賀町長
2代	〃	原田忠太郎	S53. 12. 7	S61. 12. 6	〃
3代	〃	奈良蓮雄	S61. 12. 8	H 2. 2. 21	〃
4代	〃	長内精四郎	H 2. 2. 22	H 3. 3. 31	
5代	〃	菊池今朝男	H 3. 4. 1	H 3. 8. 15	
6代	〃	木村丞	H 3. 8. 16	H 5. 3. 31	
7代	〃	船越暁穂	H 5. 4. 1	H 8. 3. 31	
8代	〃	富谷正男	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
9代	〃	成田忠則	H10. 4. 1	H16. 3. 31	
10代	〃	三浦久	H16. 4. 1	H17. 12. 31	
	消防司令長	稲葉良三	H18. 1. 1	H18. 3. 31	職務代理者（次長）
11代	消防監	菊池吉郎	H18. 4. 1	H22. 3. 31	
12代	消防司令長	駒井祐正	H22. 4. 1	H25. 6. 30	

旧板柳町消防本部消防長

旧板柳町消防本部 S42. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		木村定吉	S42. 4. 1	S42. 4. 29	板柳町長
2代		竹浪春夫	S42. 4. 30	S62. 4. 29	〃
3代		木村章一	S62. 4. 30	H元. 8. 31	〃
4代	消防監	阿保小東	H元. 9. 1	H 2. 3. 31	署長兼任
5代	〃	三浦得三郎	H 5. 4. 1	H11. 3. 31	
6代	〃	竹内秀次	H11. 4. 1	H15. 3. 31	
7代	〃	三上壽満	H15. 4. 1	H17. 3. 31	
8代	〃	三上秀治	H17. 4. 1	H21. 3. 31	
9代	消防司令長	中村徹	H21. 4. 1	H24. 3. 31	
10代	〃	阿保久	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

弘前地区消防事務組合消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	佐井 留太郎	S24. 5. 31	S27. 3. 2	
2代	消防司令長	小向 清之助	S27. 3. 3	S32. 10. 31	
3代	〃	対馬 庄一	S32. 11. 11	S37. 4. 8	
4代	〃	中村 忠治	S37. 4. 9	S42. 9. 30	
5代	消防司令	工藤 富蔵	S42. 10. 1	S43. 9. 30	
6代	〃	奈良 正美	S43. 10. 1	S44. 9. 27	
7代	〃	工藤 富蔵	S44. 10. 1	S44. 11. 30	
8代	消防司令長	福井 正男	S44. 12. 1	S50. 9. 30	
9代	〃	工藤 富蔵	S50. 10. 1	S52. 3. 31	
10代	〃	桜庭 達三	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
11代	〃	工藤 富蔵	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
12代	〃	宮崎 孝司	S55. 10. 1	S59. 3. 31	
13代	〃	竹内 實	S59. 4. 1	S63. 3. 31	
14代	〃	西沢 勝三	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
15代	〃	木村 悟	H 2. 4. 1	H 5. 3. 31	
16代	〃	相馬 達三	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
17代	〃	田村 勝照	H 7. 4. 1	H11. 3. 31	
18代	消防監	佐藤 正蔵	H11. 4. 1	H14. 3. 31	
19代	消防司令長	猪股 進三	H14. 4. 1	H16. 3. 31	(H15. 4. 1 消防監)
20代	消防監	笹田 将良	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
21代	〃	斎藤 伸夫	H18. 4. 1	H20. 3. 31	
22代	〃	小田 桐伸一	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
23代	〃	秋元 裕	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
24代	〃	木村 誠二	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
25代	〃	佐藤 健治	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
26代	〃	下山 俊光	H24. 4. 1	H26. 3. 31	
27代	〃	種市 達男	H26. 4. 1	H27. 3. 31	
28代	〃	阿保 弘毅	H27. 4. 1	H29. 3. 31	
29代	〃	三浦 良樹	H29. 4. 1	H30. 3. 31	
30代	〃	長尾 幸喜	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
31代	〃	川村 勝明	H31. 4. 1	在職中	

方面本部長

弘前方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	福士 文敏	H25. 7. 1	H26. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	工藤 弥司広	H26. 4. 1	H27. 3. 31	弘前消防署長兼任

黒石方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	種市 達男	H25. 7. 1	H26. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	内山 進一郎	H26. 4. 1	H27. 3. 31	黒石消防署長兼任

平川方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	石田 英造	H25. 7. 1	H26. 3. 31	消防次長兼任
2代	消防監	阿保 弘毅	H26. 4. 1	H27. 3. 31	平川消防署長兼任

板柳方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	阿保久	H25. 7. 1	H27. 3. 31	板柳消防署長兼任 (H26. 4. 1 消防監)

旧黒石地区消防事務組合消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		角田壯一	S39. 1. 1	S46. 3. 31	黒石市助役兼任
2代	消防司令長	岩谷克己	S51. 4. 1	S55. 3. 31	
3代	〃	工藤龍明	H元 4. 1	H 4. 3. 31	
4代	〃	高桶浅光	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
5代	〃	工藤茂春	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
6代	〃	佐藤信男	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	警防課長兼任
7代	〃	坂本吉雄	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
8代	〃	富谷勝徳	H10. 4. 1	H11. 3. 31	署長兼任
9代	〃	高田正志	H11. 4. 1	H12. 3. 31	〃
10代	〃	豊巻正夫	H12. 4. 1	H13. 3. 31	心得・総務課長
11代	〃	中村寿	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
12代	〃	森勇一	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
13代	〃	八木橋兼司	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
14代	〃	佐藤友昭	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
15代	〃	種市達男	H23. 4. 1	H24. 3. 31	総務課長兼任
16代	〃	内山進一郎	H24. 4. 1	H25. 6. 30	予防課長兼任

旧平川市消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	中畑忠三	S44. 4. 1	S48. 3. 31	署長兼任
2代	〃	古川清孝	S48. 4. 1	S49. 3. 31	〃
3代	〃	工藤専次郎	S49. 4. 1	S51. 6. 30	〃
4代	消防司令	船水永一郎	S51. 7. 1	S54. 3. 31	〃
5代	消防司令長	水木二郎	S54. 4. 1	S55. 3. 31	〃
6代	〃	阿部貞吉	S55. 4. 1	S57. 3. 31	〃
7代	〃	大川隆三	S57. 4. 1	S59. 12. 31	〃
8代	〃	三浦孝利	S60. 1. 1	S61. 3. 31	〃
9代	〃	長内精四郎	S61. 4. 1	H 2. 2. 22	〃
10代	〃	菊池今朝男	H 2. 2. 23	H 3. 3. 31	
11代	〃	工藤文夫	H 3. 4. 1	H 8. 3. 31	
12代	〃	工藤栄造	H 8. 4. 1	H14. 3. 31	
13代	〃	山本一雄	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
14代	〃	稲葉良三	H16. 4. 1	H19. 3. 31	
15代	〃	齋藤満郎	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
16代	〃	山口眞一	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
17代	消防司令	山口勇一	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
18代	〃	工藤義昭	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
19代	〃	石田英造	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

旧板柳町消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		工藤信一	S42. 4. 1	S42. 8. 31	総務課長兼任
2代		成田勝俊	S42. 9. 1	S46. 3. 31	署長兼任
3代		桜庭敏男	S46. 4. 1	S52. 3. 31	〃
4代		内山富雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	〃
5代		中村忠次郎	S54. 4. 1	S60. 3. 31	〃
6代	消防司令長	阿保小東	S60. 4. 1	H元. 8. 31	〃
7代	〃	竹内秀次	H 5. 4. 1	H11. 3. 31	〃
8代	〃	佐藤廣美	H11. 4. 1	H16. 3. 31	〃
9代	〃	中村徹	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
10代	消防司令	田中諭	H21. 4. 1	H22. 6. 30	署長兼任
11代	〃	阿保久	H22. 7. 1	H24. 3. 31	
12代	〃	三橋一徳	H24. 4. 1	H25. 3. 31	
13代	〃	村上毅	H25. 4. 1	H25. 6. 30	署長兼任

弘前消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	小向 清之助	S24. 5. 31	S27. 3. 2	
2代	消防監補	桑田 善太郎	S32. 5. 1	S32. 10. 31	消防長兼任
3代	消防監	上田 勝夫	S32. 11. 1	S37. 7. 8	〃
4代	〃	伴 一 衛	S37. 7. 9	S39. 8. 17	〃
5代	〃	桑田 貞一	S39. 8. 18	S42. 9. 30	〃
6代	消防司令長	中村 忠治	S42. 10. 1	S43. 9. 30	
7代	〃	福井 正男	S43. 10. 1	S44. 11. 30	
8代	〃	工藤 富蔵	S44. 12. 1	S50. 9. 30	
9代	〃	白取 嘉四雄	S50. 10. 1	S52. 3. 31	
10代	〃	工藤 富蔵	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
11代	〃	白取 嘉四雄	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
12代	〃	建部 清五郎	S55. 10. 1	S63. 3. 31	
13代	〃	工藤 嘉久	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
14代	〃	鈴木 督朗	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	
15代	〃	佐藤 正蔵	H 4. 4. 1	H10. 3. 31	
16代	〃	斎藤 昭雄	H10. 4. 1	H14. 3. 31	
17代	消防監	笹田 将良	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
18代	〃	斎藤 伸夫	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
19代	〃	工藤 治	H18. 4. 1	H20. 3. 31	
20代	消防司令長	長谷川 芳範	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
21代	消防監	成田 裕太郎	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
22代	〃	佐藤 健治	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
23代	〃	久保 豊	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
24代	〃	福士 文敏	H24. 4. 1	H25. 6. 30	
25代	〃	工藤 弥司広	H25. 7. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任
26代	〃	一町田 誠	H27. 4. 1	H27. 10. 29	
27代	〃	阿保 弘毅	H27. 10. 30	H27. 11. 30	消防次長兼任
28代	〃	三浦 良樹	H27. 12. 1	H29. 3. 31	
29代	〃	長尾 幸喜	H29. 4. 1	H30. 3. 31	消防次長兼任
30代	〃	工藤 耕三	H30. 4. 1	H31. 2. 11	消防次長兼任
31代	〃	長尾 幸喜	H31. 2. 12	H31. 3. 31	消防次長兼任
32代	〃	一戸 治	H31. 4. 1	在職中	消防次長兼任

東消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	白取 嘉四雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
2代	〃	建部 清五郎	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
3代	〃	土岐 春雄	S55. 10. 1	S58. 3. 31	
4代	〃	工藤 嘉久	S58. 4. 1	S63. 3. 31	
5代	〃	鈴木 督朗	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
6代	〃	赤石 光雄	H 2. 4. 1	H 3. 3. 31	
7代	〃	小山 亮	H 3. 4. 1	H 4. 3. 31	
8代	〃	山田 俊昭	H 4. 4. 1	H 8. 3. 31	
9代	〃	斎藤 昭雄	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
10代	〃	佐藤 正蔵	H10. 4. 1	H11. 3. 31	
11代	〃	小山内 国晴	H11. 4. 1	H12. 3. 31	
12代	〃	山本 正弘	H12. 4. 1	H13. 3. 31	
13代	〃	猪股 進三	H13. 4. 1	H14. 3. 31	
14代	〃	斎藤 伸夫	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
15代	〃	工藤 昇	H16. 4. 1	H20. 3. 31	(H18. 4. 1 消防監)
16代	〃	成田 裕太郎	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
17代	〃	佐藤 健治	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
18代	〃	成田 康晴	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
19代	消防監	福士 文敏	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
20代	消防司令長	三上 吾郎	H24. 4. 1	H25. 3. 31	
21代	消防監	工藤 弥司広	H25. 4. 1	H25. 6. 30	
22代	〃	阿保 弘毅	H25. 7. 1	H26. 3. 31	
23代	〃	一町田 誠	H26. 4. 1	H27. 3. 31	
24代	〃	村山 潤一	H27. 4. 1	H29. 3. 31	
25代	〃	山本 新次	H29. 4. 1	H30. 3. 31	
26代	〃	川村 勝明	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
27代	〃	中村 康司	H31. 4. 1	在職中	

黒石消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	岡崎良雄	S27. 4. 1	S33. 3. 31	消防長兼任
2代	〃	工藤薫三	S33. 4. 3	S38. 12. 31	
3代		角田壮一	S39. 1. 1	S39. 3. 19	助役兼任
4代	消防司令	田村源五郎	S39. 3. 20	S42. 9. 30	
5代		角田壮一	S42. 10. 1	S43. 3. 31	助役兼任
6代	消防司令長	簾屋正三	S43. 4. 1	S44. 11. 30	
7代	〃	盛重徳	S44. 12. 1	S49. 3. 31	
8代	消防監	角田壮一	S49. 4. 1	S54. 7. 31	消防長兼任
9代	〃	山口勇蔵	S54. 8. 1	S55. 3. 31	〃
10代	消防司令長	岩谷克己	S55. 4. 1	S62. 3. 31	
11代	〃	高樋浅光	S62. 4. 1	H 4. 3. 31	
12代	〃	工藤茂春	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
13代	〃	佐藤信男	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
14代	〃	坂本吉雄	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	
15代	〃	富谷勝徳	H 8. 4. 1	H11. 3. 31	消防次長兼任
16代	〃	高田正志	H11. 4. 1	H12. 3. 31	〃
17代	〃	中村寿	H12. 4. 1	H13. 3. 31	
18代	〃	福士良衛	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
19代	〃	豊巻正夫	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
20代	〃	佐藤昭秀	H18. 4. 1	H21. 3. 31	
21代	〃	今清治	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
22代	〃	山本茂夫	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
23代	〃	相馬義春	H23. 4. 1	H25. 3. 31	
24代	〃	村山潤一	H25. 4. 1	H26. 3. 31	
25代	消防監	内山進一郎	H26. 4. 1	H29. 3. 31	方面本部長兼任 (H27. 4. 1 方面本部長兼任解除)
26代	〃	工藤耕三	H29. 4. 1	H30. 3. 31	
27代	〃	中村康司	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
28代	〃	毛内和幸	H31. 4. 1	在職中	

平川消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	中畑忠三	S44. 4. 1	S48. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	古川清孝	S48. 4. 1	S49. 3. 31	〃
3代	〃	工藤専次郎	S49. 4. 1	S51. 6. 30	〃
4代	消防司令	船水永一郎	S51. 7. 1	S54. 3. 31	〃
5代	消防司令長	水木二郎	S54. 4. 1	S55. 3. 31	〃
6代	〃	阿部貞吉	S55. 4. 1	S57. 3. 31	〃
7代	〃	大川隆三	S57. 4. 1	S59. 12. 31	〃
8代	〃	三浦孝利	S60. 1. 1	S61. 3. 31	〃
9代	〃	長内精四郎	S61. 4. 1	H 2. 2. 22	〃
10代	〃	相馬伊佐男	H 2. 2. 23	H 3. 3. 31	
11代	〃	工藤文夫	H 3. 4. 1	H 5. 3. 31	消防次長兼任
12代	〃	工藤栄造	H 5. 4. 1	H 8. 3. 31	
13代	〃	一戸武二	H 8. 4. 1	H12. 3. 31	
14代	〃	福士順蔵	H12. 4. 1	H14. 3. 31	
15代	〃	稲葉良三	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
16代	〃	齋藤満郎	H16. 4. 1	H19. 3. 31	
17代	〃	山口眞一	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
18代	〃	山口勇一	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
19代	消防司令	工藤義昭	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
20代	〃	一戸武彦	H23. 4. 1	H26. 3. 31	(H25. 7. 1 消防司令長)
21代	消防監	阿保弘毅	H26. 4. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任
22代	〃	山本新次	H27. 4. 1	H29. 3. 31	
23代	〃	山口金彦	H29. 4. 1	H30. 3. 31	
24代	〃	一戸治	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
25代	〃	神孝行	H31. 4. 1	在職中	

板柳消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		工藤 信一	S42. 4. 1	S42. 8. 31	総務課長兼任
2代		成田 勝俊	S42. 9. 1	S46. 3. 31	消防次長兼任
3代		桜庭 敏男	S46. 4. 1	S52. 3. 31	〃
4代		内山 富雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	〃
5代		中村 忠次郎	S54. 4. 1	S60. 3. 31	〃
6代	消防司令長	阿保 小東	S60. 4. 1	H 2. 3. 31	〃
7代	〃	松山 秀雄	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	消防長心得兼任
8代	〃	会津 武志	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	〃
9代	〃	竹内 秀次	H 7. 4. 1	H11. 3. 31	消防次長兼任
10代	〃	佐藤 廣美	H11. 4. 1	H16. 3. 31	〃
11代	〃	会津 静男	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
12代	〃	田中 諭	H21. 4. 1	H22. 3. 31	消防次長兼任
13代	〃	三橋 一徳	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
14代	〃	諏訪 孝栄	H23. 4. 1	H25. 3. 31	
15代	〃	村上 毅	H25. 4. 1	H25. 6. 30	
16代	〃	阿保 久	H25. 7. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任 (H26. 4. 1 消防監)
17代	〃	大川 欽三	H27. 4. 1	H29. 3. 31	(H28. 4. 1 消防監)
18代	〃	佐藤 雅幸	H29. 4. 1	H31. 3. 31	(H30. 4. 1 消防監)
19代	消防監	下山 進	H31. 4. 1	在職中	

旧弘前地区消防事務組合の沿革

年 月	状 況
昭和 24 年 4 月	弘前市大字元寺町に弘前市消防本部及び消防署開設 職員 34 名
昭和 26 年 8 月	弘前市大字本町へ消防庁舎落成、元寺町から消防本部、消防署移転する。
昭和 27 年 3 月	消防署を廃止し、消防本部の一本化を図る。
昭和 30 年 2 月	消防職員定数改正により職員 68 名となる。
昭和 32 年 5 月	弘前市消防署再設、弘前市大字松森町に松森町分署開設する。
昭和 33 年 4 月	消防職員定数改正により職員 79 名となる。
昭和 38 年 9 月	消防職員定数改正により職員 81 名となる。
昭和 39 年 8 月	救急車を購入し、弘前市消防署で救急業務を開始する。
昭和 40 年 1 月	弘前市消防本部及び消防署庁舎落成、電話交換機、一斉指令装置を設置する。
昭和 42 年 10 月	消防長兼署長制から専任署長制となる。
昭和 43 年 12 月	弘前市大字豊田字豊原に枅形分署庁舎落成、消防業務を開始する。
昭和 44 年 12 月	弘前市大字鳥町字鳥町に藤代分署庁舎落成、消防業務を開始する。
昭和 45 年 10 月	枅形分署に 20m 級スノーケル車配備
昭和 46 年 4 月	一市二町二村（弘前市、大鰐町、藤崎町、常盤村、碓ヶ関村）により弘前地区消防事務組合発足する。
	弘前市消防職員 106 名、車両等弘前市から弘前地区消防事務組合へ移管
7 月	松森町分署に救急車配備、救急業務を開始する。
8 月	松森町分署に化学消防ポンプ自動車配備
10 月	広域消防業務を開始する。
	大鰐町大字大鰐字前田に南分署庁舎落成、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 10 名
	藤崎町大字水沼字浅田に北分署庁舎落成、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 12 名
	南分署碓ヶ関出張所（碓ヶ関村消防屯所借用）開設、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 7 名
昭和 47 年 2 月	南分署に救急車配備、救急業務を開始する。
4 月	職員定数改正により職員 149 名となる。
7 月	南分署、北分署に普通消防ポンプ自動車各 1 台配備
昭和 48 年 2 月	北分署に救急車配備、救急業務を開始する。
4 月	中津軽郡一町二村（岩木町、相馬村、西目屋村）組合に加入
	職員定数改正により職員 169 名となる。
6 月	西分署（岩木町消防屯所借用）開設、消防、救急業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車、救急車配備、職員 12 名
	西分署目屋出張所（西目屋村消防屯所借用）開設、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 5 名

昭和 49 年	3 月	岩木町大字鳥井野字宮本に西分署庁舎落成移転する。
	7 月	弘前消防署に 35m 級はしご付消防ポンプ自動車配備
昭和 50 年	4 月	職員定数改正により職員 178 名となる。
	7 月	弘前地区消防事務組合に防災宣伝車配備（防災協会より寄贈）
昭和 51 年	8 月	南分署碓ヶ関出張所に救急車配備、救急業務を開始する。
昭和 52 年	1 月	弘前市大字外崎字豊田に東消防署庁舎落成
	4 月	職員定数改正により職員 182 名となる。 東消防署、消防、救急業務を開始する。 ・普通消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車、スノーケル車、救急車配備 職員 23 名 東消防署開設により 2 署 6 分署 2 出張所となる。
昭和 53 年	4 月	救助用訓練塔落成（東消防署構内）
	7 月	第 7 回全国消防救助技術大会県予選会開催（於東消防署）
	8 月	昭和 52 年 8 月の県下集中豪雨災害に際し、被害者の救援及び水防活動の功績により、消防庁長官より表彰状授与される。
	9 月	昭和 52 年 8 月の県下集中豪雨災害に際し、被害者の救援及び水防活動の功績により、内閣総理大臣より表彰状及び楯授与される。
	10 月	職員定数改正により職員 194 名となる。
昭和 54 年	4 月	職員定数改正により職員 200 名となる。
	8 月	弘前市からマイクロバス移管
	10 月	東北自動車道、青森 I C ～大鰐弘前 I C 供用開始に伴い、消防、救急業務を開始する。
昭和 55 年	9 月	弘前消防署西分署目屋出張所を弘前消防署目屋分署に、東消防署南分署碓ヶ関出張所を東消防署碓ヶ関分署に改称 碓ヶ関村大字碓ヶ関字鯨森に碓ヶ関分署庁舎落成移転（碓ヶ関村消防屯所と合同使用）
	10 月	職員定数改正により職員 201 名となる。 東北自動車道、大鰐弘前 I C ～碓ヶ関 I C 供用開始に伴い、消防、救急業務を開始する。
昭和 57 年	1 月	東消防署松森町分署廃止 弘前市大字小友字神原に西北分署庁舎落成、消防、救急業務を開始する。 ・水槽付消防ポンプ自動車、救急車、広報連絡車配備 職員 10 名 目屋分署、碓ヶ関分署に広報連絡車配備
昭和 58 年	8 月	目屋分署救急業務を開始する。
昭和 61 年	3 月	大鰐町大字蔵館字金坂に南分署庁舎落成移転
	7 月	東北自動車道全線開通に伴い、十和田 I C まで所管となる。
	12 月	東消防署に 30m 級はしご付消防自動車配備（4WS） 救急医療情報システム運用開始する。
昭和 62 年	4 月	消防本部の組織規則改正により警防課通信指令室発足 室長ほか 10 名

	11月	東消防署に救助工作車配備
昭和63年	4月	通信指令室に通信第一係、通信第二係を設ける。
	12月	藤代分署庁舎新築
平成元年	4月	職員定数改正により職員207名となる。
平成2年	10月	東北自動車道小坂IC開通に伴い、小坂ICまで所管となる。
平成3年	2月	枅形分署庁舎新築（2月業務開始）
	4月	職員定数改正により職員214名となる。
	11月	枅形分署に救急車を配備、救急業務を開始する。
平成4年	4月	職員定数改正により職員226名となる。
平成5年	3月	弘前消防署に高規格救急自動車配備
平成6年	3月	弘前消防署に40m級はしご付消防自動車配備
	4月	職員定数改正により職員247名となる。
平成7年	3月	枅形分署に小型動力ポンプ付水槽車配備
平成8年	3月	東消防署に高規格救急自動車配備
	4月	職員定数改正により職員256名となる。
平成9年	4月	藤代分署に救急車を配備、救急業務を開始する。 職員定数改正により職員268名となる。
		弘前消防署及び東消防署に救急第一係、救急第二係を新設
平成10年	4月	消防本部の組織規則改正により消防本部総務課「庶務係」を「総務係」に改める。 消防署組織規程改正により分署の「消防係」を「消防第一係、消防第二係」に改める。
		北分署に高規格救急自動車配備
平成11年	1月	目屋分署庁舎新築（4月業務開始）
	3月	消防本部・弘前消防署仮設消防庁舎での業務開始
	5月	東消防署に救助工作車Ⅱ型配備
平成12年	3月	職員定数改正により職員270名となる。
	4月	女性消防吏員採用
		西分署に高規格救急自動車配備
平成13年	2月	消防本部、弘前消防署新消防庁舎での業務開始
	4月	消防本部の組織規則改正により「通信指令室」を「通信指令課」に改める。
	4月	南分署に高規格救急自動車配備
	12月	弘前消防署に救助工作車Ⅱ型配備
平成14年	2月	碓ヶ関分署に高規格救急自動車配備
	12月	枅形分署に高規格救急自動車配備
平成15年	1月	消防本部組織規則改正により消防本部各課に係長兼務の主幹を設ける。
	4月	消防本部組織規則改正により消防本部警防課に救急救助係を新設
平成16年	4月	消防署組織規程改正により弘前消防署及び東消防署の救急係を救急救助係に改め、主幹兼警防係長の兼務を解除し新たに、警防係、予防係、救急救助係に専任主幹を配置

平成 17 年	1 月	東消防署にはしご付消防自動車（30m級）を更新配備
	3 月	藤代分署に高規格救急自動車配備
	3 月	市町村合併に伴い、3 月 27 日をもって藤崎町及び常盤村が脱退しその区域をもって、3 月 28 日から藤崎町が加入し、構成市町村が一市三町三村となる。
	4 月	消防本部組織規則改正により消防本部各課に課長補佐を設ける。
平成 18 年	1 月	市町村合併に伴い、平成 17 年 12 月 31 日をもって碓ヶ関村が脱退し、平成 18 年 1 月 1 日から平川市（旧碓ヶ関村の区域に限る）が加入し、構成市町村が二市三町二村となる。
	2 月	市町村合併に伴い、2 月 26 日をもって弘前市、岩木町及び相馬村が脱退し、その区域をもって、2 月 27 日から弘前市が加入し、構成市町村が二市二町一村となる。
平成 19 年	3 月	西北分署に高規格救急自動車配備
	4 月	消防署組織規程改正により弘前消防署及び東消防署の救急救助係を救急係に、警防係を警防救助係に改め、新たに総務係を新設し専任主幹を配置 藤代分署、西分署、柘形分署、南分署及び北分署の消防係を警防係に改め、新たに予防救急係を新設し、各分署に消防主幹を設ける。
平成 20 年	3 月	目屋分署に高規格救急自動車配備
	7 月	弘前地区消防事務組合に防火指導車配備（防災協会より寄贈）
平成 22 年	4 月	消防本部組織規則改正により「警防課 警防係」を「警防課 警防救助係」に、「警防課 救急救助係」を「警防課 救急係」に改める。
	12 月	弘前消防署に指揮隊車配備
平成 23 年	4 月	消防署組織規程改正により、分署の「主幹」を「副分署長」に改める。
	11 月	西分署新消防庁舎での業務開始（平成 24 年 4 月 1 日全面供用開始）
平成 24 年	9 月	弘前消防署に高規格救急車を更新配備（J A 共済より寄贈） 西分署に資機材搬送車配備（国有財産等無償使用）
平成 25 年	3 月	西北分署に燃料補給車配備（国有財産等無償使用）

旧黒石地区消防事務組合の沿革

(旧黒石地区消防事務組合平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 27 年 4 月	黒石町消防本部・署開設、職員 7 名
昭和 29 年 7 月	町村合併により黒石市消防本部・署となる。
昭和 37 年 8 月	温湯分署開設、職員 7 名
昭和 44 年 7 月	黒石市消防庁舎新築（鉄筋コンクリート造 2 階建）
昭和 46 年 4 月	黒石市と田舎館村により黒石地区消防事務組合発足 消防本部 1、消防署 1、分署 1、職員 38 名（条例定数 57 名）
10 月	田舎館分署開設
昭和 49 年 4 月	消防職員定数改正により職員 67 名となる。
昭和 52 年 4 月	消防職員定数改正により職員 77 名となる。
昭和 55 年 4 月	田舎館分署を田舎館消防署に昇格、1 本部、2 消防署、1 分署となる。 消防職員定数改正により職員 90 名となる。
昭和 55 年 12 月	温湯分署移転新築工事竣工、温湯分署を山形分署に名称変更 （鉄骨造平屋建 291.0 m ² ）
昭和 57 年 1 月	田舎館消防署車庫増築（鉄骨造平屋建 25.92 m ² ）
昭和 58 年 7 月	消防本部課制を施行する。
平成 6 年 10 月	消防職員定数改正により職員 95 名となる。
平成 7 年 10 月	黒石地区消防事務組合消防庁舎竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建 2,958.83 m ² ）
11 月	田舎館消防署竣工（鉄骨造平屋建 417.81 m ² ）
平成 9 年 4 月	黒石消防署に高規格救急車配備（日本損害保険協会から寄贈）
平成 12 年 1 月	田舎館消防署に水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）配備
4 月	消防本部に通信指令課を置く。
7 月	山形分署に広報車配備
12 月	山形分署に水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）配備
平成 14 年 1 月	黒石消防署に化学消防ポンプ自動車（化－Ⅱ型）配備
平成 16 年 3 月	田舎館消防署に高規格救急車配備
4 月	黒石消防署に高規格救急車配備（日本損害保険協会から寄贈）
7 月	田舎館消防署に広報車配備 黒石消防本部に査察車配備
平成 19 年 1 月	山形分署に救急車（2 B 型）配備
4 月	消防職員定数改正により職員 100 名となる。
平成 24 年 3 月	黒石消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－B 型）配備 （C A F S : 圧縮空気泡装置搭載）
10 月	消防本部に連絡車配備
12 月	黒石消防署に救助工作車（Ⅱ型）配備

旧平川市消防本部の沿革

(旧平川市消防本部平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 44 年 4 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防本部及び平賀消防署開設 職員 36 名 (条例定数 38 名)
10 月	尾上分署開設
昭和 45 年 4 月	消防職員定数改正により職員 41 名となる。
昭和 47 年 4 月	消防職員定数改正により職員 44 名となる。
平成 2 年 2 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防庁舎竣工 (鉄筋コンクリート造 2 階建) 消防本部課制を施行する。 平賀消防署と尾上分署を廃止、名称を平賀尾上消防署とする。
平成 4 年 4 月	消防職員定数改正により職員 46 名となる。
平成 5 年 4 月	消防職員定数改正により職員 48 名となる。
平成 6 年 4 月	消防職員定数改正により職員 50 名となる。
平成 7 年 2 月	水槽付消防ポンプ自動車を配備
4 月	消防職員定数改正により職員 54 名となる。
12 月	救助工作車を配備
平成 8 年 4 月	消防職員定数改正により職員 58 名となる。 勤務制度を 2 部制から 3 部制とする。 高規格救急車を配備
平成 9 年 4 月	消防職員定数改正により職員 62 名となる。 消防本部 2 課 (総務課、予防課) から 3 課 (総務課、予防課、警防課) とする。
10 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防署庁舎増築
平成 10 年 3 月	救急車 (2 B 型) 配備 (J A 共済より寄贈)
4 月	消防職員定数改正により職員 65 名となる。
7 月	「平賀・尾上地区消防等事務組合」に名称を改める。
平成 11 年 4 月	消防職員定数改正により職員 68 名となる。 消防署通信係を消防本部通信指令室とする。
平成 13 年 4 月	消防本部通信指令室を消防署通信指令室とする。 消防職員定数改正により職員 95 名となる。
9 月	化学消防ポンプ自動車を配備
平成 17 年 6 月	指揮車を配備
平成 18 年 1 月	平川市消防本部・平川市消防署発足 広報 2 号車を配備
平成 19 年 1 月	消防ポンプ自動車を配備
平成 20 年 12 月	高規格救急車を配備 (日本損害保険協会より寄贈)
平成 22 年 10 月	広報 1 号車を配備

旧板柳町消防本部の沿革

(旧板柳町消防本部平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 42 年 4 月	板柳町消防本部及び板柳町消防署開設 職員 16 名
昭和 50 年 12 月	板柳町消防庁舎竣工（鉄骨造 2 階建） 職員 30 名
昭和 52 年 4 月	板柳少年消防クラブ結成
昭和 54 年 11 月	板柳町少年婦人防火委員会発足（後に板柳町幼少年婦人防火委員会に変更） 板柳婦人防火クラブ結成
昭和 60 年 1 月	幼年消防クラブ結成
平成元年 5 月	資機材搬送車配備
平成 2 年 5 月	司令車配備
平成 4 年 8 月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）配備（損害保険協会より寄贈）
平成 9 年 12 月	救急車（2 B 型）配備
平成 15 年 2 月	高規格救急車配備
平成 21 年 9 月	消防ポンプ自動車配備（CD-I 型、CAFS：圧縮空気泡装置搭載） 消防職員定数 38 名